

比治山大学収容定員関係学則変更届出書

令和6年4月25日

文部科学大臣 殿

学校法人 比治山学園
理事長 木谷 健

このたび、比治山大学の収容定員に係る学則を変更することについて、学校教育法第4条第2項及び学校教育法施行令第23条の2第1項の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。なお、届出の上は、確実に届出に係る計画を履行します。

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄								備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジンヒジヤマガクエン 学校法人比治山学園								
フリガナ大学の名称	ヒジヤマダイガク 比治山大学								
大学本部の位置	広島県広島市東区牛田新町四丁目1番1号								
大学の目的	本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究し、実践的な幅広い能力と豊かな人間性を備えさせ、もって悠久不滅の生命の理想に向かって精進する人材を育成することを目的とする。								
新設学部等の目的	18歳人口の動向、広島県内進学状況、各学部・学科の定員確保状況等を踏まえ、編入学定員数及び収容定員数を削減し規模を適正化する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	現代文化学部	年	人	3年次 人	人			年 月 第 年次	
	言語文化学科	4	120	3 (5)	486 (490)	学士 (文学)	文学関係	令和7年4月 第3年次	広島県広島市東区牛田 新町四丁目1番1号
	コミュニケーション学科	4	60	1 (3)	242 (246)	学士 (文学)	文学関係	令和7年4月 第3年次	同上
	社会臨床心理学科	4	60	2 (5)	244 (250)	学士 (心理学)	文学関係	令和7年4月 第3年次	同上
	子ども発達教育学科	4	70	2 (10)	284 (300)	学士 (教育学)	教育学・保育学 関係	令和7年4月 第3年次	同上
	健康栄養学部								
	管理栄養学科	4	70	2 (5)	284 (290)	学士 (栄養学)	家政関係	令和7年4月 第3年次	同上
	計	-	-	-	-				
	同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	令和7年4月 比治山大学短期大学部 入学定員及び収容定員変更予定（定員減） 幼児教育科 [入学定員] 100→50 (△50) [収容定員] 200→100 (△100) 総合生活デザイン学科 [入学定員] 70→50 (△20) [収容定員] 140→100 (△40) 美術科 [入学定員] 70 (変更なし) [収容定員] 140 (変更なし) 短期大学部 計 [入学定員] 240→170 (△70) [収容定員] 480→340 (△140)							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数						卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計				
		科目	科目	科目	科目		単位		
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計	人	人	
新	現代文化学部 言語文化学科	9 (9)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	18 (18)	0 (0)	107 (107)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8 (8)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	17 (17)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)			
	小計（a～b）	9 (9)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	18 (18)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	9 (9)	3 (3)	5 (5)	1 (1)	18 (18)			
	現代文化学部 マスコミュニケーション学科	3 (3)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	107 (107)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	8 (8)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	8 (8)			

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人

大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人

設	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	/	/	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人		
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	計（a～d）	3 (3)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	8 (8)					
	現代文化学部 社会臨床心理学科	6 (6)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	13 (13)				0 (0)	107 (107)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	13 (13)					
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	小計（a～b）	6 (6)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	13 (13)					
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	計（a～d）	6 (6)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	13 (13)					
	現代文化学部 子ども発達教育学科	7 (7)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	16 (16)				0 (0)	107 (107)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	7 (7)	0 (0)	1 (1)	15 (15)					
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)					
	小計（a～b）	7 (7)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	16 (16)					
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計（a～d）	7 (7)	8 (8)	0 (0)	1 (1)	16 (16)						
健康栄養学部 管理栄養学科	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	6 (6)	55 (55)				
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)						
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
小計（a～b）	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)						
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計（a～d）	6 (6)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (11)						
分	計	31 (31)	20 (20)	13 (13)	2 (2)	66 (66)	6 (6)	— (—)			

既 設 分	該当なし		—	—	—	—	—	—	—	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三 の教員 〇〇人
	a.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	—	—	—	—	—	—	—	
	b.	基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	—	—	—	—	—	—	—	
	小計（a～b）		—	—	—	—	—	—	—	
	c.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	—	—	—	—	—	—	—	
	d.	基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	—	—	—	—	—	—	—	
	計（a～d）		—	—	—	—	—	—	—	
計		—	—	—	—	—	—	—		
合計		31 (31)	20 (20)	13 (13)	2 (2)	66 (66)	6 (6)	— (—)		
職種		専属			その他			計		
事務職員		27 (27)			41 (41)			68 (68)		
技術職員		1 (1)			2 (2)			3 (3)		
図書館職員		2 (2)			3 (3)			5 (5)		
その他の職員		0 (0)			0 (0)			0 (0)		
指導補助者		0 (0)			0 (0)			0 (0)		
計		30 (30)			46 (46)			76 (76)		
校 地 等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用			計			
	校舎敷地	0㎡	23,247㎡	0㎡			23,247㎡			
	その他	0㎡	71,911㎡	0㎡			71,911㎡			
	合計	0㎡	95,158㎡	0㎡			95,158㎡			
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用			計			
		10,471.639㎡ (10,471.639㎡)	18,037.009㎡ (18,037.009㎡)	4,005.397㎡ (4,005.397㎡)			32,514.045㎡ (32,514.045㎡)			
教室・教員研究室		教室	室	教員研究室			室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具	標本			
		冊	冊	種	冊	点	点			
			〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕		
	計		〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕		
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設				
		㎡		㎡		㎡				

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	経費の見積り									
	教員1人当り研究費等		220千円	220千円	220千円	220千円	－千円	－千円		
	共同研究費等		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	－千円	－千円		
	図書購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	－千円	－千円		
	設備購入費	33,000千円	33,000千円	33,000千円	33,000千円	33,000千円	－千円	－千円		
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	言語文化学科		1,230千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－千円	－千円		
	マスコミュニケーション学科		1,230千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	－千円	－千円		
	社会臨床心理学科		1,290千円	1,060千円	1,060千円	1,060千円	－千円	－千円		
子ども発達教育学科		1,270千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	－千円	－千円			
管理栄養学科		1,350千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	－千円	－千円			
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入等									
既設大学等の状況	大学等の名称	比治山大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
	現代文化学部	年	人	年次人	人		倍			
	言語文化学科	4	120	3年次5	490	学士(文学)	0.81	平成6年度	広島県広島市東区牛田新町四丁目1番1号	
	マスコミュニケーション学科	4	60	3年次3	246	学士(文学)	0.83	平成16年度		
	社会臨床心理学科	4	60	3年次5	250	学士(心理学)	1.05	平成16年度		
	子ども発達教育学科	4	70	3年次10	300	学士(教育学)	0.79	平成21年度		
	健康栄養学部						0.63			
	管理栄養学科	4	70	3年次5	290	学士(栄養学)	0.63	平成26年度		
	現代文化研究科									
現代文化専攻	2	9	－	18	修士(文学又は学術)	0.05	平成18年度			
臨床心理学専攻	2	5	－	10	修士(文学又は学術)	1.10	平成18年度			
大学等の名称	比治山大学短期大学部									
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地		
幼児教育科	2	100	－	200	短期大学士(幼児教育)	0.63	昭和45年度	広島県広島市東区牛田新町四丁目1番1号	総合生活デザイン学科令和6年度入学定員減(△30人)	
総合生活デザイン学科	2	70	－	170	短期大学士(生活学)	0.50	昭和42年度			
美術科	2	70	－	140	短期大学士(美術)	0.89	昭和42年度			
附属施設の概要	該当なし									

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積り及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「－」又は「該当なし」と記入すること。

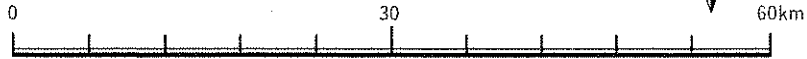
学校法人比治山学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度			
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
比治山大学			
現代文化学部			
言語文化学科	120	5	490
マスコミュニケーション学科	60	3	246
社会臨床心理学科	60	5	250
子ども発達教育学科	70	10	300
健康栄養学部			
管理栄養学科	70	5	290
計	380	28	1576
比治山大学大学院			
現代文化研究科			
現代文化専攻	9	-	18
臨床心理学専攻	5	-	10
計	14	-	28
比治山大学短期大学部			
幼児教育科	100	-	200
総合生活デザイン学科	70	-	140
美術科	70	-	140
計	240	-	480
比治山大学 子ども発達教育専攻科			
子ども発達教育専攻	10	-	10
計	10	-	10
比治山大学短期大学部 専攻科			
美術専攻	15	-	15
計	15	-	15

令和7年度				
	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員	変更の事由
比治山大学				
現代文化学部				
言語文化学科	120	3	486	定員変更(△2)
マスコミュニケーション学科	60	1	242	定員変更(△2)
社会臨床心理学科	60	2	244	定員変更(△3)
子ども発達教育学科	70	2	284	定員変更(△8)
健康栄養学部				
管理栄養学科	70	2	284	定員変更(△3)
計	380	10	1540	
比治山大学大学院				
現代文化研究科				
現代文化専攻	9	-	18	
臨床心理学専攻	5	-	10	
計	14	-	28	
比治山大学短期大学部				
幼児教育科	50	-	100	定員変更(△50)
総合生活デザイン学科	50	-	100	定員変更(△20)
美術科	70	-	140	
計	170	-	340	
比治山大学 子ども発達教育専攻科				
子ども発達教育専攻	10	-	10	
計	10	-	10	
比治山大学短期大学部 専攻科				
美術専攻	15	-	15	
計	15	-	15	

広島県

1:600,000
1cm=6km



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。(承認番号 平30情使 第543号)」



都道府県内における位置関係の図面



最寄駅からの距離、交通機関及び
所要時間がわかる図面

比治山大学・比治山大学短期大学部 校舎、運動場等の配置図

【校地面積】

95,158 m²

■ 大学・短大共用

■ 現代文化学部専用

■ 健康栄養学部

□ その他

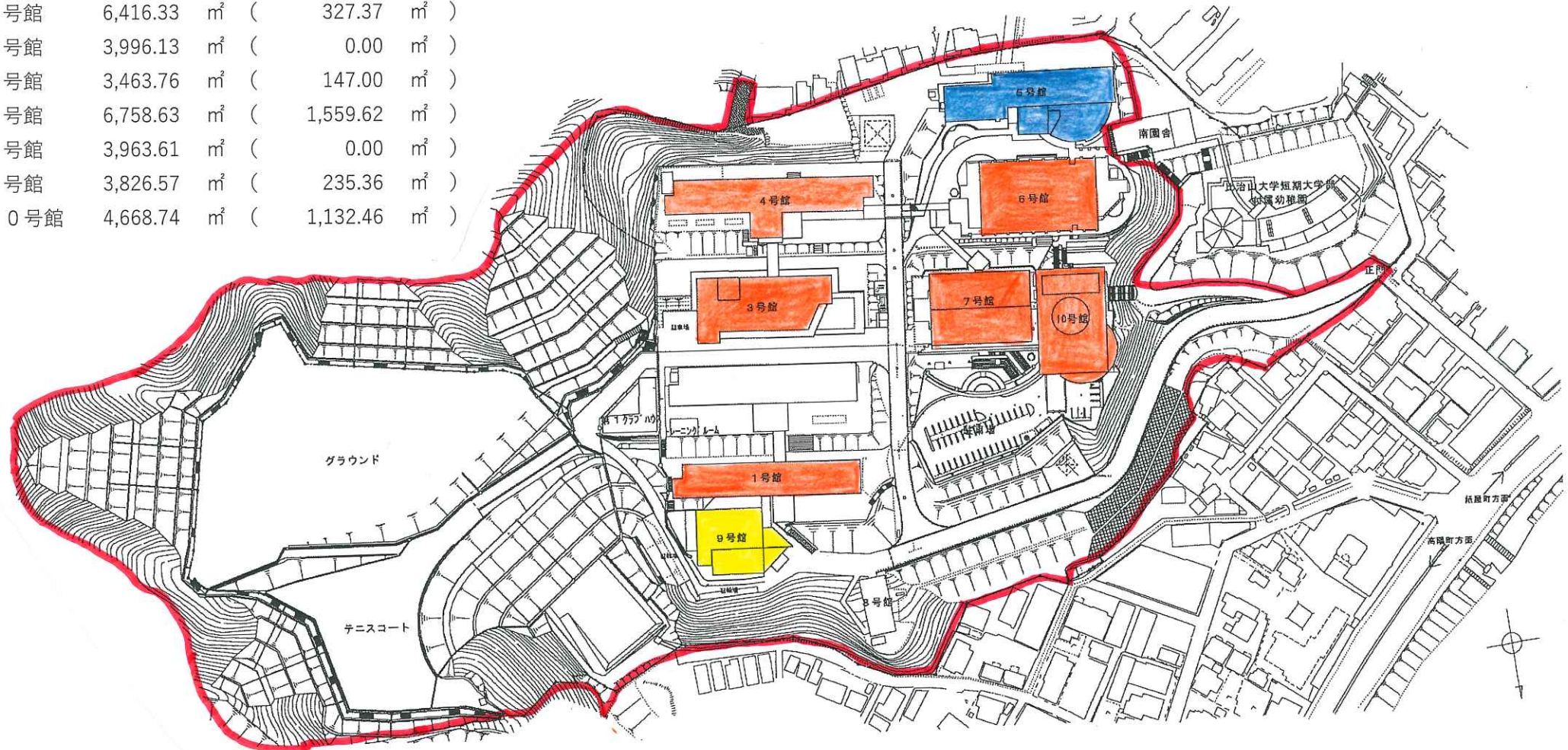
— 校地

【校舎面積】

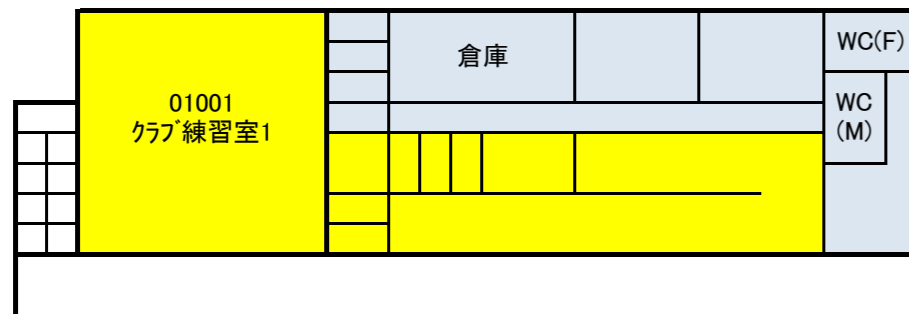
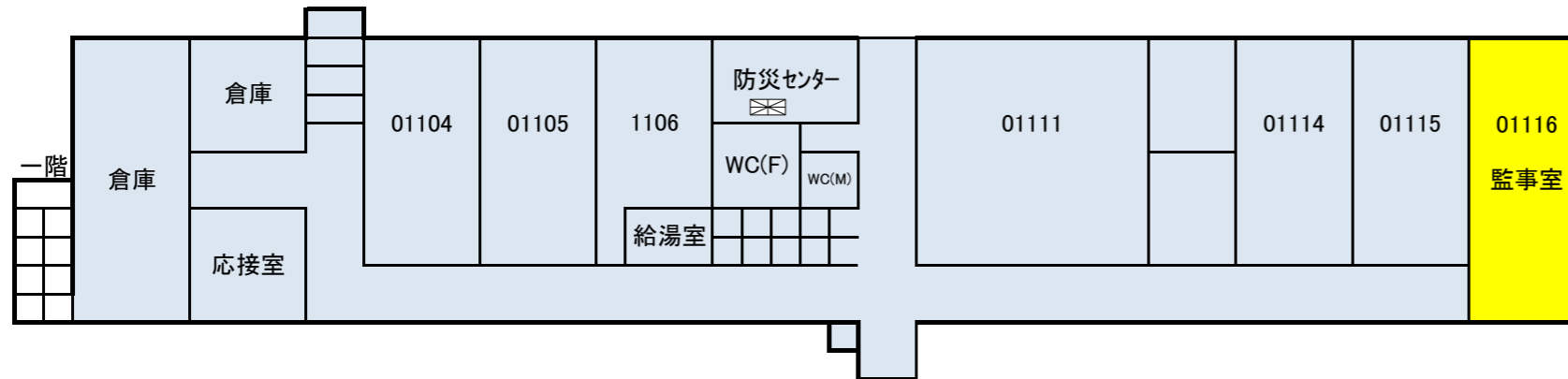
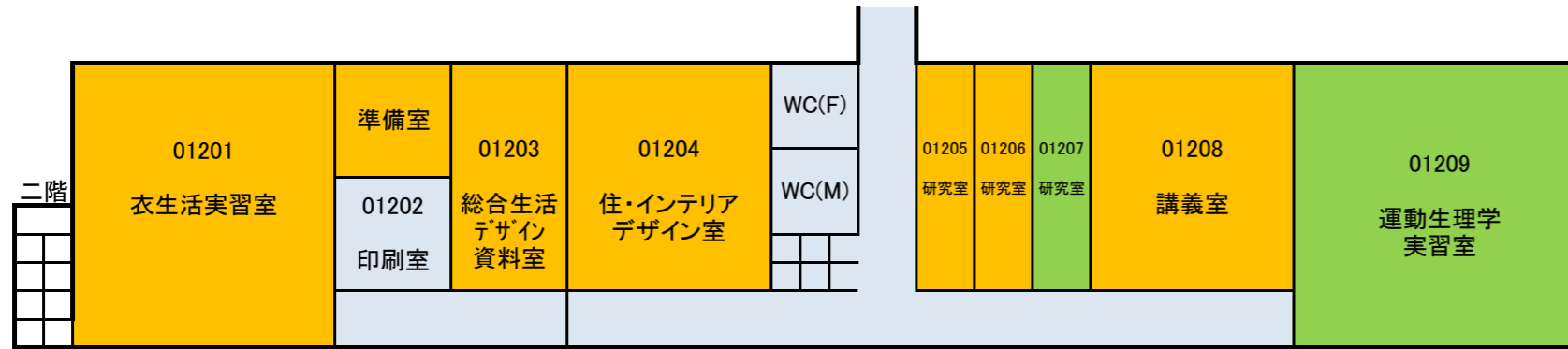
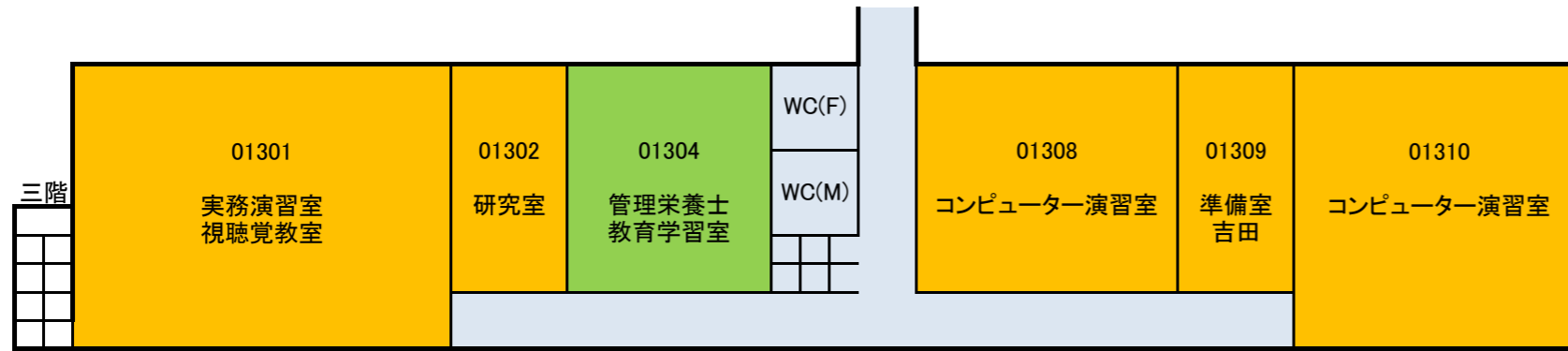
<全面積>

<対象外面積>

1号館	3,117.08 m ²	(295.00 m ²)
3号館	6,416.33 m ²	(327.37 m ²)
4号館	3,996.13 m ²	(0.00 m ²)
5号館	3,463.76 m ²	(147.00 m ²)
6号館	6,758.63 m ²	(1,559.62 m ²)
7号館	3,963.61 m ²	(0.00 m ²)
9号館	3,826.57 m ²	(235.36 m ²)
10号館	4,668.74 m ²	(1,132.46 m ²)



－1号館－(専用・共用)



- 大学
- 短大
- 共用
- その他

階数	室名	部屋番号	面積	専用・共用	区分	
地階	倉庫		32.580	共用	管理・その他	
	礼法室		120.000	その他	課外活動	
	クラブ練習室		113.000	その他	課外活動	
	機械室		16.000	共用	管理・その他	
	倉庫(配膳室)		8.420	共用	管理・その他	
	WC(F)		30.000	共用	管理・その他	
	WC(M)		10.000	共用	管理・その他	
	その他		32.965	共用	管理・その他	
	中地階	機械室		30.000	共用	管理・その他
	中地階	変電室		30.000	共用	管理・その他
1階	倉庫		61.980	共用	管理・その他	
	応接室		22.400	共用	管理・その他	
	金庫室		27.950	共用	管理・その他	
	会議室	1104	47.680	共用	管理・その他	
	空室(清掃控室)	1105	57.920	共用	管理・その他	
	情報センター	1106	47.220	共用	管理・その他	
	給湯室		8.840	共用	管理・その他	
	防災センター		18.150	共用	管理・その他	
	WC(F)		9.000	共用	管理・その他	
	WC(M)		3.060	共用	管理・その他	
	空室	1111	124.650	共用	管理・その他	
	空室		21.930	共用	管理・その他	
	空室		16.000	共用	管理・その他	
	空室	1114	28.440	共用	管理・その他	
	空室	1115	47.400	共用	管理・その他	
	監事室	1116	62.000	その他	法人	
	その他		311.869	共用	管理・その他	
	2階	衣生活実習室	1201	122.900	短専	実験室・実習室
		衣生活実習室準備室		23.000	短専	
		印刷室	1202	23.950	共用	管理・その他
総生資料室		1203	46.950	短専	管理・その他	
住・インテリアデザイン室		1204	95.030	短専	実験室・実習室	
WC(F)			31.900	共用	管理・その他	
WC(M)			9.400	共用	管理・その他	
研究室(森田)		1205	31.800	短専	研究室	
研究室(谷川)		1206	31.800	短専	研究室	
研究室(宮原)		1207	31.700	健康	研究室	
講義室		1208	93.900	健康	講義室・演習室	
運動生理学実習室		1209	122.900	健康	実験室・実習室	
その他			231.354	共用	管理・その他	
3階		実務演習室	1301	183.800	短専	講義室・演習室
	研究室(西村)	1302	33.950	短専	研究室	
	研究室		13.000	短専	研究室	
	管理栄養士教育学習室	1304	95.030	健康	講義室・演習室	
	WC(F)		28.780	共用	管理・その他	
	WC(M)		12.520	共用	管理・その他	
	マルチメディア演習室	1308	143.760	短専	講義室・演習室	
	情報処理準備室	1309	45.450	短専	講義室・演習室	
	情報処理演習室	1310	122.900	短専	講義室・演習室	
	その他		178.394	共用	管理・その他	
R階	階段室		23.460	共用	管理・その他	

大学	249.630
短専	988.240
共用	1,584.212
その他	295.000
合計	3,117.082

3号館 (専用・共用)

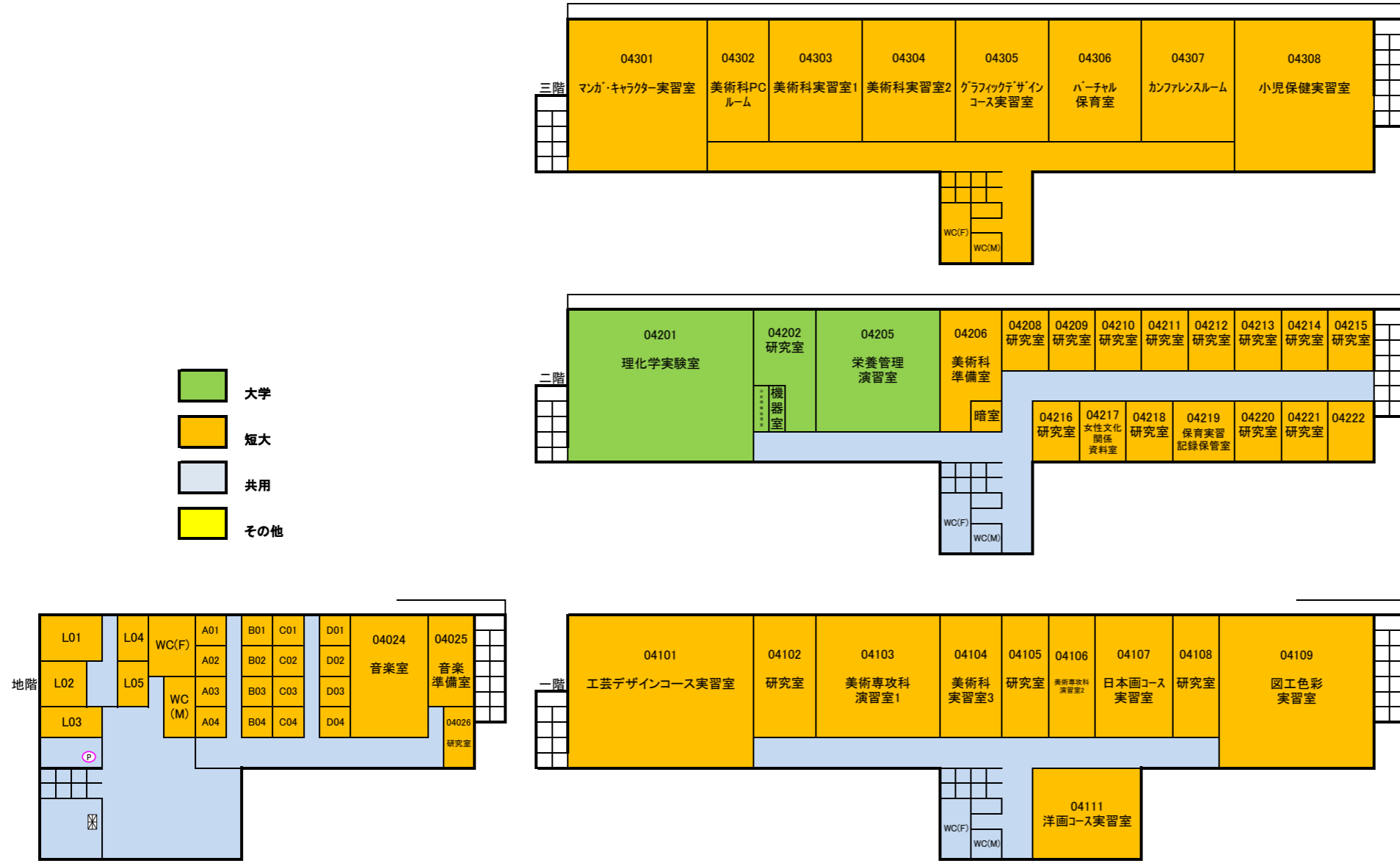


大学
 短大
 共用
 その他

階数	室名	部屋番号	面積	種別
1階	学長室	03101	40.02	共用
1階	学長課	03102	72.59	共用
1階	事務局長室	03103	22.65	共用
1階	印刷室	03104	11.92	共用
1階	入試広報課		75.90	共用
1階	給湯室		7.77	共用
1階	防災センター		19.08	共用
1階	倉庫1		3.57	共用
1階	収納		2.12	共用
1階	相談1	03109	6.38	共用
1階	相談2	03110	6.38	共用
1階	相談3	03111	6.66	共用
1階	相談4	03112	11.21	共用
1階	キャリア支援課・教務課・学生支援課	03113	118.02	共用
1階	内通路	03113	41.30	共用
1階	面談室1	03114	9.12	共用
1階	面談室2	03115	8.55	共用
1階	印刷室2	03116	23.55	共用
1階	非常勤講師控室	03117	41.50	共用
1階	倉庫2	03118	34.63	共用
1階	WC(W)	03119	27.25	共用
1階	WC(M)	03120	22.80	共用
1階	インフォメーションホール	03121	150.24	共用
1階	ホール	03122	136.30	共用
1階	受水槽置場		51.85	管理
1階	屋外倉庫		124.93	共用
1階	その他		248.14	共用
2階	ラーニングルーム	03201	89.16	共用
2階	ラーニングルーム	03202	42.27	共用
2階	ラーニングルーム	03203	41.67	共用
2階	ラーニングルーム	03204	69.60	共用
2階	倉庫1	03205	6.99	共用
2階	倉庫2	03207	14.48	共用
2階	高等教育研究開発センター	03208	35.28	その他 法人
2階	ふわふわ・ラーニング	03209	249.89	共用
2階	WC(男)	03206	6.17	共用
2階	WC(W)	03210	27.25	共用
2階	WC(M)	03211	22.80	共用
2階	プレゼンテーションコート	03212	151.06	共用
2階	ホール		36.95	共用
2階	その他		248.64	共用
3階	講義室	03301	147.03	共用
3階	講義室	03302	75.69	共用
3階	倉庫	03303	6.99	共用
3階	講義室	03304	129.29	共用
3階	講義室	03305	79.05	共用
3階	講義室	03306	73.77	共用
3階	WC(W)	03307	27.25	共用
3階	WC(M)	03308	22.80	共用
3階	ホール	03309	36.95	共用
3階	ホール	03309	49.49	共用
3階	その他		258.95	共用
4階	講義室	03401	91.69	共用
4階	講義室	03402	131.02	共用
4階	共通倉庫	03403	6.99	共用
4階	セミナー室	03404	43.54	共用
4階	セミナー室	03405	30.24	共用
4階	セミナー室	03406	30.24	共用
4階	セミナー室	03407	30.24	共用
4階	セミナー室	03408	28.28	共用
4階	セミナー室	03409	34.32	共用
4階	WC(W)	03410	27.25	共用
4階	WC(M)	03411	22.80	共用
4階	講義室	03412	183.83	共用
4階	オープンラボ	03413	102.03	共用
4階	その他		316.72	共用
5階	研究室1(斉藤)	03501	24.22	短大
5階	研究室2	03502	24.22	共用
5階	研究室3(百嶋)	03503	24.14	短大
5階	スチールーム1	03504	22.26	共用
5階	研究室4(川崎)	03505	23.55	短大
5階	映像・アニメーション実習室3	03506	22.29	短大
5階	研究室5(鈴木)	03507	24.07	短大
5階	研究室6(七枝)	03508	24.36	短大
5階	給湯室	03509	6.99	共用
5階	映像・アニメーション実習室1	03510	67.84	短大
5階	映像・アニメーション実習室2	03511	93.96	短大
5階	実習室	03512	93.96	共用
5階	実習室	03513	50.28	共用
5階	WC(W)	03514	27.26	共用
5階	WC(M)	03515	22.80	共用
5階	オープンラボ2	03517	103.59	共用
5階	その他		316.37	共用
6階	理事長室	03601	40.45	その他 法人
6階	前室		15.18	その他 法人
6階	役員室	03602	42.24	その他 法人
6階	法人事務局長室	03603	146.63	その他 法人
6階	ロッカー室	03604	23.70	その他 法人
6階	印刷室	03605	9.66	共用
6階	事務局長室(法人)	03606	23.89	その他 法人
6階	会議室1	03607	147.29	共用
6階	会議室2	03608	94.09	共用
6階	WC(W)	03609	13.54	共用
6階	WC(M)	03610	12.84	共用
6階	給湯室	03611	9.50	共用
6階	情報センター	03612	26.13	共用
6階	電話交換室	03613	7.12	共用
6階	応接室1	03614	34.33	共用
6階	応接室2	03615	23.03	共用
6階	応接室3	03616	23.03	共用
6階	応接室4	03617	34.33	共用
6階	ラウンジ	03618	78.57	共用
6階	その他		273.36	共用
7階	その他		32.40	共用

大学	23,550
短大	280,650
共用	5,784,780
その他	327,870
合計	6,416,850

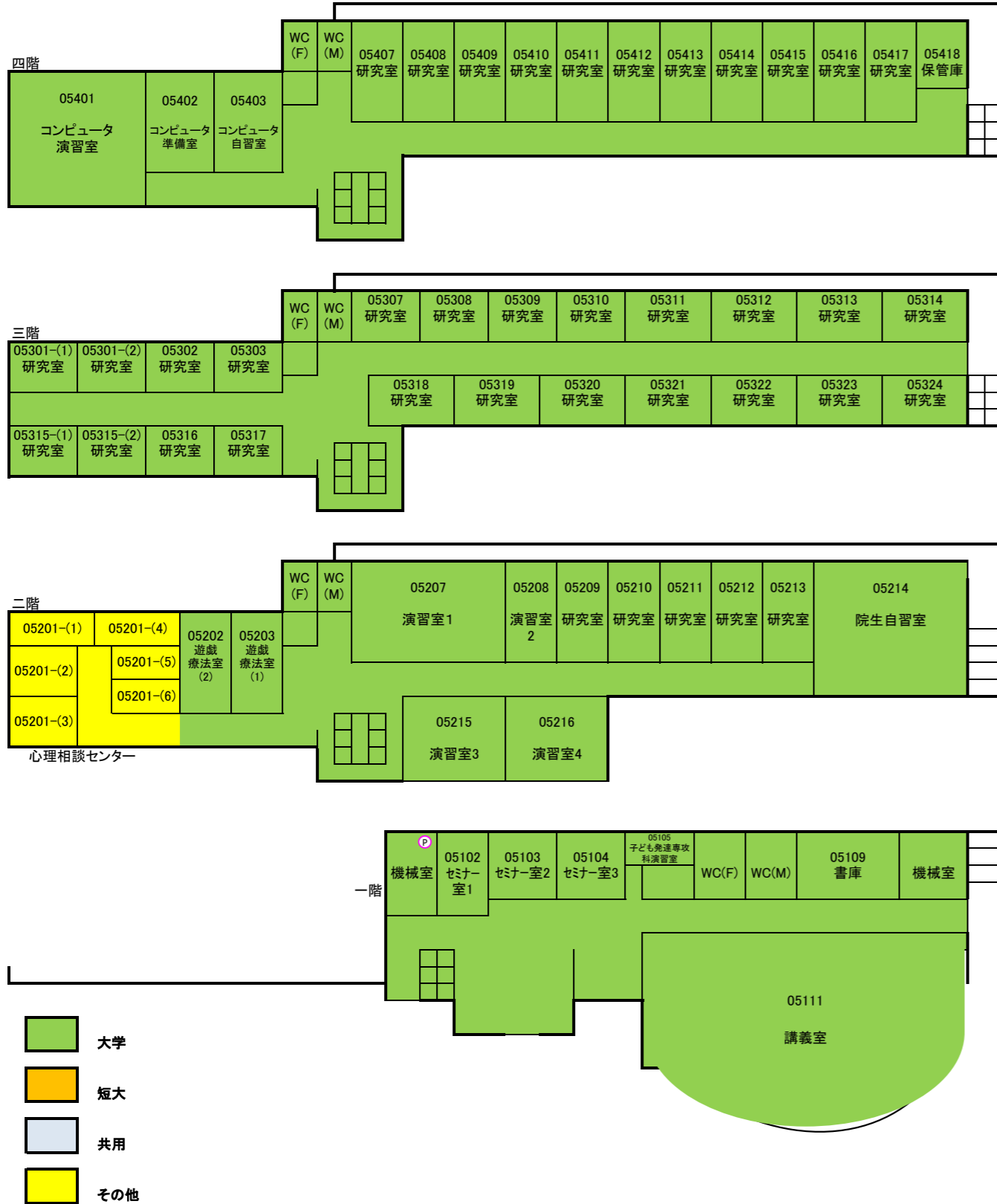
—4号館—(専用・共用)



階数	室名	部屋番号	面積	専修・大専	
地階	レッスン室 L01	4001	23.050	短専	
	レッスン室 L02	4002	16.660	短専	
	レッスン室 L03	4003	19.700	短専	
	レッスン室 L04	4004	13.020	短専	
	レッスン室 L05	4005	12.370	短専	
	WC(F)	4006	26.050	短専	
	WC(M)	4007	9.000	短専	
	楽器練習室 A01	4008	7.040	短専	
	楽器練習室 A02	4009	5.400	短専	
	楽器練習室 A03	4010	5.400	短専	
	楽器練習室 A04	4011	5.530	短専	
	楽器練習室 B01	4012	7.000	短専	
	楽器練習室 B02	4013	5.750	短専	
	楽器練習室 B03	4014	5.750	短専	
	楽器練習室 B04	4015	5.750	短専	
	楽器練習室 C01	4016	6.810	短専	
	楽器練習室 C02	4017	5.750	短専	
	楽器練習室 C03	4018	5.750	短専	
	楽器練習室 C04	4019	5.750	短専	
	楽器練習室 D01	4020	9.460	短専	
	楽器練習室 D02	4021	9.360	短専	
	楽器練習室 D03	4022	9.360	短専	
	楽器練習室 D04	4023	9.360	短専	
	音楽室	4024	106.840	短専	
	音楽準備室	4025	33.100	短専	
研究室(馬杉)	4026	22.200	短専		
控室	4027	32.980	共用		
玄関昇降口		150.000	共用		
ホップ室		14.000	管理 共用		
その他		178.802	共用		
1階	工芸デザインコース実習室	4101	180.000	短専	
	研究室(今田)	4102	46.500	短専	
	美術専攻科演習室1	4103	93.000	短専	
	美術科実習室3	4104	46.500	短専	
	美術専攻科演習室2	4105	46.500	管理 短専	
	研究室(砂川)	4106	46.500	管理 短専	
	日本画コース実習室	4107	93.000	短専	
	研究室(久保田)	4108	46.500	短専	
	図工色彩実習室	4109	180.000	短専	
	WC(F)		25.900	共用	
	給湯室		5.000	共用	
	WC(M)		8.250	共用	
	洋画コース実習室	4111	97.000	短専	
	その他		205.571	共用	
	2階	理化学実験室	4201	180.000	健康
		研究室(青山)	4202	40.500	健康
		分析情報処理室		3.000	健康
		機器室		3.000	健康
		栄養管理演習室	4205	93.000	健康
		美術科準備室	4206	39.000	短専
		美術科準備室	4207	7.500	短専
		研究室(七木田)	4208	25.970	短専
		研究室	4209	24.500	短専
		研究室(長野)	4210	24.500	短専
		研究室(菊野)	4211	24.500	短専
研究室(楠本)		4212	24.500	短専	
研究室(松島)		4213	24.500	短専	
研究室(乗松)		4214	24.500	短専	
研究室(児玉理)		4215	24.500	短専	
研究室(久保)		4216	24.500	短専	
女性文化資料室		4217	24.500	短専	
研究室(宇多)		4218	24.500	短専	
保育実習記録保管室		4219	24.500	短専	
研究室(荒木)		4220	24.500	短専	
研究室(浅井)		4221	24.500	短専	
準備室		4222	24.500	短専	
WC(F)			25.900	共用	
給湯室			5.000	共用	
WC(M)			8.250	共用	
その他		245.417	共用		
3階	マンガ・キャラクター実習室	4301	120.000	短専	
	美術科PCルーム	4302	46.500	短専	
	美術科実習室1	4303	93.000	短専	
	美術科実習室2	4304	93.000	短専	
	グラフィックデザインコース実習室	4305	93.000	短専	
	保育室	4306	93.000	短専	
	カンファレンスルーム	4307	93.000	短専	
	小児保健実習室	4308	120.000	短専	
	WC(F)		27.440	短専	
	給湯室		5.000	短専	
	WC(M)		8.060	短専	
	その他		223.202	短専	
	塔屋室		22.815	短専	
渡廊下		51.360	短専		

大学	319.500
短専	2,736.507
共用	940.120
その他	0.000
合計	3,996.127

—5号館—(専用・共用)

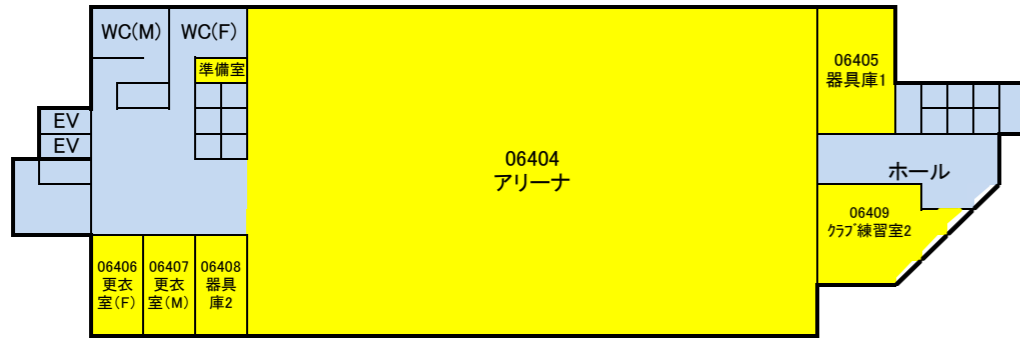


階数	室名	部屋番号	面積	専用・共用
1階	機械室		42.750	現代
1階	セミナー室1	5102	45.000	現代
1階	セミナー室2	5103	35.000	現代
1階	セミナー室3	5104	35.000	現代
1階	子ども発達専攻科演習室	5105	25.000	現代
1階	湯沸室		3.600	現代
1階	WC(F)		25.200	現代
1階	WC(M)		9.000	現代
1階	書庫	5109	49.000	現代
1階	機械室		21.000	現代
1階	講義室	5111	219.321	現代
1階	その他		368.829	現代
2階	心理相談センター	5201	147.000	大学院
2階	遊戯療法実習室2	5202	46.500	現代
2階	遊戯療法実習室1	5203	46.500	現代
2階	湯沸室		5.390	現代
2階	WC(F)		25.721	現代
2階	WC(M)		9.730	現代
2階	演習室1	5207	90.900	大学院
2階	演習室2	5208	31.000	大学院
2階	研究室(神谷)	5209	31.000	大学院
2階	研究室(三原)	5210	31.000	大学院
2階	研究室(堀内)	5211	31.000	大学院
2階	研究室(吉良)	5212	31.000	大学院
2階	研究室(吉備)	5213	31.000	大学院
2階	院生自習室	5214	120.000	大学院
2階	演習室3	5215	55.000	大学院
2階	演習室4	5216	55.000	大学院
2階	その他		119.399	現代
3階	研究室(義田)	5301-1	24.500	現代
3階	研究室(一円)	5301-2	24.500	現代
3階	研究室(木谷)	5302	24.500	現代
3階	研究室(モーター)	5303	24.500	現代
3階	湯沸室		5.390	現代
3階	WC(F)		21.231	現代
3階	WC(M)		12.130	現代
3階	研究室(二宮)	5307	24.500	現代
3階	研究室(中里)	5308	24.500	現代
3階	研究室	5309	24.500	現代
3階	研究室(望月)	5310	24.500	現代
3階	研究室(大牛)	5311	24.500	現代
3階	研究室(山田知)	5312	24.500	現代
3階	研究室(安間)	5313	24.500	現代
3階	研究室(山口)	5314	24.500	現代
3階	研究室	5315-1	24.500	現代
3階	研究室(森田裕)	5315-2	24.500	現代
3階	研究室(芦谷)	5316	24.500	現代
3階	研究室	5317	24.500	現代
3階	研究室	5318	36.750	現代
3階	研究室(戸田)	5319	24.500	現代
3階	研究室(刀田)	5320	24.500	現代
3階	研究室(下田)	5321	24.500	現代
3階	研究室(九内)	5322	24.500	現代
3階	研究室(小林)	5323	24.500	現代
3階	研究室(山崎真)	5324	24.500	現代
3階	その他		224.459	現代
4階	コンピュータ演習室	5401	120.000	現代
4階	コンピュータ準備室	5402	46.500	現代
4階	コンピュータ自習室	5403	46.500	現代
4階	湯沸室		5.390	現代
4階	WC(F)		25.721	現代
4階	WC(M)		9.730	現代
4階	研究室(酒井)	5407	30.999	現代
4階	研究室(本岡)	5408	30.999	現代
4階	研究室(胡)	5409	30.999	現代
4階	研究室(森川)	5410	30.999	現代
4階	研究室(福伊)	5411	30.999	現代
4階	研究室(濱田)	5412	30.999	現代
4階	研究室(緒方)	5413	30.999	現代
4階	研究室(田崎)	5414	30.999	現代
4階	研究室(上之園)	5415	30.999	現代
4階	研究室(村上)	5416	30.999	現代
4階	研究室(鹿江)	5417	30.999	現代
4階	保管庫	5418	22.947	現代
4階	その他		221.183	現代

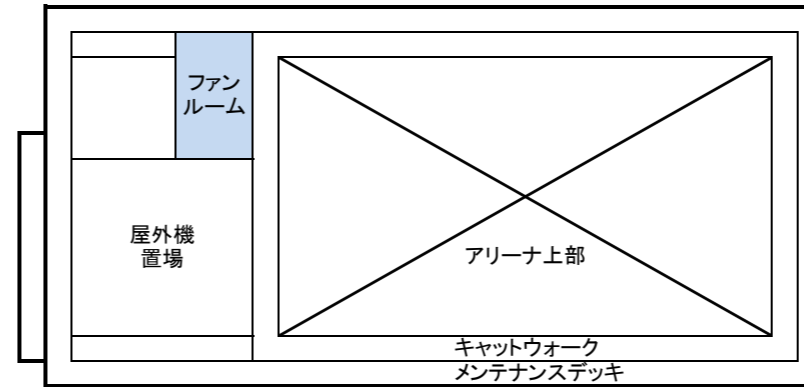
大学	3,316.780
短大	0.000
共用	0.000
その他	147.000
合計	3,463.780

—6号館—(専用・共用)

4階



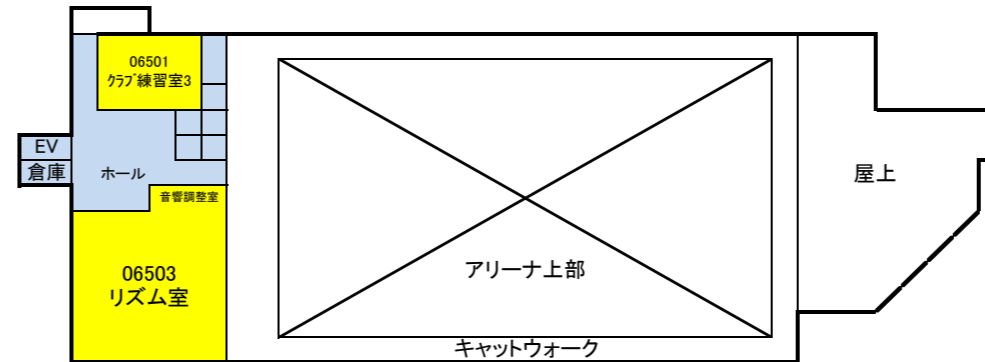
R階



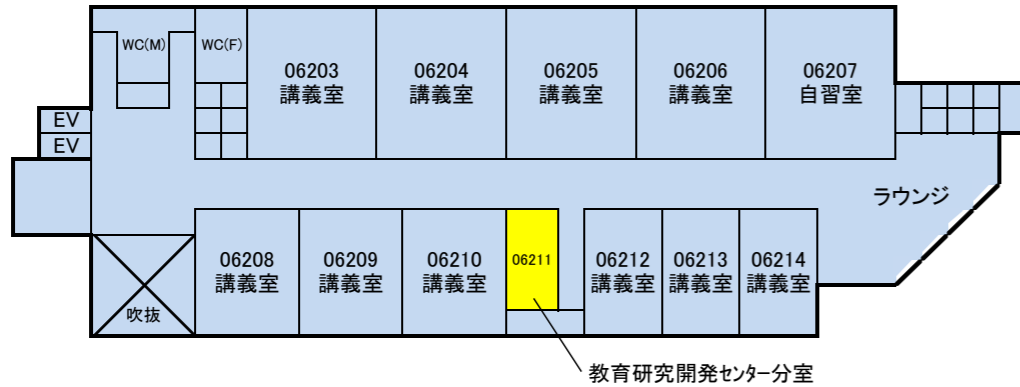
3階



5階

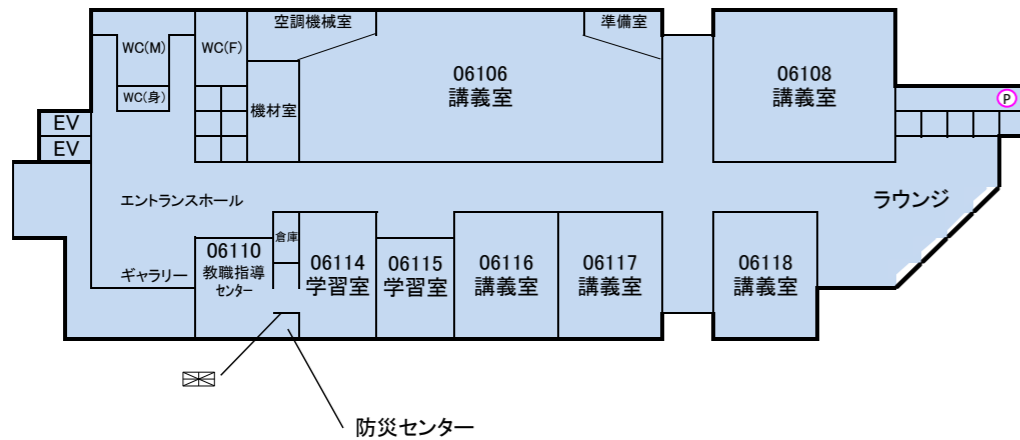


2階



- 大学
- 短大
- 共用
- その他

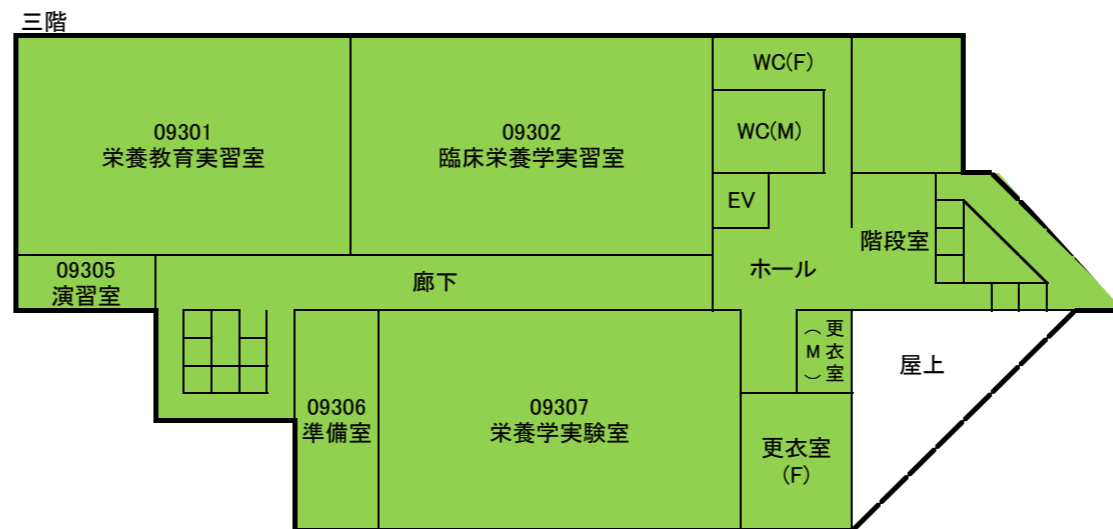
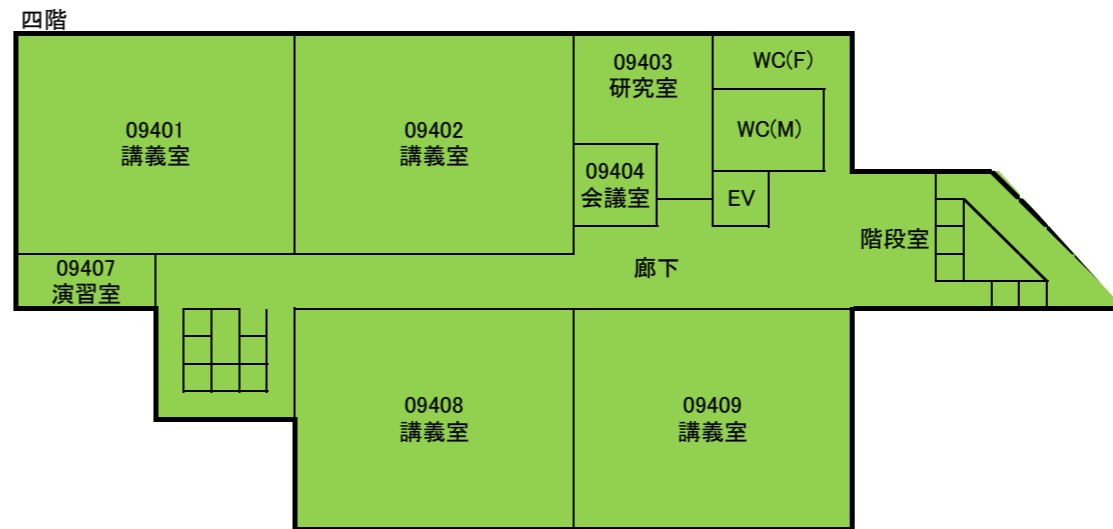
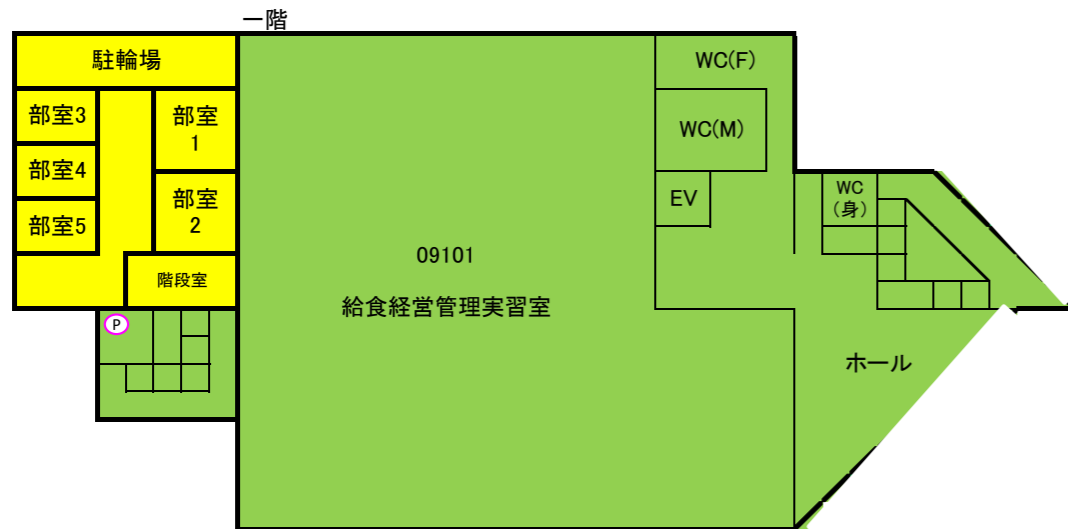
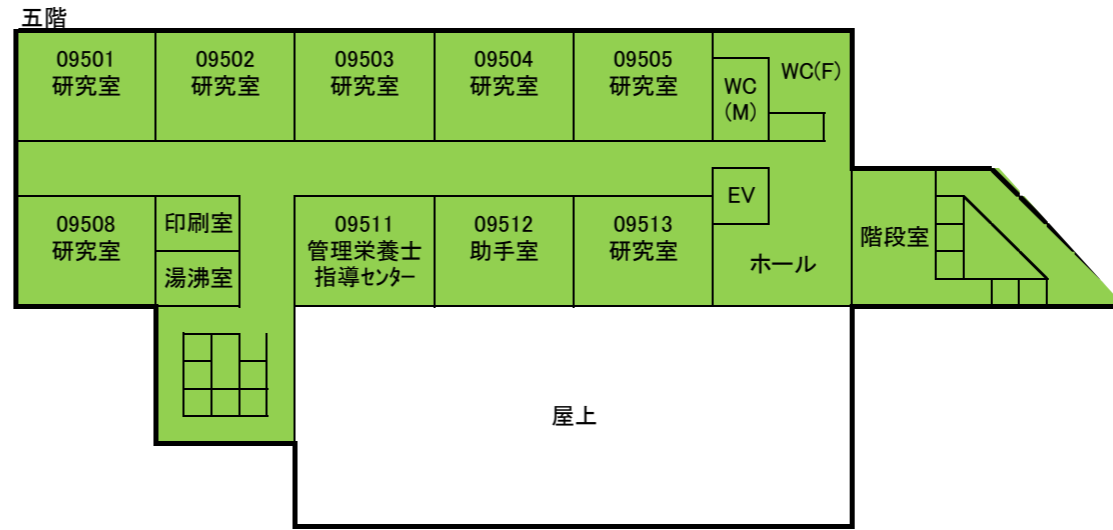
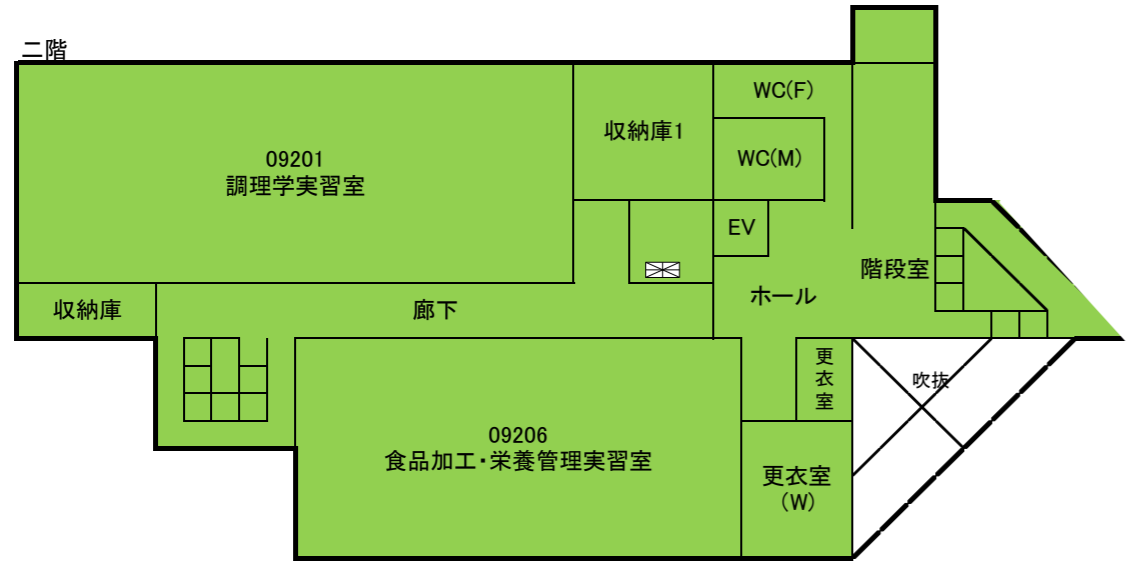
1階



階数	室名	部屋番号	面積	専用・共用	
1階	WC(M)	6101	24.893	共用	
	WC(身)	6102	4.515	共用	
	WC(F)	6103	21.978	共用	
	空調機械室	6104	42.420	管理 共用	
	機材室	6105	42.664	共用	
	講義室	6106	330.780	共用	
	準備室	6107	17.920	共用	
	講義室	6108	175.380	共用	
	ホソソ室	6109	14.790	管理 共用	
	教職指導センター	6110	60.690	共用	
	防災センター	6111	5.440	管理 共用	
	給湯室	6112	5.564	共用	
	倉庫	6113	9.140	共用	
	模擬授業実習室	6114	54.850	共用	
	学習室	6115	36.500	共用	
	講義室	6116	77.250	共用	
	講義室	6117	80.600	共用	
	講義室	6118	80.600	共用	
その他		503.106	共用		
2階	WC(M)	6201	21.978	共用	
	WC(F)	6202	28.214	共用	
	講義室	6203	136.750	共用	
	講義室	6204	136.750	共用	
	講義室	6205	136.750	共用	
	講義室	6206	136.750	共用	
	自習室	6207	70.490	共用	
	講義室	6208	80.600	共用	
	講義室	6209	77.250	共用	
	講義室	6210	103.000	共用	
	高等教育研究開発センター分室	6211	20.750	その他 共用	
	講義室	6212	51.500	共用	
	講義室	6213	51.500	共用	
	講義室	6214	54.850	共用	
	その他		481.588	共用	
	3階	WC(M)	6301	21.978	共用
		WC(F)	6302	28.214	共用
		理科実験室	6303	136.110	現代
準備室(理科)		6304	68.500	現代	
図画工作室		6305	136.750	現代	
準備室(図画)		6306	35.000	現代	
準備室(音楽)		6307	33.500	現代	
音楽室		6308	174.710	現代	
講義室		6309	157.850	現代	
講義室		6310	154.500	現代	
講義室		6311	77.250	現代	
書道実習室		6312	80.060	現代	
書道準備室		22.000	現代		
その他		460.558	共用		
4階	WC(M)	6401	29.145	共用	
	WC(F)	6402	18.755	共用	
	準備室	6403	16.585	その他 体育施設	
	アリーナ	6404	1,110.310	その他 体育施設	
	器具庫1	6405	84.470	その他 体育施設	
	更衣室(F)	6406	25.747	その他 体育施設	
	更衣室(M)	6407	25.775	その他 体育施設	
	器具庫2	6408	27.473	その他 体育施設	
	クラブ練習室2	6409	37.451	その他 課外活動	
	その他		248.759	共用	
5階	クラブ練習室2	6501	43.462	その他 課外活動	
	音響調整室	6502	5.346	その他 体育施設	
	リズム室	6503	162.250	その他 体育施設	
	その他		106.322	共用	
6階	ファンルーム他		52.000	管理 共用	

大学	1,076.230
短大	0.000
共用	4,122.781
その他	1,559.619
合計	6,758.630

—9号館—(専用・共用)

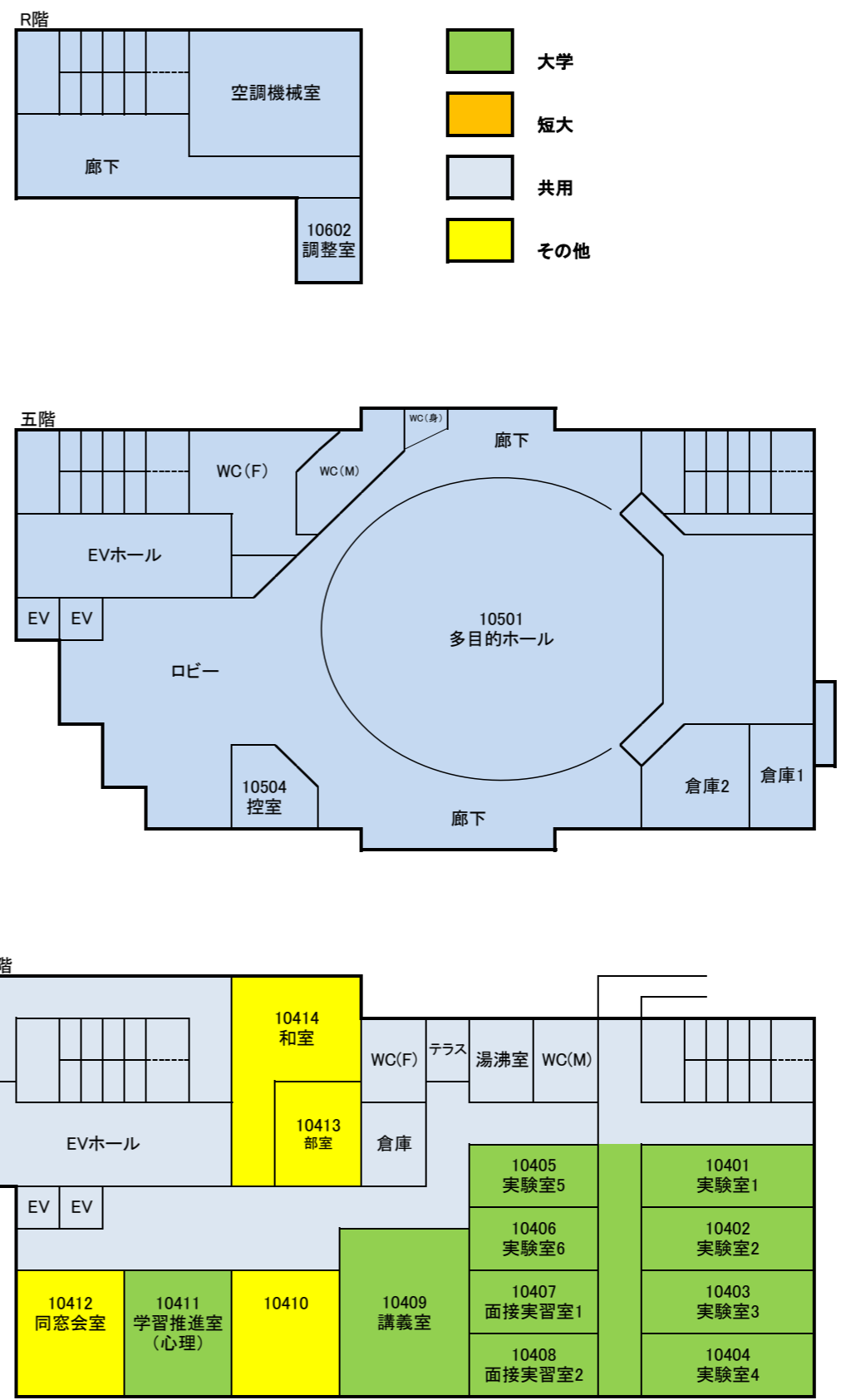


階数	室名	部屋番号	面積	専用・共用
1階	部室1		20.18	課外活動
	部室2		20.18	課外活動
	部室3		9.91	課外活動
	部室4		9.91	課外活動
	部室5		19.82	課外活動
	給食経営管理実習室	9101	123.75	健康
		9102	61.88	健康
		9106	51.10	健康
		9108	115.80	健康
		9107	39.45	健康
		ホール		130.17
2階	調理学実習室	9201	252.90	健康
	収納庫1		46.36	健康
	WC(W)		22.38	健康
	WC(M)		10.52	健康
	収納庫2		17.62	健康
	食品加工・栄養管理実習室	9206	171.43	健康
	更衣室(W)		22.91	健康
	更衣室(M)		5.08	健康
	その他		273.59	健康
	栄養教育実習室	9301	157.82	健康
	臨床栄養学実習室	9302	153.96	健康
栄養実験室	9307	141.67	健康	
準備室		30.70	健康	
演習室	09305	17.62	健康	
更衣室(W)		22.91	健康	
更衣室(M)		5.09	健康	
WC(W)		22.38	健康	
WC(M)		10.52	健康	
その他		215.00	健康	
3階	講義室	9401	127.03	健康
	講義室	9402	123.15	健康
	研究室(酒井)	9403	33.97	健康
	会議室	9404	19.53	健康
	WC(W)		22.37	健康
	WC(M)		10.52	健康
	講義室	9408	104.58	健康
	講義室	9409	106.16	健康
	演習室	9407	33.89	健康
	その他		196.47	健康
4階	研究室(山崎)	9501	33.36	健康
	研究室(寺岡)	9502	31.37	健康
	研究室(丹羽)	9503	31.37	健康
	研究室(戸松)	9504	31.37	健康
	研究室(岡元)	9505	31.37	健康
	WC(W)		14.39	健康
	WC(M)		10.12	健康
	研究室(田中)	09513	30.42	健康
	助手室	09512	30.38	健康
	研究室	09511	31.33	健康
印刷室	09509	11.57	健康	
湯沸室		4.95	健康	
研究室(加島)	09508	31.37	健康	
その他		252.53	健康	
屋上		37.93	健康	

- 大学
- 短大
- 共用
- その他

大学	3,591.210
短大	0.000
共用	0.000
その他	235.360
合計	3,826.570

－10号館－(専用・共用)



■ 大学

■ 短大

■ 共用

■ その他

階数	室名	部屋番号	面積	管理	専用・共用
地階	空調機械室	10001	63.226	管理	共用
	ゴミ集積場		5.280	管理	共用
	消火ポンプ室		15.444	管理	共用
	エントランスホール		36.682		共用
	その他		34.958		共用
1階	防災センター	10101	13.608	管理	共用
		10102	51.776	その他	課外活動
	学友会	10103	58.309	その他	課外活動
		10104	11.001	その他	課外活動
	WC(身)		4.739		共用
	WC(F)		10.099		共用
	WC(M)		11.910		共用
	倉庫		10.000		共用
	倉庫		2.044		共用
	情報コーナー		22.814		共用
	ホール		561.085		共用
	玄関風除室		27.975		共用
	その他		68.930		共用
2階	売店	10201	141.691	その他	共用
	倉庫		15.000		共用
	WC(M)		11.462		共用
	WC(F)		16.538		共用
	比治山祭実行委員会	10205	37.716	その他	課外活動
	ラウンジ		100.106		共用
	飲食コーナー		150.261		共用
	その他		265.816		共用
3階	レストラン	10301	692.927	その他	共用
	WC(身)		5.475		共用
	WC(M)		22.415		共用
	WC(F)		19.314		共用
	その他		256.439		共用
4階	実験室	6室	157.079		現代
	面接実習室	2室	38.250		現代
	講義室	10409	91.084		現代
		10410	33.399	その他	共用
	学習推進室	10411	38.575		現代
	同窓会室	10412	43.464	その他	共用
	部室	10413	22.019	その他	課外活動
	和室	10414	40.153	その他	課外活動
	倉庫		18.627	その他	共用
	WC(M)		15.349		共用
	湯沸室		8.661		共用
	WC(F)		11.906		共用
	渡廊下		21.712		共用
	その他		331.201		共用
	その他		27.411		現代
5階	多目的ホール	10501	380.645		共用
	倉庫		30.794		共用
	控室	10504	14.588		共用
	湯沸室		3.017		共用
	WC(M)・(F)		41.064		共用
	その他		403.842		共用
6階	空調機械室		44.739	管理	共用
	調整室	10602	19.694		共用
	その他		78.267		共用
	循環ポンプ室		8.160	管理	共用

大学	352.399
短大	0.000
共用	3,183.886
その他	1,132.455
合計	4,668.740

比治山大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 比治山大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究し、実践的な幅広い能力と豊かな人間性を備えさせ、もって悠久不滅の生命の理想に向かって精進する人材を育成することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 前項の点検及び評価を行うに当たっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

(教育内容の改善のための組織的な研修)

第2条の2 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施する。

(教育研究活動等の公表)

第2条の3 本学は、公的教育機関として社会に対する説明責任を果たすとともに、教育研究水準の向上を図るために、教育研究活動等に関する情報を広く社会に公表するものとする。

2 公表する情報、実施体制及び方法については、別に定める。

第2章 学部，学科，収容定員及び修業年限

(学部，学科の組織)

第3条 本学に、次の学部及び学科を置く。

(学 部)

現代文化学部

(学 科)

言語文化学科

マスコミュニケーション学科

社会臨床心理学科

子ども発達教育学科

健康栄養学部 管理栄養学科

(学部, 学科の目的)

第3条の2 本学の学部及び学科の目的は、次項以下のとおりとする。

2 現代文化学部は、国際化、情報化の進む現代社会における文化の特質や諸相を的確にとらえ、文化の継承・創造・発展に寄与し、もって地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。

(1) 言語文化学科は、こころと一体化した言語の運用能力を養成するとともに、言語によって創造される文化への理解を深め、地域社会や国際社会で活躍できる人材を育成する。

(2) マスコミュニケーション学科は、多様なメディアの教育・研究を通して、情報発信・活用能力・コミュニケーション力の向上を図り、地域社会やビジネス社会で一人ひとりの心を動かす情動的価値を創造し発信できる人材を育成する。

(3) 社会臨床心理学科は、総合的な心理学の教育研究を通して、現代社会における複雑・多様な心の問題に対処し、豊かな地域社会の実現に貢献できる人材を育成する。

(4) 子ども発達教育学科は、子どもの発達の多面的、総合的な教育研究を通して、子どもの豊かな人間的・社会的発達を支援・指導するための教育的実践力を養成し、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。

3 健康栄養学部管理栄養学科は、管理栄養士の養成を中核として、医療、保健、教育、保育、福祉などの現場において、幅広い視野と豊かな人間性を持って、健康の維持・増進を目指す栄養マネジメントを遂行できる高度な専門的資質能力を育成するとともに、地域社会の食生活の改善や健康増進に貢献できる人材を育成する。

(図書館)

第4条 本学に、図書館を置く。

(事務局)

第5条 本学に、事務局を置く。

(収容定員)

第6条 本学の収容定員は、次のとおりとする。

(学 部)	(学 科)	(入学定員)	(編入学定員)	(収容定員)
現代文化学部	言語文化学科	120人	3人	486人
	マスコミュニケーション学科	60人	1人	242人

	社会臨床心理学科	60人	2人	244人
	子ども発達教育学科	70人	2人	284人
健康栄養学部	管理栄養学科	70人	2人	284人
	計	380人	10人	1,540人

(修業年限及び在学年数)

第7条 修業年限は、4年とする。

2 学生は、8年を超えて在学することはできない。ただし、第18条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第2章の2 大学院

(大学院)

第7条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する学則は、別に定める。

第2章の3 専攻科

(専攻科)

第7条の3 本学に次の専攻科を置く。

子ども発達教育専攻科

2 専攻科に関する規程は、別に定める。

第3章 学年，学期及び休業日

(学年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第9条 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、学長は、教授会の意見を聴いて、学期の開始日・終了日を変更することができる。

(休業日)

第10条 休業日は、次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

学園創立記念日 4月15日

春季休業日 3月23日から4月6日まで

夏季休業日 8月1日から9月30日まで

冬季休業日 12月24日から翌年1月7日まで

2 前項の規定にかかわらず、学長は、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することができる。

(1年間の授業期間)

第11条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第4章 入学、編入学、転科、留学、休学、復学、退学及び除籍等

(入学の資格)

第12条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む。）

(8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であつて、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前条第3号及び第4号に該当する者については、教育上支障がないときは、後学期の始めに入学させることができる。

(入学の出願)

第14条 本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて提出しなければならない。

2 提出の時期、方法及び書類等については、別に定める。

(入学者の選考)

第15条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

(入学手続及び入学の許可)

第16条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに、本学所定の書類を提出するとともに、入学料を納入しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第17条 入学を許可された者は、保証人を定め、指定の期日までに保証人と連署した誓約書を提出しなければならない。

2 保証人は、父母又は成年の親族とし、独立の生計を営む者とする。

3 保証人を変更したときは、直ちに届け出なければならない。

(編入学)

第18条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願する者については、選考の上、第3年次に入学を許可する。

(1) 大学を卒業した者

(2) 大学において2年以上在学し、62単位以上修得した者

(3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者

(4) 高等学校の専攻科の課程を修了した者のうち学校教育法第58条の2の規定によ

り大学に編入学することができるもの

(5) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができるもの

(6) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者

(7) 本学において、短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 前項の規定により入学を許可された者の、既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、学長が決定する。

(転科)

第19条 在学中に他の学科への転科を希望する者は、所定の様式により願出することとし、教授会の意見を聴いて学長がこれを決定する。

2 転科を許可された者の履修方法は、別に定める。

(転部)

第19条の2 在学中に他の学部への転部を希望する者は、所定の様式により願出することとし、教授会の意見を聴いて学長がこれを決定する。

2 転部を許可された者の履修方法は、別に定める。

(留学)

第20条 外国の大学、短期大学又はこれに相当する教育機関等に留学を志願しようとする者は、所定の様式により願出することとし、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第7条第1項に定める修業年限に通算することができる。

3 第1項の外国の教育機関等で修得した単位については、第38条の規定による。

(休学)

第21条 疾病その他やむを得ない事情により、引き続き3か月以上修学することができない場合で休学を希望する者は、所定の様式により学長に届け出て休学することができる。

2 疾病による休学の場合は、医師の診断書を添付しなければならない。

3 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学の期間)

第22条 休学の期間は、1年以内とし、特別な事由がある場合は、引き続き更に1年ま

で延長することができる。ただし、通算して4年を超えることはできない。

2 休学の期間は、在学年数に通算しない。

(復学)

第23条 休学期間中にその事由が消滅し、休学期間を短縮して復学を希望する者は、所定の様式により学長に届け出て復学することができる。

2 復学の時期は学期始めとする。

(転学)

第24条 他の大学へ転学を希望する者は、所定の様式により学長に届け出て転学することができる。

(退学)

第25条 退学しようとする者は、所定の様式により学長に届け出て退学することができる。

(再入学)

第26条 前条により本学を退学した者が、再入学を希望するときは、所定の様式により願出することとし、教授会の意見を聴いて学長がこれを決定する。

2 再入学に関する事項は、別に定める。

(除籍)

第27条 次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 第7条第2項に規定する在学年数を超えた者
- (2) 第22条第1項に定める休学期間を超えてもなお就学できない者
- (3) 授業料の納入の義務を怠り、督促を受けてもなお納入しない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

2 前項第3号に定める除籍に関する事項は、別に定める。

(復籍)

第27条の2 前条第1項第3号の規定により除籍された者が、復籍を希望するときは、所定の様式により願出することとし、学長がこれを決定する。

第5章 教育課程

(教育課程・授業科目・単位数)

第28条 本学は、教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、体系的に教育課程を編成する。

- 2 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に
配当して編成する。
- 3 本学において開設する授業科目及びその単位数は、別表第1のとおりとする。
- 4 前項に規定するもののほか、外国人留学生に対して必要があると認めるときは、日本
語科目及び日本事情に関する科目を開設することができる。
- 5 外国人留学生以外の学生で、外国において相当の期間、中等教育（中学校又は高等学
校に対応する学校における教育をいう。）を受けた者（以下「帰国子女」という。）の教
育について本学が必要と認めるときには、前項に規定する授業科目を開設することがで
きる。

（副専攻）

第28条の2 本学に副専攻を置くことができる。

- 2 前項の副専攻に定める科目群を履修し、修了要件を充足した者に対しては、副専攻修
了証を授与する。
- 3 副専攻に関して必要な事項は、別に定める。

第6章 履修の方法及び学習の評価

（履修の方法）

第29条 履修の方法については、この学則に定めるもののほか、別に定める。

（履修科目の登録）

第30条 学生は、学期の当初に、履修しようとする授業科目を登録しなければならない。

- 2 学生は、前項により登録した授業科目以外の授業科目を履修し、単位を修得すること
はできない。

（他学部・他学科の授業科目の履修等）

第31条 学生は、他学部・他学科の授業科目を、選択科目又は自由科目として履修する
ことができる。

- 2 前項の履修の方法については、別に定める。

（単位の認定）

第32条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

- 2 単位認定の方法は、試験、論文その他によるものとし、各授業科目の担当教員がこれ
を定める。

3 前項に定めるもののほか、必要があるものについては、別に定める。

(試験等の時期)

第33条 試験等の時期は、原則として学期末又は学年末とする。ただし、授業科目の担当教員が必要と認めるときは、臨時に行うことができる。

(試験等の受験資格)

第34条 学期の当初において、登録した授業科目以外の授業科目の試験は、受けることができない。

(追試験・再試験)

第35条 病気等やむを得ない事情により試験が受けられなかった者は、願い出により追試験を受けることができる。

2 定期試験で不合格になった者については、再試験を行うことがある。

3 追試験及び再試験に関して必要な事項は、別に定める。

(学習の評価)

第36条 試験等の評価は、秀、優、良、可又は不可をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

(単位)

第37条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。

(2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(4) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち、二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前3号に規定する基準を考慮して本学が定める授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(授業の方法)

第37条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第38条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学、短期大学又はこれに相当する教育機関等に留学する場合に準用する。

3 前2項の規定の実施に関して必要な事項は、別に定める。

(大学以外の教育施設等における学修)

第39条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 前2項の規定の実施に関して必要な事項は、別に定める。

(入学前の既修得単位等の認定)

第40条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第38条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 前3項の単位認定の取扱いについては、別に定める。

第40条の2 前条の規定にかかわらず、子ども発達教育学科の保育士の資格取得を希望する者が、本学に在学中又は入学前に他の指定保育士養成施設において履修した教科目について修得した単位は、本学における授業科目の履修とみなし、30単位を超えない範囲で単位を与えることができる。

2 前条の規定にかかわらず、子ども発達教育学科の保育士の資格取得を希望する者が、指定保育士養成施設以外の学校等で履修した教科目について修得した単位は、教養科目に相当する教科目に限り本学における共通教育科目の履修とみなし、30単位を超えない範囲で単位を与えることができる。

(外国人留学生等に関する履修方法の特例)

第41条 外国人留学生が第28条第4項に規定する授業科目の単位を修得したときは、これらの単位のうち、6単位までを共通教育科目・比治山ベーシック科目・コミュニケーションリテラシーの日本語及び外国語、10単位までを共通教育科目・教養教育科目の単位に代えることができる。

2 前項の規定は、帰国子女が第28条第5項に規定する授業科目の単位を修得したときに準用する。

3 前2項の規定の実施に関して必要な事項は、別に定める。

第7章 卒業、学位及び資格等の取得

(卒業の要件)

第42条 学生は、卒業するためには、本学に4年(第18条第1項により入学した者については、同条第2項に定められた在学すべき年数)以上在学し、124単位以上修得しなければならない。

2 授業科目の区分ごとの修得すべき単位数は、別表第2のとおりとする。

3 第1項に規定する所定の単位のうち、第37条の2第2項の授業の方法により修得することができる単位数は60単位を超えないものとする。

4 前項に関し必要な事項については、別に定める。

(卒業)

第43条 所定の期間修業し、所定の授業科目を修め単位を修得した者に対する卒業は、教授会の意見を聴いて学長がこれを決定する。

2 前項により卒業の資格を得た者には、卒業証書を授与する。

(学位の授与)

第44条 卒業した者に学士の学位を授与する。

2 学士の学位を授与するに当たっては、次に掲げる専攻分野の名称を付記するものとする。

学部・学科名	専攻分野の名称
現代文化学部	
言語文化学科	文 学
マスコミュニケーション学科	文 学
社会臨床心理学科	心 理 学
子ども発達教育学科	教 育 学
健康栄養学部	
管理栄養学科	栄 養 学

(学芸員の資格)

第45条 学芸員の資格を取得しようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、博物館法並びに同法施行規則に定める科目及び単位その他、本学の定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 学芸員の資格の取得に関して必要な事項は、別に定める。

(教育職員免許状の資格)

第45条の2 教育職員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、教育職員免許法及び同法施行規則に定める科目を修得しなければならない。

2 その種類及び教科は、次のとおりとする。

<現代文化学部>

学科・専攻	種 類	教 科
言語文化学科 日本語文化コース	中学校教諭一種免許状	国 語

国際コミュニケーションコース 子ども発達教育学科	高等学校教諭一種免許状	国 語
	中学校教諭一種免許状	英 語
	高等学校教諭一種免許状	英 語
	幼稚園教諭一種免許状	
	小学校教諭一種免許状	

<健康栄養学部>

学 科	種 類
管理栄養学科	栄養教諭一種免許状

3 教育職員免許状の資格の取得に関して必要な事項は、別に定める。

(日本語教員養成課程の修了)

第45条の3 本学において日本語教員養成課程修了証書を受けるためには、所定の単位を修得しなければならない。

2 前項に関して必要な事項は、別に定める。

(レクリエーション・インストラクターの資格)

第45条の4 削除

(日本心理学会認定心理士資格)

第45条の5 日本心理学会認定心理士の資格を得ようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、公益社団法人日本心理学会が定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 日本心理学会認定心理士の資格の取得に関して必要な事項は、別に定める。

(保育士の資格)

第45条の6 保育士資格を取得しようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に規定する科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。ただし、指定保育士養成施設卒業証明書を受けることができる者は、指定保育士養成施設の指定を受けた入学定員70人(収容定員284人)とする。

2 保育士資格の取得に関して必要な事項は、別に定める。

(学校図書館司書教諭資格)

第45条の7 学校図書館司書教諭資格を取得しようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、教育職員免許状取得のための必要な科目を履修し、所定の単位を修

得するとともに、学校図書館司書教諭講習規程第3条に規定する科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

2 学校図書館司書教諭資格の取得に関して必要な事項は、別に定める。

(栄養士資格)

第45条の8 栄養士資格を取得しようとする者は、栄養士法施行令及び栄養士法施行規則に規定する所定の単位を修得しなければならない。

2 栄養士資格の取得に関して必要な事項は、別に定める。

(管理栄養士受験資格)

第45条の9 管理栄養士の受験資格を取得しようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、栄養士法施行令及び管理栄養士学校指定規則に規定する所定の単位を修得しなければならない。

2 管理栄養士受験資格の取得に関して必要な事項は、別に定める。

(公認心理師受験資格)

第45条の10 公認心理師法第7条第1項前段に定める大学における要件については、第42条に規定する卒業の要件を充足し、かつ公認心理師法施行規則第1条に定める科目及び単位を修得しなければならない。

2 前項について必要な事項は、別に定める。

第8章 入学検定料、入学料、授業料及びその他の納付金

(検定料等の金額)

第46条 本学の入学検定料、入学料及び授業料の金額は、次のとおりとする。

入学検定料 30,000円

ただし、大学入学共通テスト利用選抜については15,000円とし、複数の試験を併願する場合については、別に定める。

入学料 230,000円

授業料

現代文化学部

言語文化学科 780,000円

マスコミュニケーション学科 780,000円

社会臨床心理学科 840,000円

子ども発達教育学科	820,000円
健康栄養学部	
管理栄養学科	900,000円

2 入学検定料，入学料の納入時期及び方法等その他必要な事項は，別に定める。

(授業料の納入期)

第47条 授業料は，年額を2回に分けて納入するものとし，学期始めに指定した期日までに納入しなければならない。ただし，特別の事情がある者には，分納を認めることがある。

(退学等の場合の授業料)

第48条 学期の途中で退学若しくは転学した者，退学を命ぜられた者又は除籍された者の当該学期分の授業料は，全額を徴収する。

2 停学期間中の授業料は，徴収する。

(休学の場合の授業料等)

第49条 休学期間中は，授業料等を免除する。ただし，別に定める在籍料を納入しなければならない。

第50条 削除

(留年者及び学年の途中で卒業する場合の授業料等)

第51条 留年者の授業料等については，別に定める。

2 学年の途中で卒業する者は，卒業する月までの授業料等を納入しなければならない。

(その他の納付金)

第52条 入学検定料，入学料及び授業料のほか，教育に必要な納付金の年額は，次のとおりとする。

施設設備費	220,000円
-------	----------

(納入した授業料等)

第53条 納入した入学検定料，入学料，授業料及びその他の納付金は，返還しない。ただし，第49条に該当する者については，この規定を適用しない。

2 前項の規定にかかわらず，入学学期の開始前までに入学を辞退した場合は，授業料及びその他の納付金を返還することができる。

第9章 教職員組織

(教職員)

第54条 本学に、学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

2 本学に、学部長を置き、教授をもって充てる。

3 本学に、図書館長を置く。

4 本学に、事務局長を置き、事務職員をもって充てる。

5 前各項に規定する者のほか、技術職員、その他必要な職員を置くことができる。

(教職員の職務)

第55条 教職員の職務は、学校教育法第92条及び第114条の定めるところによる。

(教授会)

第56条 本学の各学部に、教授会を置く。

(教授会の組織)

第57条 教授会は、学部長、教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

2 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めるときは、その他の教職員を加えることができる。

(教授会の招集)

第58条 学部長は、教授会を招集し、その議長となる。ただし、学部長に事故があるときは、あらかじめ学部長が指名した教授が議長となる。

(教授会の開催)

第59条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。

(所掌事項)

第60条 教授会においては、当該学部の教育研究に関し、次の事項について学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べるものとする。

3 教授会に関して必要な事項は、別に定める。

(全学教授会)

第60条の2 本学に全学教授会を置く。

- 2 全学教授会は、学長、副学長、各学部長、教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。
- 3 全学教授会は、学長が招集し、その議長となる。ただし、学長に事故があるときは、あらかじめ学長が指名した副学長が議長となる。
- 4 全学教授会は、学長がつかさどる全学的な教育研究に関する事項について審議し、及び学長の求めに応じ、意見を述べるものとする。

(代議員会等)

第60条の3 教授会に、審議機関として学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第143条に規定された代議員会等を置くことができる。

- 2 教授会は、その定めるところにより、代議員会等の議決をもって、教授会の議決とすることができる。
- 3 代議員会等に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 科目等履修生、研究生、特別聴講学生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第61条 本学の学生以外の者で1又は複数の授業科目を履修する者（以下「科目等履修生」という。）に対し、単位を与えることができる。

- 2 科目等履修生に対する単位の認定については、第32条の規定を準用する。

(研究生)

第62条 本学学生以外の者で、研究生として特定事項の研究を希望する者があるときは、学長がこれを許可することがある。

(特別聴講学生)

第62条の2 他の大学、大学院又は短期大学との協議に基づき、当該大学、大学院又は短期大学の学生に授業科目の履修を認めることができる。

- 2 前項の規定により、授業科目の履修を認められた学生は、特別聴講学生と称する。

(外国人留学生)

第63条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、教授会の意見を聴いて外国人留学生として学長が入学

を許可することがある。

第64条 科目等履修生, 研究生, 特別聴講学生及び外国人留学生に関して必要な事項は, 別に定める。

第11章 賞 罰

(表彰)

第65条 学生として表彰に値する行為があった者には, 学長がこれを表彰することができる。

(懲戒)

第66条 本学の学則若しくは諸規程に違反し, 又は学生としての本文に反する行為をした者は, 教授会の意見を聴いて, 学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は, 訓告, 停学及び退学とする。

3 懲戒に関し必要な事項は, 別に定める。

第12章 公 開 講 座

(公開講座)

第67条 社会人の教養を高め, 文化の向上に資するため, 本学に公開講座を開設することができる。

第13章 教 育 施 設

(教育施設)

第68条 本学に, 学習, 生活訓練及び研修等の教育施設として, からまつ学寮を置く。

2 前項の施設に関する必要な事項は, 別に定める。

第14章 厚 生 施 設

(厚生施設)

第69条 本学に厚生施設として, 学生相談室, 就職相談室, 保健衛生室, 食堂等を置く。

2 前項の各施設に関する必要な事項は, 別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成6年4月1日から施行する。ただし、現代文化学部の収容定員は、第6条の規定にかかわらず、平成6年度から平成8年度においては、次のとおりとする。

	言語文化学科 (日本語文化専攻)		コミュニケーション学科 (英語文化専攻)	計
平成6年度	75人	35人	80人	190人
平成7年度	150人	70人	160人	380人
平成8年度	238人	112人	240人	590人

附 則

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、第46条の入学検定料の改正については、平成7年度入学に係る入学志願の時から適用する。
- 2 平成7年度前の入学生については、第46条及び第52条の改正規定は適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成7年5月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。ただし、第52条の改正規定は、平成8年度前の入学生については適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 平成10年度前の入学生については、第41条第1項、別表第1及び別表第2の改正規定は、適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 現代文化学部の収容定員は第6条の規定にかかわらず、平成12年度から平成14年度においては次のとおりとする。

	言語文化学科 (日本語文化専攻)		コミュニケーション学科 (英語文化専攻)	計
--	---------------------	--	-------------------------	---

平成12年度	323人	197人	340人	860人
平成13年度	320人	240人	360人	920人
平成14年度	320人	280人	370人	970人

附 則

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第12条第7号、第18条第1項第4号及び同条第6号並びに第38条第1項、第39条第2項、第40条第1項及び同条第3項の改正規定は、平成11年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成13年度前の入学生については、別表第1及び別表第2の改正規定は、適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 平成14年度前の入学生については、別表第1の改正規定は、適用しない。

附 則

- 1 この学則は、平成14年10月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 現代文化学部の収容定員は第6条の規定にかかわらず、平成16年度から平成18年度までの間は、次のとおりとする。

	言語文化学科	地域文化政策学科	マスメッセージン学科	社会臨床心理学科	計
平成16年度	120人	60人	60人	60人	300人
平成17年度	240人	120人	120人	120人	600人
平成16年度	370人	185人	185人	190人	930人

- 3 平成16年度前の入学生については、第3条第2項、第19条、第29条、第41条第1項、第44条第2項、第46条第1項、第52条、別表第1及び別表第2の改正規定は適用しない。
- 4 言語文化学科の日本語文化専攻、英語文化専攻及びコミュニケーション学科は、改正

後の第3条第2項の規定にかかわらず、平成16年3月31日に当該学科・専攻に在学する者が当該学科・専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

- 5 言語文化学科の日本語文化専攻、英語文化専攻及びコミュニケーション学科の第3年次編入学は、平成18年4月1日をもって募集を停止する。

附 則（平成16年1月27日改正）

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第12条の改正規定は、平成16年1月27日から施行する。
- 2 平成16年度前の入学生については、第36条、第45条の2、第45条の4及び第45条の5の改正規定は適用しない。

附 則（平成16年5月28日改正）

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年度前の入学生については、第52条の改正規定は適用しない。

附 則（平成16年7月30日改正）

- 1 この学則は、平成16年7月30日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 2 平成16年度前の入学生については、第36条の改正規定は、適用しない。

附 則（平成18年2月16日改正）

この学則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年5月30日改正）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月23日改正）

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成19年12月6日改正）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年2月22日改正）

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年2月22日改正）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 地域文化政策学科は、改正後の第3条第2項の規定にかかわらず、平成21年3月31日に在籍する者が当該学科に在籍しなくなるまでの間、存続するものとする。
- 3 現代文化学部の収容定員は第6条の規定にかかわらず、平成21年度から平成23年

度までの間は、次のとおりとする。

	言語文化学科	マコミュニケーション学科	社会臨床心理学科	子ども発達教育学科	計
平成 21 年度	500人	250人	260人	70人	1,080人
平成 22 年度	500人	250人	260人	140人	1,150人
平成 23 年度	495人	248人	255人	220人	1,218人

4 平成 21 年度前の入学生については、改正後の第 3 条第 2 項、第 3 条の 2 第 2 項、第 4 4 条第 2 項、第 4 5 条の 2 第 1 項、別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

5 地域文化政策学科の第 3 年次編入学は、平成 23 年 4 月 1 日をもって募集を停止する。

附 則（平成 21 年 1 月 27 日改正）

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年 7 月 27 日改正）

1 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 22 年度前の入学生については、改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 3 月 26 日改正）

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年 9 月 24 日改正）

1 この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 23 年度前の入学生については、改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 12 月 17 日改正）

この学則は、平成 23 年 1 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年 7 月 27 日改正）

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年 3 月 27 日改正）

1 この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 平成 25 年度前の入学生については、改正後の別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 24 年 5 月 29 日改正）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成24年10月23日改正）

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年度前の入学生については、改正後の別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月27日改正）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成25年5月27日改正）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月28日改正）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年度前の入学生については、改正後の別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成26年5月28日改正）

この学則は、平成26年7月1日から施行する。

附 則（平成26年10月27日改正）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度前の入学生については別表第1にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成26年12月18日改正）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年度前の入学生については、改正後の第41条、第45条の2第2項、第45条の4、別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 「比治山大学レクリエーション・インストラクターの資格取得に関する規程（平成16年4月1日施行）」は、この学則の施行期日をもって廃止する。

附 則（平成27年3月27日改正）

この学則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月27日改正）

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度前の入学生については、第46条及び第52条の改正規定は適用しない。

附 則（平成 27 年 9 月 15 日改正）

- 1 この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年度前の入学生については、改正後の第 49 条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 28 年 2 月 10 日改正）

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 23 日改正）

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 29 年 2 月 8 日改正）

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度前の入学生については、改正後の別表第 1 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 30 年 2 月 9 日改正）

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年度前の入学生については、改正後の第 45 条の 10、別表第 1 及び別表第 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 「比治山大学教育研究協議会規程（平成 28 年 4 月 1 日施行）」は、この学則の施行期日をもって廃止する。

附 則（平成 30 年 3 月 26 日改正）

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年度前の入学生については、第 46 条の改正規定は適用しない。

附 則（平成 30 年 7 月 27 日改正）

- 1 この学則は、平成 30 年 7 月 27 日から施行する。

附 則（平成 30 年 7 月 27 日改正）

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年度前の入学生については、改正後の別表 1 及び別表 2 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 31 年 2 月 8 日改正）

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 31 年度前の入学生については、改正後の別表 1 及び別表 2 の規定にかかわら

ず，なお従前の例による。

附 則（令和元年10月25日改正）

- 1 この学則は，令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年度前の入学生については，改正後の別表第1の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和元年12月13日改正）

この学則は，令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年3月24日改正）

この学則は，令和2年4月1日から施行する。

附 則（令和2年5月27日改正）

この学則は，令和2年5月27日から施行する。

附 則（令和2年12月11日改正）

- 1 この学則は，令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年度前の入学生については，改正後の別表第1の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和3年3月24日改正）

- 1 この学則は，令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年度前の入学生については，改正後の第28条，同条第2項，同条第3項，同条第4項，同条第5項，第29条，第31条，第41条，同条第2項及び別表第2の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和3年3月24日改正）

- 1 この学則は，令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年度前の入学生については，改正後の別表第1の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和3年12月22日改正）

- 1 この学則は，令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年度前の入学生については，改正後の別表第1の規定にかかわらず，なお従前の例による。

附 則（令和5年5月26日改正）

- 1 この学則は，令和6年4月1日から施行する。

- 2 令和6年度前の入学生については、改正後の別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和5年7月21日改正）

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年度前の入学生については、改正後の第41条、別表1及び別表2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和5年12月15日改正）

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 令和7年度前の編入学定員及び収容定員については、改正後の第6条、第45条の6の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和6年3月22日改正）

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

別表第1 (第28条関係)

教育課程表

(1) 現代文化学部

	科目区分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
共通教育科目	スタートアップ	初年次セミナーⅠ	2		必修4単位
		初年次セミナーⅡ	2		
	キャリア形成	キャリアデザイン入門	2		必修2単位以上
		インターンシップA		1	
		インターンシップB		2	
		キャリア研究		2	
	日本語	日本語リテラシー	1		必修2単位
		日本語表現	1		
	外国語	英語リテラシー	2		言語文化学科及び子ども発達教育学科は、必修2単位を含め、4単位以上 マスコミュニケーション学科及び社会臨床心理学科は、必修2単位以上
		英語Ⅰ		2	
		英語Ⅱ		1	
		英語Ⅲ		1	
		英会話Ⅰ		1	
		英会話Ⅱ		1	
		中国語Ⅰ		1	
		中国語Ⅱ		1	
		韓国語Ⅰ		1	
		韓国語Ⅱ		1	
	情報	情報リテラシー	1		必修3単位以上
		データサイエンス入門	2		
		データサイエンス演習		2	
		プログラミング基礎		2	
	学際総合	人間と生命(比治山学)	2		必修2単位を含め、6単位以上
		ひろしま学		2	
		複合領域研究		4	
	教養科目	言語学		2	
		文学		2	
		歴史学		2	
		哲学		2	
		芸術学		2	
		教育学		2	
		経営学		2	
社会学			2		
観光学			2		
心理学			2		
保健学			2		
生理学			2		
栄養学			2		

	科目区分		授 業 科 目	単位数		備 考
				必修	選択	
共通 科目 教育	教 養 目 的	資 格 関 係	日本国憲法		2	
			ウエルネス論		2	
			スポーツ		1	
			合 計	15	56	

	科目区分	授 業 科 目		単位数		備 考	
				必修	選択		
言語文化学科	基礎	入門	日本語学入門		2	入門区分4単位以上を含め、基礎区分8単位以上	
			日本文学入門		2		
			日本歴史文化入門		2		
			言語学入門		2		
			英米文学入門		2		
			異文化理解入門		2		
		概論	日本語学概論		2		
			日本文学概論		2		
			日本歴史文化概論		2		
			英語学概論		2		
			米文学概論		2		
			英文学概論		2		
	専門科目	日本語文化コース	日本語学	日本語研究A		2	演習区分 必修4単位を含め6単位以上、発展区分24単位以上
				日本語研究B		2	
				日本語史		2	
				日本語表現法A		2	
				日本語表現法B		2	
				日本語表現研究		2	
			日本文学	日本文学研究A		2	
				日本文学研究B		2	
				日本文学研究C		2	
				日本文学研究D		2	
				日本文学史		2	
				日本映画文化論		2	
			日本歴史文化	漢文学		2	
				地域の文化と歴史		2	
				日本考古学		2	
				日本民俗学		2	
				演劇・芸能研究		2	
				日本の伝統文化		2	
		表現・創作	日本語文化研修		2		
			書道A		2		
			書道B		2		
			創作論		2		
			創作演習Ⅰ		2		
			創作演習Ⅱ		2		
		国語科教育	創作演習Ⅲ		2		
			創作演習Ⅳ		2		
			国語科教育法Ⅰ		2		
			国語科教育法Ⅱ		2		
		演習	国語科教育法Ⅲ		2		
			国語科教育法Ⅳ		2		
基礎ゼミナールⅠ			2				
基礎ゼミナールⅡ			2				
日本語学演習				2			
日本文学演習			2				
日本歴史文化演習			2				

	科目区分	授業科目	単位数		備考			
			必修	選択				
言語文化学科	専門科目	国際コミュニケーションコース	異文化理解	異文化理解研究Ⅰ	2	必修6単位を含め、 16単位以上		
				異文化理解研究Ⅱ	2			
				異文化理解実践研究	2			
			国際コミュニケーションスキルズ	英語コミュニケーションⅠ			2	
				英語コミュニケーションⅡ			2	
				英語コミュニケーションⅢ			2	
				英語コミュニケーションⅣ			2	
				中国語コミュニケーションⅠ			2	
				中国語コミュニケーションⅡ			2	
				韓国語コミュニケーションⅠ			2	
				韓国語コミュニケーションⅡ			2	
				検定英語			2	
				検定中国語			2	
				検定韓国語			2	
				Presentation Skills			2	
				Critical Thinking and Discussion			2	
			Functional Expressions		2			
			地域・文化研究	Japan Studies			2	
				アジア文化論			2	
				アジア地域研究			2	
				欧米文化論			2	
				欧米地域研究			2	
				英米映画文化論			2	
				翻訳文化研究			2	
				英米文学講読			2	
			英語教育	英語の歴史			2	
				英語教授法			2	
				英語科教育法Ⅰ			2	
				英語科教育法Ⅱ			2	
				英語科教育法Ⅲ			2	
			英語科教育法Ⅳ		2			
			言語文化共通	社会言語学			2	8単位以上
				対照言語学			2	
				日本文学講読A			2	
				日本文学講読B			2	
				日本児童文学			2	
				日本文化史Ⅰ			2	
				日本文化史Ⅱ			2	
				日本のポップカルチャー			2	
				英米音楽文化論			2	
				日英比較文化			2	
				Basic Communication SkillsⅠ			2	
				Basic Communication SkillsⅡ			2	
				異文化間コミュニケーションⅠ			2	
				異文化間コミュニケーションⅡ			2	
				異文化間コミュニケーションⅢ			4	
				異文化間コミュニケーションⅣ			6	

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考	
			必修	選択		
言語文化学科	専門科目	言語文化共通	日本語教育概論Ⅰ		2	
		日本語教育概論Ⅱ		2		
		日本語教授法		2		
		日本語教材研究		2		
		日本語教育実習		2		
		第二言語習得概論		2		
	特別研究	特別研究Ⅰ	2		必修6単位	
		特別研究Ⅱ	2			
		特別研究Ⅲ	2			
	卒業論文	卒業論文	4		必修4単位	
	合 計			20	196	

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考	
			必修	選択		
マスコミュニケーション学科	基礎	広告・マーケティング基礎ゼミ	2		必修6単位を含め20単位以上	
		映像・取材基礎ゼミ	2			
		観光・情報基礎ゼミ	2			
		映像表現		2		
		ニュース基礎		2		
		簿記論		2		
		ライティングスキルI		2		
		マスコミ基礎		2		
		観光学概論		2		
		私流おもてなし論		2		
		観光文化論		2		
		コミュニケーションデザイン		2		
		ITパスポート入門		2		
		ビジネスの現場		2		
		ビジネスの技術		2		
	専門科目	専門	メディア史		2	14単位以上
			メディア制作 I		2	
			ライティングスキル II		2	
			メディア制作 II		2	
			地域資源論		2	
			観光ビジネス論		2	
			観光消費者論		2	
			地域経済論		2	
			広告コピー制作		2	
			統計学基礎		2	
			マーケティングの企画		2	
			グループワーク		2	
			ニュースを読む		2	
			映像文化		2	
			観光マーケティング		2	
	観光人材論		2			
	発展応用		ワークショップ		2	10単位以上
			取材法		2	
			広島圏域の観光政策		2	
			世界遺産の観光学 I (宮島)		2	
			地域メディアの現場		2	
			世界遺産の観光学 II (平和遺産)		2	
			瀬戸内ツーリズム		2	
			里山ツーリズム		2	
	ビジネスの知識		2			
	研究		課題研究 I	2		必修14単位
			課題研究 II	2		
			特別研究 I	4		
特別研究 II			4			
特別研究 III			2			
卒業論文	卒業論文	4		必修4単位		
合 計			24	74		

	科目区分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
社会臨床心理学科	基礎科目	心理学概論	2		必修14単位
		臨床心理学概論	2		
		心理学研究法	2		
		心理社会調査法	2		
		心理学統計法	2		
		心理学実験	4		
	専門領域科目	知覚・認知心理学		2	演習2単位を含め22単位以上
		学習・言語心理学		2	
		感情・人格心理学		2	
		神経・生理心理学		2	
		社会・集団・家族心理学		2	
		グループ・ダイナミクス		2	
		対人コミュニケーション論		2	
		発達心理学		2	
		生涯発達心理学		2	
		障害者・障害児心理学		2	
		心理的アセスメント		2	
		心理学的支援法		2	
		援助コミュニケーション論		2	
		コミュニティ心理学		2	
		知覚・認知心理学演習		2	
		社会・集団・家族心理学演習		2	
		教育・学校心理学演習		2	
		発達心理学演習		2	
		臨床心理学演習A		2	
		臨床心理学演習B		2	
	臨床心理学演習C		2		
	科発目展	社会臨床心理学		2	必修4単位
		社会臨床心理学演習		2	
	実践科目	公認心理師の職責		2	必修4単位を含め26単位以上
		健康・医療心理学		2	
		福祉心理学		2	
		教育・学校心理学		2	
		司法・犯罪心理学		2	
		産業・組織心理学		2	
		人体の構造と機能及び疾病		2	
		精神疾患とその治療		2	
		関係行政論		2	
		学生生活とメンタルヘルス		2	
		意思決定の心理学		2	
		発達臨床心理学		2	
		ポジティブ心理学		2	
		表現療法		2	
力動的心理療法			2		
認知行動療法			2		
心理測定演習			2		
コミュニケーション演習			2		
心理学総合演習Ⅰ			2		
心理学総合演習Ⅱ			2		
心理学情報処理演習		2			

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考	
			必修	選択		
社会臨床心理学科	専門科目	実践科目	文献講読演習		2	
			リサーチ・リテラシー		2	
			心理演習		2	
			心理実習Ⅰ		2	
			心理実習Ⅱ		2	
	研特 究別	特別研究Ⅰ	2		必修4単位	
		特別研究Ⅱ	2			
	卒業論文	卒業論文	4		必修4単位	
	合 計			30	90	

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考		
			必修	選択			
子ども発達教育学科	基本科目	現代社会と子ども	2		必修4単位を含め、 8単位以上		
		教職入門		2			
		保育者論		2			
		教育基礎論	2				
		保育の心理学		2			
		教育心理学		2			
		教育の制度と経営		2			
		保育原理		2			
		社会福祉		2			
		子ども家庭福祉		2			
		基盤演習（教育学A）		2		4単位以上	
		基盤演習（保育学A）		2			
		基盤演習（学校教育学A）		2			
		基盤演習（教育学B）		2			
		基盤演習（保育学B）		2			
		基盤演習（学校教育学B）		2			
		教育学・心理学系科目	教育課程総論			1	
			教育評価論			2	
	道徳教育の理論と方法			2			
	特別活動の指導法			1			
	総合的な学習の時間の指導法			1			
	教育の方法と技術			1			
	特別支援教育論			2			
	生徒・進路指導論			2			
	子どもの発達と教育相談			2			
	子ども理解の理論と方法			2			
	子ども家庭支援の心理学			2			
	現代教育政策概論			2			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			1			
	プログラミング教育の理論と方法			2			
	保育・幼児教育系科目	子ども家庭支援論		2			
		社会的養護Ⅰ		2			
		社会的養護Ⅱ		2			
		子どもの保健		2			
		子どもの食と栄養		2			
		幼児教育課程論		2			
		保育内容総論		2			
		保育指導法（健康）		2			
		保育内容（健康）		2			
		保育指導法（人間関係）		2			
		保育内容（人間関係）		2			
		保育指導法（環境）		2			
保育内容（環境）			2				
保育指導法（言葉）			2				
保育内容（言葉）		2					

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考
			必修	選択	
子ども発達教育学科	保育・幼児教育系科目	保育指導法（表現Ⅰ）		2	
		保育指導法（表現Ⅱ）		2	
		保育内容（表現）		2	
		保育内容の理解と方法Ⅰ		2	
		保育内容の理解と方法Ⅱ		2	
		乳児保育Ⅰ		2	
		乳児保育Ⅱ		2	
		子どもの健康と安全		2	
		障がい児保育		2	
		子育て支援		2	
		保育実践研究		2	
	教科教育系科目	国語Ⅰ		2	
		国語Ⅱ		2	
		社会Ⅰ		2	
		社会Ⅱ		2	
		算数Ⅰ		2	
		算数Ⅱ		2	
		理科Ⅰ		2	
		理科Ⅱ		2	
		生活Ⅰ		2	
		生活Ⅱ		2	
		音楽Ⅰ		1	
		音楽Ⅱ		1	
		図画工作Ⅰ		1	
		図画工作Ⅱ		1	
		家庭		2	
		体育Ⅰ		1	
		体育Ⅱ		1	
		理科実験		1	
		初等英語Ⅰ		2	
		初等英語Ⅱ		2	
		国語科教育法		2	
		社会科教育法		2	
		算数科教育法		2	
		理科教育法		2	
		生活科教育法		2	
		音楽科教育法		2	
		図画工作科教育法		2	
		家庭科教育法		2	
		体育科教育法		2	
		初等英語科教育法		2	
		教科授業研究A		1	
		教科授業研究B		1	
		教科授業研究C		1	
子どもと書		2			

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考	
			必修	選択		
子ども発達教育学科	専門科目	実習系科目	保育実習指導Ⅰ		2	
			保育実習指導Ⅱ		1	
			保育実習指導Ⅲ		1	
			保育実習Ⅰ（保育所・施設）		4	
			保育実習Ⅱ（保育所）		2	
			保育実習Ⅲ（施設）		2	
			教育実習指導		1	
			教育実習Ⅰ（小学校）		2	
			教育実習Ⅱ（小学校）		2	
			教育実習Ⅲ（幼稚園）		2	
			教育実習Ⅳ（幼稚園）		2	
			介護等体験指導		1	
			保育・教職実践演習（幼・小）		2	
			学校支援ボランティア		1	
	特別研究	特別研究Ⅰ	2		必修6単位	
		特別研究Ⅱ	2			
		特別研究Ⅲ	2			
	卒業論文	卒業論文	4		必修4単位	
	合 計			14	186	

(2) 健康栄養学部

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考	
			必修	選択		
共通教育科目	比治山ベーシック科目	スタートアップ	初年次セミナーⅠ	2	必修4単位	
			初年次セミナーⅡ	2		
		キャリア形成	キャリアデザイン入門	2	必修2単位以上	
			インターンシップA	1		
			インターンシップB	2		
			キャリア研究	2		
		コミュニケーションリテラシー	日本語	日本語リテラシー	1	必修2単位
				日本語表現	1	
			外国語	英語リテラシー	2	必修2単位を含め、4単位以上
				英語Ⅰ	2	
	英語Ⅱ			1		
	英語Ⅲ			1		
	英会話Ⅰ			1		
	英会話Ⅱ			1		
	中国語Ⅰ			1		
	中国語Ⅱ			1		
	韓国語Ⅰ			1		
	韓国語Ⅱ			1		
	情報	情報リテラシー	1	必修3単位以上		
		データサイエンス入門	2			
		データサイエンス演習	2			
		プログラミング基礎	2			
	教養教育科目	学際目総合	人間と生命（比治山学）	2	必修2単位を含め、6単位以上	
			ひろしま学	2		
			複合領域研究	4		
		教養科目	言語学	2		
			文学	2		
			歴史学	2		
			哲学	2		
			芸術学	2		
			教育学	2		
			経営学	2		
社会学			2			
観光学			2			
心理学			2			
保健学			2			
生理学			2			
栄養学			2			

	科目区分		授 業 科 目	単位数		備 考
				必修	選択	
共通 科目 教育	教 養 目 的	資 格 目 的 関 係	日本国憲法		2	
			ウエルネス論		2	
			スポーツ		1	
			合 計	15	56	

	科目区分	授 業 科 目	単位数		備 考	
			必修	選択		
管理栄養学科	導入分野	管理栄養論		2	4単位以上 選択必修	
		基礎化学		2		
		基礎生物学		2		
	専門基礎分野	社会・健康 と健康環境	健康科学論	2		必修4単位
			健康心理学		2	
			公衆衛生学	2		
			栄養情報実習		1	
		人体の構造と機能及び疾病 の成り立ち	解剖生理学Ⅰ	2		必修8単位
			解剖生理学Ⅱ		2	
			疾病論Ⅰ	2		
			疾病論Ⅱ		2	
			運動生理学	2		
			運動生理学実験実習		1	
			生化学	2		
			栄養生化学		2	
			生化学実験		1	
		食べ物と健康	食品学	2		必修15単位
			基礎分析実験	1		
	食品学実験		1			
	食品加工学		2			
	食品加工学実習		1			
	食品衛生学		2			
	食品衛生学実習		1			
	調理学		2			
	調理学実習Ⅰ		1			
	調理学実習Ⅱ		1			
	調理学実習Ⅲ		1			
	学基礎	栄養学	2		必修3単位	
		栄養学実験	1			
	応用栄養学	応用栄養学		2	必修5単位	
		ライフステージ栄養学	2			
		ライフステージ栄養学実習	1			
		スポーツ栄養学	2			
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2		必修5単位	
		栄養教育論Ⅱ	2			
		カウンセリング論		2		
		栄養教育論実習	1			
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2		必修3単位	
		臨床栄養学Ⅱ		2		
		臨床栄養学Ⅲ		2		
		薬理学		2		
		臨床栄養学実習Ⅰ	1			
臨床栄養学実習Ⅱ			1			
学公衆	公衆栄養学Ⅰ	2		必修2単位		
	公衆栄養学Ⅱ		2			
	公衆栄養学実習		1			
給食経営管 理論	給食経営管理論Ⅰ	2		必修4単位		
	給食経営管理論Ⅱ		2			
	給食経営管理実習Ⅰ	1				
	給食経営管理実習Ⅱ	1				

	科目区分		授 業 科 目	単位数		備 考		
				必修	選択			
管理栄養学科	専門分野	演習合	総合演習Ⅰ	1		必修1単位		
			総合演習Ⅱ		1			
		臨地実習	給食経営管理臨地実習Ⅰ（給食の運営）		1		必修1単位	
			給食経営管理臨地実習Ⅱ			1		
			公衆栄養学臨地実習			1		
			臨床栄養学臨地実習Ⅰ			1		
			臨床栄養学臨地実習Ⅱ			1		
		専門教育科目	食生活と食文化領域	暮らしの中の食品学			2	
				Global Training（健康栄養研修）			2	
			子ども関連領域	子どもの食			2	
	子ども発達心理学				2			
	子どもの保健				2			
	福祉・臨床・地域連携領域		カウンセリング演習			2		
			トレーニング科学演習			2		
			栄養ケア・マネジメント演習			2		
	地域貢献・連携領域		ひろしまの食と健康・栄養活動A			2	必修8単位	
			ひろしまの食と健康・栄養活動B			2		
		地域課題研究Ⅰ		2				
		地域課題研究Ⅱ		2				
		地域課題研究Ⅲ		2				
	健康栄養総合演習領域	健康栄養総合演習Ⅰ			2			
		健康栄養総合演習Ⅱ			2			
		健康栄養総合演習Ⅲ			2			
		健康栄養総合演習Ⅳ			2			
	合 計				59	66		

卒業に必要な単位数

(1) 現代文化学部

学科コース 授業 科目区分	言語文化学科					
	日本語文化コース			国際コミュニケーションコース		
共通教育科目	24単位			24単位		
専門教育科目	基礎	8単位	70単位	基礎	8単位	70単位
	発展	24単位		発展	16単位	
	言語文化共通	8単位		言語文化共通	8単位	
	特別研究	6単位		特別研究	6単位	
卒業論文	4単位			4単位		
計	124単位			124単位		

学科 授業 科目区分	マスコミュニケーション学科			
	24単位			
共通教育科目	24単位			
専門教育科目	基礎	20単位	70単位	
	専門	14単位		
	発展応用	10単位		
	研究	14単位		
卒業論文	4単位			
計	124単位			

学科 授業 科目区分	社会臨床心理学科		
共通教育科目	24単位		
専門教育科目	基礎科目	14単位	70単位
	専門領域科目	22単位	
	発展科目	4単位	
	実践科目	26単位	
	特別研究	4単位	
卒業論文	4単位		
計	124単位		

学科 授業 科目区分	子ども発達教育学科		
共通教育科目	24単位		
専門教育科目	基本科目	12単位	60単位
	教育学・心理学系科目		
	保育・幼児教育系科目		
	教科教育系科目		
	実習系科目		
特別研究	6単位		
卒業論文	4単位		
計	124単位		

(2)健康栄養学部

学科 授業 科目区分	管理栄養学科		
共通教育科目	24単位		
専門教育科目	導入分野	63単位	
	専門基礎分野		
	専門分野		
	専門発展分野		
計	124単位		

学則の変更事項を記載した書類

1 変更の事由

・18歳人口の動向,広島県内進学状況,各学部・学科の定員確保状況等を踏まえ,編入学定員数及び収容定員数を削減し規模を適正化する。

2 変更点について

・現代文化学部 言語文化学科の編入学定員について,現在5名のところを3名に変更する。これに伴い,同学科の収容定員は現在490名のところを486名に変更する。

・現代文化学部 マスコミュニケーション学科の編入学定員について,現在3名のところを1名に変更する。これに伴い,同学科の収容定員は現在246名のところを242名に変更する。

・現代文化学部 社会臨床心理学科の編入学定員について,現在5名のところを2名に変更する。これに伴い,同学科の収容定員は現在250名のところを244名に変更する。

・現代文化学部 子ども発達教育学科の編入学定員について,現在10名のところを2名に変更する。これに伴い,同学科の収容定員は現在300名のところを284名に変更する。

・健康栄養学部 管理栄養学科の編入学定員について,現在5名のところを2名に変更する。これに伴い,同学科の収容定員は現在290名のところを284名に変更する。

3 変更の時期について

令和7年4月1日施行とする。

比治山大学学則の一部改正について

比治山大学学則の一部を次のとおり改正する。

(下線は改正部分)

改 正 案	現 行																																																																
<p>(收容定員)</p> <p>第6条 本学の收容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(学 部)</th> <th>(学 科)</th> <th>(入学定員)</th> <th>(編入学定員)</th> <th>(收容定員)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">現代文化学部</td> <td>言語文化学科</td> <td>120人</td> <td><u>3</u>人</td> <td><u>486</u>人</td> </tr> <tr> <td>マスコミュニケーション学科</td> <td>60人</td> <td><u>1</u>人</td> <td><u>242</u>人</td> </tr> <tr> <td>社会臨床心理学科</td> <td>60人</td> <td><u>2</u>人</td> <td><u>244</u>人</td> </tr> <tr> <td>子ども発達教育学科</td> <td>70人</td> <td><u>2</u>人</td> <td><u>284</u>人</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>70人</td> <td><u>2</u>人</td> <td><u>284</u>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>380人</td> <td><u>10</u>人</td> <td><u>1,540</u>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(保育士の資格)</p> <p>第45条の6 保育士資格を取得しようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に規定する科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。ただし、指定保育士養成施設卒業証明書を受けることができる者は、指定保育士養成施設の指定を受けた入学定員70人(收容定員<u>284</u>人)とする。</p> <p style="text-align: center;"><u>附 則 (令和5年12月15日改正)</u></p> <p><u>1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。</u></p> <p><u>2 令和7年度前の編入学定員及び收容定員については、改正後の第6条、第45条の6の規定にかかわらず、なお従前の例による。</u></p>	(学 部)	(学 科)	(入学定員)	(編入学定員)	(收容定員)	現代文化学部	言語文化学科	120人	<u>3</u> 人	<u>486</u> 人	マスコミュニケーション学科	60人	<u>1</u> 人	<u>242</u> 人	社会臨床心理学科	60人	<u>2</u> 人	<u>244</u> 人	子ども発達教育学科	70人	<u>2</u> 人	<u>284</u> 人	健康栄養学部	管理栄養学科	70人	<u>2</u> 人	<u>284</u> 人	計		380人	<u>10</u> 人	<u>1,540</u> 人	<p>(收容定員)</p> <p>第6条 本学の收容定員は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(学 部)</th> <th>(学 科)</th> <th>(入学定員)</th> <th>(編入学定員)</th> <th>(收容定員)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">現代文化学部</td> <td>言語文化学科</td> <td>120人</td> <td><u>5</u>人</td> <td><u>490</u>人</td> </tr> <tr> <td>マスコミュニケーション学科</td> <td>60人</td> <td><u>3</u>人</td> <td><u>246</u>人</td> </tr> <tr> <td>社会臨床心理学科</td> <td>60人</td> <td><u>5</u>人</td> <td><u>250</u>人</td> </tr> <tr> <td>子ども発達教育学科</td> <td>70人</td> <td><u>10</u>人</td> <td><u>300</u>人</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td>管理栄養学科</td> <td>70人</td> <td><u>5</u>人</td> <td><u>290</u>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>380人</td> <td><u>28</u>人</td> <td><u>1,576</u>人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(保育士の資格)</p> <p>第45条の6 保育士資格を取得しようとする者は、第42条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に規定する科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。ただし、指定保育士養成施設卒業証明書を受けることができる者は、指定保育士養成施設の指定を受けた入学定員70人(收容定員<u>300</u>人)とする。</p>	(学 部)	(学 科)	(入学定員)	(編入学定員)	(收容定員)	現代文化学部	言語文化学科	120人	<u>5</u> 人	<u>490</u> 人	マスコミュニケーション学科	60人	<u>3</u> 人	<u>246</u> 人	社会臨床心理学科	60人	<u>5</u> 人	<u>250</u> 人	子ども発達教育学科	70人	<u>10</u> 人	<u>300</u> 人	健康栄養学部	管理栄養学科	70人	<u>5</u> 人	<u>290</u> 人	計		380人	<u>28</u> 人	<u>1,576</u> 人
(学 部)	(学 科)	(入学定員)	(編入学定員)	(收容定員)																																																													
現代文化学部	言語文化学科	120人	<u>3</u> 人	<u>486</u> 人																																																													
	マスコミュニケーション学科	60人	<u>1</u> 人	<u>242</u> 人																																																													
	社会臨床心理学科	60人	<u>2</u> 人	<u>244</u> 人																																																													
	子ども発達教育学科	70人	<u>2</u> 人	<u>284</u> 人																																																													
健康栄養学部	管理栄養学科	70人	<u>2</u> 人	<u>284</u> 人																																																													
計		380人	<u>10</u> 人	<u>1,540</u> 人																																																													
(学 部)	(学 科)	(入学定員)	(編入学定員)	(收容定員)																																																													
現代文化学部	言語文化学科	120人	<u>5</u> 人	<u>490</u> 人																																																													
	マスコミュニケーション学科	60人	<u>3</u> 人	<u>246</u> 人																																																													
	社会臨床心理学科	60人	<u>5</u> 人	<u>250</u> 人																																																													
	子ども発達教育学科	70人	<u>10</u> 人	<u>300</u> 人																																																													
健康栄養学部	管理栄養学科	70人	<u>5</u> 人	<u>290</u> 人																																																													
計		380人	<u>28</u> 人	<u>1,576</u> 人																																																													

(改正理由)

18歳人口の動向、広島県内進学状況、各学部・学科の定員確保状況等を踏まえ、編入学定員数及び收容定員数を削減し規模を適正化する。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

(1) 学則変更（収容定員変更）の内容

本学の現代文化学部及び健康栄養学部について、令和7年度に下記のとおり編入学定員及び収容定員の変更を行う。この変更により、大学全体の編入学定員は、28人から10人に、収容定員は、1576人から1540人に減少する。なお、入学定員は変更しない。

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
現代文化 学部	言語文化学科	120	5 → 3 (△2)	490 → 486 (△4)
	マスコミュニケーション学科	60	3 → 1 (△2)	246 → 242 (△4)
	社会臨床心理学科	60	5 → 2 (△3)	250 → 244 (△6)
	子ども発達教育学科	70	10 → 2 (△8)	300 → 284 (△16)
健康栄養 学部	管理栄養学科	70	5 → 2 (△3)	290 → 284 (△6)
合計		380	28 → 10 (△18)	1,576 → 1,540 (△36)

※編入学は3年次

(2) 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学は、建学の精神のもと、学生の教育に重点を置く大学として、地域社会の発展に貢献できる人材を育成しており、平成6年に大学を開設して以来30年の長きにわたり社会に貢献し活躍できる人材を輩出している。

大学（現代文化学部及び健康栄養学部）の編入学について、これまで本学短期大学部や近隣短期大学に在籍する学生にとって、大きな学習意欲の向上等を想定し、28名の編入学定員を設定していたが、18歳人口の動向、広島県内進学状況、本学の入学定員状況等、並びに各学部・学科の定員確保状況等を踏まえ、適切な財務運営を確立することから、現行の編入学定員28名を減じて10名とし、それに応じて収容定員を減じて変更することとしたい。

(3) 学則変更(収容定員変更)に伴う教育課程等の変更内容

この度の学則変更(収容定員変更)に伴う直接的な教育課程, 教育方法及び履修指導方法, 教員組織の変更はない。

(4) 大学全体の施設・設備の変更内容について

施設・設備の内容については, 併設短期大学との共用も含めて変更はなく, 教育研究を行うのに十分な施設・設備, 図書等を備えている。今後もさらに充実した修学環境の整備に努める。

学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）

【目次】

(1) 収容定員を変更する組織の概要	
① 収容定員を変更する組織の概要	2
② 収容定員を変更する組織の特色	2
(2) 人材需要の社会的な動向等	
① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	2
② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	3
③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	4
④ 既設組織の定員充足の状況	4
(3) 学生確保の見通し	
① 学生確保に向けた取組と見込まれる効果	
ア 既設組織における取組とその目標	7
イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標	7
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数	8
② 競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）	
ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性	9
イ 競合校の入学志願動向等	10
ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等	10
エ 学生納付金等の金額設定の理由	11
③ 先行事例分析	12
④ 学生確保に関するアンケート調査	12
⑤ 人材需要に関するアンケート調査等	12
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	13

(1) 収容定員を変更する組織の概要

① 収容定員を変更する組織の概要

編入学定員及び収容定員を変更する大学組織は次のとおり。

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	所在地
現代文化学部	言語文化学科	120	3	486	広島県広島市東区牛田新町四丁目1番1号
	マスコミュニケーション学科	60	1	242	
	社会臨床心理学科	60	2	244	
	子ども発達教育学科	70	2	284	
健康栄養学部	管理栄養学科	70	2	284	
合計		380	10	1540	

② 収容定員を変更する組織の特色

<現代文化学部>

現代文化学部は、国際化、情報化の進む現代社会における文化の特質や諸相を的確にとらえ、文化の継承・創造・発展に寄与し、もって地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目的とする。

<健康栄養学部>

健康栄養学部は、管理栄養士の養成を中核として、医療、保健、教育、保育、福祉などの現場において、幅広い視野と豊かな人間性を持って、健康の維持・増進を目指す栄養マネジメントを遂行できる高度な専門的資質能力を育成するとともに、地域社会の食生活の改善や健康増進に貢献できる人材を育成する。

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

比治山大学は、建学の精神のもと、学生の教育に重点を置く大学として、地域社会の発展に貢献できる人材を育成しており、平成6年に大学を開設して以来30年の長きにわたり社会に貢献し活躍できる人材を輩出している。

地域的観点では、【資料1】の本学の広島県出身の入学者数に示すとおり、本学は、県内の高校からの入学者が多く、入学者のうち、広島県の高校出身者が占める割合は、例年80%前後を維持している。また、【資料2】の本学の広島県就職者数に示すとおり、広島県を所在地とする就職先への卒業生の就職内定率は、毎年70%を超えており、本学は県内出身者が県内の企業に就職する、地域と密着した大学であるといえる。

教育的観点では、【資料3】の本学の3つのポリシーにも示しているとおおり、現代文化学部においては、学生の状況及び社会や時代の要請に応えうる組織的・体系的かつ効果的なカリキュラムを編成しており、多面的な視点からの見方・考え方を育成するために、「比治山ベーシック科目」と「教養教育科目」で構成する学部共通教育科目及び各専門教育科

目によるカリキュラムや社会における課題の本質を見抜く洞察力・判断力を育成する専門教育カリキュラム，学生個々人の特長と専門的知識・技能を活かし，地域及び国際社会の諸課題を解決しようとする態度と実践力を培うカリキュラムを編成し，文化の継承・創造・発展という人間にとって最も普遍的な営みを積極的に担うことができるための思考力・判断力，知識・技能，態度を身に付けた学生を養成している。

健康栄養学部においては，管理栄養士として求められる基本的なマインド・能力やコミュニケーション力をはじめとする資質・能力を高めつつ，健康・栄養問題を解決する上で求められる幅広い視野と豊かな人間性を涵養するための共通教育科目・専門教育科目を設定しており，これらの科目群では，多様なアクティブ・ラーニングの手法を採り入れた指導を行っている。そして，豊かな人間力と健康の維持・増進のための栄養マネジメントの知識・技能を身に付け，地域社会の発展に貢献できる能力を身に付けた学生を養成している。

【資料4】の2023(令和5)年度就職先企業アンケート調査結果「企業が新入社員に求めるスキル」に示すとおり，令和5年度に本学の大学及び短期大学部の卒業生が就職した企業からの回答があった新入社員に求めるスキルの上位3つは「課題解決に向けて，まわりの人と意見をやりとりすることができる」，「チームに貢献できるような行動をとることができる」，「自分とは異なる意見にも，耳を傾けることができる」スキルであり，本学の現代文化学部及び健康栄養学部は，上述したとおり，コミュニケーション力の養成をはじめ，地域の企業が求めるスキルを育成する教育を実施していることから，社会において需要がある大学と考える。

② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析

【資料5】の18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移に示すとおり，令和元年度の18歳人口の117万人のうち，大学入学者は63万人で全体的にみるとわずかではあるが増加している。短期大学の入学者数は5万人で年々減少している。大学・短期大学への進学率は全体で58.1%，うち大学は53.7%で短期大学は4.4%となっている。

広島県における18歳人口予測については，【資料6】に示すとおり，リクルート進学総研マーケットレポートによると，2035年度18歳人口は22,409人で2023年度と比較して2,863人の減少，11.3%の減少率となっており，全国の減少率11.6%とほぼ同等の数値である。今後の人口数は，前年に比べ微増する年（2025年，2026年，2029年）もあるが減少傾向であり，大学にとって好ましくない状況であるといえる。

【資料7】の中国地区の高卒者の進学者数・進学率（現役）の推移に示すとおり，広島県内の高校卒業生数は減少傾向であり，広島県の大学進学者数は2014年は12,766名，2023年は13,401名で635人増加しているが，短期大学進学者数は2014年は1,209名，2023年は610名となっており，わずか10年余りで半数近く減少している。さらに，2023年の広島県

の短期大学進学率は2.8%で同年の大学進学率の61.6%と比べると大きな差が確認でき、同じ中国地区の他県と比較しても広島県の短期大学進学率は最も低い。

以上のことから、広島県は短期大学への進学ニーズが低い地域であるといえる。これらの全国的、地域的動向の分析を踏まえ、編入学生の母数である短期大学への進学状況が芳しくないことから、短期大学の定員充足は今後も厳しい状況が続いていくと認識しているため、大学（現代文化学部及び健康栄養学部）の編入学定員を適正化する必要がある。

③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

本学は【資料8】の出身高校の所在地県別の入学者数の構成比に示しているとおり、本学は広島県内の高校からの入学者が最も多く、構成比が80%を超えている。広島県以外では、山口県、島根県の近隣地域からの入学者も多いことから、本学の入試広報課や参事（高校訪問やガイダンス等における広報活動に携わる専任スタッフ）を中心に担当エリア（広島地区、呉・東広島・東部地区、山口地区、島根地区、四国地区等）を設けて高校訪問等の広報活動を行っている。

既設組織が置かれる都道府県の大学の定員充足状況について、【資料9】の過去5か年における広島県の大学の学部数、志願倍率、入学定員充足率によると、広島県の定員充足状況は未充足ではあるが、令和元年度から令和5年度までの入学定員充足率は90%台を維持している。

既設組織が置かれる学問分野（系統区分）の定員充足状況について、【資料10】の過去5か年における全国の学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率によると、本学現代文化学部の系統区分である「人文科学系」の学部の定員充足状況は、令和3年度以降は未充足となったが、充足率95%以上を維持している。本学健康栄養学部の系統区分である「家政学」の学部の定員は未充足となっているが、充足率は約90%台を維持している。

以上のことから、本学は広島県内からの高校の入学者が多く、同県の大学の定員充足率は直近3年で90%以上を維持しており、本学が関係する学問分野（系統区分）の定員充足においても大きな落ち込みがないことから、広島県内の高校生をターゲットとした学生募集は十分な効果が得られると考える。

④ 既設組織の定員充足の状況

本学の現代文化学部及び健康栄養学部の入学定員充足の状況について、各学科ごとで見ると、現代文化学部の言語文化学科では、【資料11】に示すとおり、平成31年度から令和3年度までの入学定員充足率は100%台を維持していたが、令和4年度以降の同充足率は80%台に減少している。今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員120人を確保するために必要な合格者数を想定すると、236

人（5年間の平均歩留率51%）の合格者が必要になるが、5年間の平均志願者数が360人であることから、236人の合格者の確保は可能であり、入学定員の充足は見込める。

マスコミュニケーション学科では、【資料12】に示すとおり、直近5年の入学定員充足率は、令和3年度を除いて100%台を維持している。今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数を基に入学定員60人を確保するために必要な合格者数を想定すると、108人（5年間の平均歩留率56%）の合格者が必要になるが、5年間の平均志願者数が137人であることから、108人の合格者の確保は可能であり、入学定員の充足は見込める。

社会臨床心理学科では、【資料13】に示すとおり、直近5年間の入学定員は全年度充足している。今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員60人を確保するために必要な合格者数を想定すると、114人（5年間の平均歩留率53%）の合格者が必要になるが、5年間の平均志願者数が202人であることから、114人の合格者の確保は可能であり、入学定員の充足は見込める。

子ども発達教育学科では、【資料14】に示すとおり、直近5年間の入学定員充足状況は他学科と比較して年度によって、入学定員充足率の変動が大きいことがわかる。今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員70人を確保するために必要な合格者数を想定すると、156人（5年間の平均歩留率45%）の合格者が必要になるが、5年間の平均志願者数が209人であることから、156人の合格者の確保は可能であり、入学定員の充足は見込める。

健康栄養学部の管理栄養学科では、【資料15】に示すとおり、直近5年間の入学定員充足状況は、全年度未充足となっている。さらに、令和2年度及び令和4年度においては入学定員充足率が7割を切っており、今後の定員充足の見通しについては、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数を基に、入学定員70人を確保するために必要な合格者数を想定すると、133人（5年間の平均歩留率53%）の合格者が必要で、5年間の平均志願者数が109人であることから、133人の合格者の確保は厳しく、今後も同学科の未充足は続くことが予測されるため、早急な入学者数の改善が求められる。

また、大学の収容定員充足状況については【資料16】に示すとおり、令和2年度まで100%以上で推移していたが、令和3年度以降は99.8%、92.4%、88.3%に年々減少している。特に健康栄養学部管理栄養学科においては、収容定員充足率が令和3年度以降、70%を下回っている。

広島県内の家政学系の学科を設置している大学の直近3年の入学状況を調査したところ、【資料17】に示すとおり、管理栄養士を養成している私立大学は県内に7大学あり、全体の入学定員は520人となっているが未充足である。未充足の大学は本学も含めて4大学あるが、その全ての大学において令和5年度の入学定員充足率が7割以下であることから入学定員を確保できる大学とできない大学が二極化していることがいえる。

本学の管理栄養学科では【資料15】に示すとおり、入学定員を超える志願者・合格者はいるが、合格者に対する入学者の割合が低く、これが起因し入学定員未充足の状態が続いている。この状況を改善するため、より多くの高校生から本学を選んでもらうことが一層重要であると考え、同学科の1年次生から4年次生の174名の学生に対して【資料18】の現行カリキュラムに関するアンケート調査を実施した（回答者127名、回答率73%）。このアンケート調査によると、授業で困っていることとして、「課題が多い・忙しい」と回答した学生が73人（57.5%）、「履修する授業が多い」と回答した学生が58人（45.7%）、「授業の難易度が高い」と回答した学生が56人（44.1%）おり、学修時間の状況等が重荷になっている学生が多いことが分かった。もっと勉強したい分野については、「調理」と回答した学生が56人（44.1%）、「食品」と回答した学生が44人（34.6%）、「栄養学の基本」と回答した学生が32人（25.2%）であった。

このアンケート調査結果を踏まえて、管理栄養士養成を中核として、管理栄養士国家試験受験資格と栄養教諭一種免許状の取得を目指すことに加えて、「多様な学びを学生一人一人が主体的に選択し、自ら未来のキャリアを構築することができる環境を整え、社会に活躍できる管理栄養士・栄養士を育成する」ことを目的とした教育を行うため、厚生労働省が指定する科目、主に健康・栄養を中心とした学びだけでなく、競合校と差別化する学び、魅力あるカリキュラムを構築する学生のニーズに合ったカリキュラム改正を令和6年度から実施することとした。カリキュラム変更の趣旨として、①新たな資格取得のため、学生のキャリアの選択肢を広げ、食品関連である「フードサイエンティスト」（食品科学技術認定）を新規に設定する、②学生のニーズを考慮した調理・食に関する科目（講義・研修）の増設、③地域に貢献するための研究活動をより充実させることを掲げ、学生獲得に繋げていく。

また、第3年次編入学生の獲得については、令和7年度からの編入学定員を適正化するとともに、中国・四国地区の短期大学からの編入学生を増加させるために、現行の指定推薦校4校をさらに増やす。編入学試験についても出願者の対象範囲を拡大し、栄養士養成施設課程以外からの編入学も受け入れ、さらなる編入学生の獲得を目指す。

以上のことから、本学の今後の定員充足の見通しについて、現代文化学部では前述したとおり、直近5年間の実人数の志願者数、合格者数、入学歩留率を基に入学定員を満たすために必要な合格者数をシミュレーションした結果、全学科において、入学定員を満たすために必要な合格者の確保は可能であることから、入学定員の充足は見込める。

健康栄養学部では、入学定員を満たすために必要な合格者の確保は厳しいが、健康・栄養を中心とした学びだけではなく、競合校と差別化する学び・魅力あるカリキュラムを構築する学生のニーズに合ったカリキュラム改正や編入学生の獲得に向けた取組み等を総合的に判断して、同学部の入学定員の充足は見込めると考えている。

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

学生募集のためのPR活動として、オープンキャンパスと高校訪問の2点について説明する。1点目の本学の現代文化学部及び健康栄養学部が実施しているオープンキャンパスでは、本学受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学科説明、模擬授業、在学生との懇談、入試相談、キャンパスツアー等を実施している。令和4年度から生徒が授業風景や学生生活を見ることが出来るオープンキャンパスの開催（本学授業日の11月祝日等に実施）を実施し、高校生からも好評だったため、継続して実施している。令和5年度においては、新たな取組みとして、県内の高校生だけではなく、遠方で本学を訪れる機会が少ない高校生にも本学を知ってもらえるようメタバースを活用したオープンキャンパスを実施した。

オープンキャンパスの実績は【資料19】に示すとおり、現代文化学部の令和5年度入試に繋ぐオープンキャンパスの参加者等総数は1144人（前年度比175.2%）、うち受験対象者数は553人でうち受験者数215人、入学者数187人であった。健康栄養学部の令和5年度入試に繋ぐオープンキャンパスの参加者等総数は243人（前年度比166.4%）、うち受験対象者数は96人でうち受験者数23人、入学者数23人であった。メタバースによるオープンキャンパスの実績では、66名の高校生が参加した。オープンキャンパスの参加者等総数は両学部とも前年度の参加者数を大きく上回っているが、オープンキャンパス参加の受験対象者からの受験率及び入学率が共に50%を割っているため、受験率及び入学率の改善が課題であると考えられる。

2点目の高校訪問については、入試広報課職員及び参事を中心に担当エリアを5つに分けて、担当する高等学校の校長・進路指導部へ本学の教育内容や入試情報等の説明や、担当する高等学校の進路状況及び要望事項等の情報収集・整理等を行っている。なお、担当エリアについては、【資料8】にある出身高校の所在地県別の入学者数の構成比上位3位の県や過去の実績等を基に選定し、①広島市・県西部・芸北・三次市（44校）、②呉市・東広島市・県南部・尾山・福山（55校）、③山口県全域（68校）、④島根県全域（46校）、⑤広島市近郊私立高校・愛媛県・香川県・高知県（40校程度）を訪問している。

また、上記の活動に加えて入試に関わるテーマについて、理事研修会やFD等の学内研修会の開催や、学科と参事の個別交流の機会を設けて高校訪問時の情報提供を行い、全学的な連携を図っている。

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

令和7年度からの大学の入学生確保に向けて、オープンキャンパスの内容を見直し、学生主体の企画やプログラムなどを導入する。そして、現在実施中のオープンキャンパス

参加，資料請求など本学接触者のうち非出願者及び入学辞退者に対する，なぜ出願・入学しなかったのかの調査の分析結果に基づき，本学のオープンキャンパスの課題である参加者からの受験率及び入学率の底上げを図る。

高校訪問については，高校側からも歓迎されるような訪問形態に引き続き留意しつつ，進路指導担当教員に頼らない本学教員と高校教員との連携を強化するなどにより，学生確保に繋げる。

上記に加えて，本学では令和6年度入試より，経済的な支援を行い学生に高い意欲を持って学修に臨んでもらうため，入学料優遇制度である「リーダー優遇制度」及び「離島振興対策実施地域応援優遇制度」を実施する。前者は，高校生活の課外活動で得たリーダーとしての能力を持つ生徒が修学意欲を高く持ち，大学生活でもその能力を発揮することを目的とし，対象となる選抜区分で合格し，次のいずれかの条件（①高等学校在学中に，生徒会3役（会長・副会長・会計または財務委員長）を半年以上経験した者。②高等学校在学中に，部員が3名以上のクラブ部長を半年以上経験した者。）を満たす者に対して入学料23万円を全額免除する制度である。後者は，離島振興法の理念に基づき当該地域出身者の教育の振興に貢献することを目的とし，対象となる選抜区分で合格し，次のいずれかの条件（①国の定める「離島振興対策実施地域」の出身者もしくは居住する者。②国の定める「離島振興対策実施地域」にある高等学校・高等専門学校出身者。）を満たす者に対して入学料23万円全額免除する制度であり，この2つの入学料優遇制度を実施し，学生の修学支援を行う。

オープンキャンパスの内容を充実させていくこと，高校との関係を強化していくこと，生徒・保護者への経済的支援を行うこと等の取組みと入学広報活動を積極的に展開することで，収容定員変更後も入学者の確保を図る。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく，収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

本学では，上述したオープンキャンパス，高校訪問，入学料の優遇制度に加え，広島県，山口県，山陰地区，愛媛県へのテレビCM放映，広島地区等へのラジオCM放送，県内外への電照広告，SNS広報（主にInstagramによる学内イベント，学生活動，教員の研究活動等の情報発信），比治山女子高校オープンスクールへのブース参加等の学生募集活動を行っていることから，令和7年度入試に繋ぐオープンキャンパスの参加者等総数は，令和5年入試に繋ぐオープンキャンパスを大きく超える人数を見込める。

【資料11】～【資料15】の直近5年間の志願者数，合格者数，入学者数，歩留率の平均値を参考にした上で，「（2）人材需要の社会的な動向等学生確保に向けた取組み ④ 既設組織の定員充足の状況」で説明した見込み，上述した学生確保に向けた取組と見込まれる効果等を総合的に判断し，令和7年度の入学者の見込み数は現代文化学部310名（言語文化学科120名，マスコミュニケーション学科60名，社会臨床心理学科60名，子ど

も発達教育学科70名)、健康栄養学部管理栄養学科70名の計380名の入学者を見込めると考えている。

② 競合校の状況分析(立地条件, 養成人材, 教育内容と方法の類似性と定員充足状況)

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析, 優位性

県内の大学で立地が同じ広島市であること, 入学定員及び収容定員規模が同等程度であること, 同系列の学問分野があり教育内容が類似していることを踏まえ競合校を抽出した。

競合校について, 編入学における一定数の学生ニーズや学びの多様性の確保の観点, 学生納付金などの経済的観点, 立地条件の観点から比較分析を行った。編入学における一定数の学生ニーズや学びの多様性の確保の観点においては, 本学を置く比治山学園は短期大学部を併設していることにより, 編入学希望者の供給源となっているため, 【資料20】に示すとおり, 競合校と比べ編入学定員充足率が相対的に高く, 全学部・学科に編入学定員を設けているため, 学びの多様性を確保している。また, 本学の共通教育は大学(4年制学部)と短期大学部で共有していることにより, 教育内容の連続性が担保されるとともに, 大学教員の顔が短期大学部学生に見えることで, 編入学への志望が湧きやすい環境であるといえる。

学生納付金などの経済的観点においては, 【資料21】の2024年度入学者の競合校との学納金を比較すると, 本学の入学金は23万円で競合校は27万円であるため, 4万円安いことがわかる。授業料では, 競合校が全学科半期38万円で統一されているのに対して, 本学は学科によって授業料の金額差があり, 相対的に金額が高い。特に管理栄養学科では半期45万円となっており, 競合校の同系統学科と比較して7万円高い設定となっている。その他の費用においては, 本学は全学科共通で26万9660円(前期15万9660円, 後期11万円)に対して競合校は30万7700円の学科と35万7700円の学科があるため, 最大8万8040円(前期11万9660円)の金額差が生じており, 本学の価格設定は割安であることがいえる。合計の初年次納付金を学科別でみていくと, 言語文化学科及びマスコミュニケーション学科では, 本学が127万9660円に対して競合校が133万7700円であるため, 本学が5万8040円割安であることがいえる。社会臨床心理学科では, 本学が133万9660円に対して競合校が133万7700円であるため, 競合校が若干割安ではあるが金額は拮抗しているといえる。子ども発達教育学科では, 本学が131万9660円に対して競合校が133万7700円であるため, 本学が1万8040円割安であることがいえる。管理栄養学科においては, 本学が139万9660円に対して競合校が138万7700円であるため, 本学が1万1960円割高ではあるが, 金額差が1万円程度である点や, 【資料22】に示すとおり, 競合校の当該学科の2023年度入試における入学者数が本学管理栄養学科の数より下回っている点を踏まえて, 初年度納付金の割高による影響はなく, 学生募集において問題ないと考ええる。

立地条件の観点においては, 競合校は広島市内中心地から電車で約40分, バスで50分

でアクセスできる場所に位置しており、最寄りの駅から大学まではスクールバスが運行している。一方で本学は、市内中心部からアストラムライン（広島高速交通）を利用して約15分の広島市東区の牛田に位置しており、JRや路線バスも利用でき、公共交通機関が充実していることや広島市内からの距離が近いこと、競合校と比較して通学に便利である。

以上の編入学における一定数の学生ニーズや学びの多様性の確保の観点、学生納付金などの経済的観点、立地条件の観点からの分析において、本学は競合校と比較して、全学部・学科に編入学定員を設けており、授業の一部を大学（4年制学部）と短期大学部で共有することで教育内容の連続性が担保される点、学生の経済的負担が少ない点や通学に便利な場所に位置している点等を踏まえて、本学は競合校より優位であるといえる。

イ 競合校の入学志願動向等

競合校の過去3年間の入学志願状況（志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率）は【資料22】に示すとおり、大学全体の入学定員充足率は、令和4年度まで100%を超えて充足していたが、令和5年度では93.6%に減少した。令和5年度の入学者数は前年度から46人減少した365人となった。入学者志願動向を学科別で見ると、本学の言語文化学科の同系統学科は、直近3年全ての入学定員充足率が7割を下回っている。また、志願者数についても本学と同様に2年連続で減少している。N学科では、令和4年度以降、入学定員の未充足が続いており、志願者数及び入学者数が2年連続で減少している。本学の社会臨床心理学科の同系統学科では、本学と同様に直近3年全ての入学定員充足率が100%を超えて充足している。本学の子ども発達教育学科の同系統学科は、直近3年全ての入学定員充足率が100%を超えて充足しているが志願者数及び入学者数は減少傾向である。K学科では、令和3年度の入学定員充足率は86.7%で、令和4年度以降の同充足率は100%以上に改善しているが、志願者数は減少傾向にある。本学の管理栄養学科の同系統学科では、本学と同様に3年連続で入学定員が未充足となっており、令和5年度の入学者数においては前年度より20人少ない36人で入学定員充足率が前年度の80%から51.4%まで減少した。

以上のことから、競合校は本学と同様に学科間における充足率の差が大きいことがわかった。本学と競合校の全体の入学定員充足率に大きな差がないことや、両大学の同系統の学科における入学者数の傾向が類似していることに加え、後述する定員を充足できる根拠等を総合的に判断して収容定員変更後においても、学生確保は可能であると考えている。

ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等

前述したとおり、競合校が設置している学部・学科において、本学が設置している各学科との類似性が高く、各学科の入学定員数及び入学定員充足率も本学と同等程度であ

ることが分かった。ここでは、本学の各学科の学問系統に近い広島県内の私立大学の入学定員状況について分析する。

言語文化学科においては、【資料23】に示すとおり、人文科学系（文学）の学科を設置している大学は6大学8学科であり、全学科が未充足であるが、本学の言語文化学科の入学定員充足率は上位4位（83.3%）に位置しており、5位以下の同充足率は29.2%～65.0%であることから、広島県内の人文科学系（文学）の学科を志望する受験生から本学が高い評価を得ていることを裏付ける数値であるといえる。

マスコミュニケーション学科においては、【資料24】に示すとおり、社会科学系の学科を設置している大学は4大学4学科であり、学科の入学定員充足率が100%を超えている大学が多い中で本学のマスコミュニケーション学科の入学定員充足率は上位2位（103.3%）に位置していることから、広島県内で社会科学系の学科を志望する受験生から本学が高い評価を得ていると考えている。

社会臨床心理学科においては、【資料25】に示すとおり、人文科学系（心理）の学科を設置している大学は6大学7学科である。学科の特徴として、入学定員充足率が100%を超えている大学が本学含めて4大学4学科あり、残りの学科については未充足となっていることから、入学定員を確保できる大学とできない大学が二極化しているといえる。大学間の入学定員充足率の差が激しい中で本学の社会臨床心理学科の同充足率は上位3位（133.3%）であることから、広島県内の人文科学系（心理）の学科を志望する受験生から本学が高い評価を得ていると考えている

子ども発達教育学科においては、【資料26】に示すとおり、教育学系の学科を設置している大学は8大学9学科あり、入学定員を満たす大学は本学を含み、半数以下の3大学4学科である。社会臨床心理学科と同様に入学定員を確保できる大学とできない大学が二極化しており、本学は競合校が多い中、入学者を確保していると考えている。

管理栄養学科においては、【資料27】に示すとおり、家政学系の学科を設置している大学は7大学7学科あり、入学定員を満たしていない大学は本学を含み、半数以上の4大学4学科である。本学の管理栄養学科の入学定員充足率は70%であるが、未充足の大学の中では最も入学者数が多く、同充足率が高いことや、【資料17】に示したとおり、志願倍率が1.1倍を超えていること、「（2）人材需要の社会的な動向等 ④既設組織の定員充足の状況」で説明した同学科のカリキュラム改正や編入学生の獲得に向けた戦略等を踏まえ、入学定員の充足は可能であると考えている。

以上のとおり、他大学と比較分析した各学科の入学定員充足状況や、上述した学生納付金などの経済的観点及び立地条件の観点等を総合的に判断した結果、本学の現代文化学部及び健康栄養学部は定員を充足することができると考えている。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

本学の初年次納付金は、【資料21】に示すとおり、言語文化学科及びマスコミュニケ

ーション学科1,279,660円，社会臨床心理学科1,339,660円，子ども発達教育学科1,319,660円，管理栄養学科1,399,660円となっており，収容定員変更に際して変更することなく，現行と同額とする。

本学は，教育目的である「『悠久不滅の生命の理想に向かって精進する』人間を育成する」ための教育体制の維持・発展を図るため，学生の過大な負担とならないこと，他大学との競争力を維持できる妥当な金額であること等，総合的に配慮し，広島県内私立大学の学生納付金等も参考にしながら学生納付金を設定している。

広島県における私立大学の2024年度入学生の初年度納付金をみると【資料28】に示すとおり，本学の初年度納付金は社会臨床心理学科を除き，他大学の平均額を大幅に上回っておらず，相対的に平均的な金額であるため適正な価格設定であると考えている。なお，社会臨床心理学科の初年度納付金については，他大学の同系学科のなかで最も金額が高い1,339,660円となっているが，【資料13】に示すとおり，本学の社会臨床心理学科の入学定員が充足している点や，人文科学系（心理）の平均額より低い安田女子大学の2学科の入学定員が未充足である点（【資料25】参照）を踏まえると，学生納付金の設定上，十分に競争力を確保でき，学生募集においても問題ないと考えている。

また，入学金についても【資料28】に示すとおり，他大学の平均額を大幅に上回っておらず，相対的に平均的な金額であり，適正な価格設定であると考えている。

以上のことから，本学の学生納付金等は，他大学と比較した場合，高額とはなっていない点や，「ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等」で述べたとおり，一定数の学生を確保している点等を総合的に判断して，現在の学生納付金の設定は適切なものであると判断している。

③ 先行事例分析

先行事例がないため，省略。

④ 学生確保に関するアンケート調査

収容定員変更に係る学則変更の届出のため省略。

⑤ 人材需要に関するアンケート調査等

収容定員を変更する組織で養成する人材の需要について，「（2）人材需要の社会的な動向等 ①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析」で説明したとおり，本学の現代文化学部及び健康栄養学部はコミュニケーション力の養成をはじめ，地域の企業が求めるスキルを育成する教育を実施しており，その結果として，【資料29】の比治山大学の卒業者就職状況に示すとおり，直近3年の就職希望者に対する就職率（希望者就職率）は，全年度，現代文化学部及び健康栄養学部の両学部とも100%に近い数値となっている。さらに，比治山大学への求人は，両学部とも3年

連続で定員を超える求人社数となっていることから、現代文化学部及び健康栄養学部の養成する人材は、社会において需要があると考えている。

（４）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

大学（現代文化学部及び健康栄養学部）の編入学について、これまで本学短期大学部や近隣短期大学に在籍する学生にとって、大きな学習意欲の向上等を想定し、28名の編入学定員を設定していたが、現行の編入学定員28名を減じて10名とし、それに応じて収容定員を減じて変更することとしたい。

【資料7】に示すとおり、広島県においては、編入学生の母数である短期大学への広島県内高卒者の進学状況は、2014年から2023年までに、高卒者そのものが7.1%減少しており、短期大学への進学者は2014年は1209人いたが、2023年では610人まで落ち込み、わずか10年近くで49.5%も減少した。

過去5年間ににおける広島県の短期大学学科数、志願倍率、入学定員充足率をみると、【資料30】に示すとおり、令和5年度の広島県の短期大学は、10学科設置しており、志願倍率0.88倍、充足率73.80%となっている。令和元年度から令和3年度までの志願倍率は1.00倍超えであったが、令和4年度は0.97倍、令和5年度は0.88倍と下回り、充足率は5年連続で100%を切っており、減少傾向であることに加え、令和5年度の充足率は8割を下回り、慢性的な未充足が続いている。さらに、広島県内の短期大学への入学者は【資料7】の示すとおり、大幅に減少している。リクルート進学総研マーケットリポートによると、【資料31】の大学・短期大学・専門学校進学率に示すとおり、2023年の広島県の短期大学進学率は全国で6番目に低い2.8%である。

編入学生の母数である短期大学への広島県内高卒者の進学状況に加えて、【資料32】の本学における直近5年の3年次編入学者数の推移をみると、平均的に、言語文化学科を除き、全学科の編入学定員充足率が50%を大幅に下回っており、特に子ども発達教育学科においては、学科の中で最も編入学定員数は多いが、同充足率の平均が14.0%で最も低く、編入学者が0人の年度もあった。

また、本学の収容定員充足率についても【資料16】に示すとおり、減少傾向にあり、編入学定員を充足できなければ、収容定員充足率がさらに低下する恐れがあるため、早急な対応が必要であることから【資料33】のとおり、編入学定員及び収容定員を変更する。

なお、編入学定員及び収容定員変更後の入学者の見込みについては、「（２）人材需要の社会的な動向等④既設組織の定員充足の状況」や「（３）学生確保の見通し」で説明したとおり、十分に学生確保が可能であると考えている。

以上のことから、広島県は全国的にみて、短期大学への進学ニーズが低い地域であるため、編入学定員を充足することが難しい状況にある。

しかしながら、編入学定員は、一定数の学生ニーズや学びの多様性の確保のために定員数を減じてでも残す必要があることから、18歳人口の動向、広島県内の進学状況、本学の

編入学者数の実績，並びに各学部・学科の定員確保状況等を踏まえ，【資料33】のとおり，編入学者定員数及び収容定員数を削減し規模を適正化する。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

【目次】

【資料1】	本学（現代文化学部及び健康栄養学部）の広島県出身の入学者数	3
【資料2】	本学の広島県就職者数（広島県を所在地とする就職先への卒業生の就職内定者）	3
【資料3】	本学の3つのポリシー	4
【資料4】	2023(令和5)年度就職先企業アンケート調査結果「企業が新入社員に求めるスキル」	6
【資料5】	18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移	7
【資料6】	中国地区の18歳人口予測（2023年～2035年）	8
【資料7】	中国地区の高卒者の進学者数・進学率（現役）の推移	9
【資料8】	既設組織の都道府県の大学への入学状況	10
【資料9】	過去5か年における広島県の大学の学部数、志願倍率、入学定員充足率	11
【資料10】	過去5か年における全国の学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率	11
【資料11】	既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 言語文化学科	12
【資料12】	既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 マスコミュニケーション学科	13
【資料13】	既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 社会臨床心理学科	14
【資料14】	既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 子ども発達教育学科	15
【資料15】	既設学科等の入学定員の充足状況 健康栄養学部 管理栄養学科	16
【資料16】	本学における直近5年の収容定員の充足状況	17
【資料17】	広島県内私立大学の管理栄養士養成施設校の志願者・入学者の推移	18
【資料18】	カリキュラムについての学生アンケート（管理栄養学科）	19
【資料19】	既設学部等の学生募集のためのPR活動の実績	23
【資料20】	競合校との編入学状況比較	24
【資料21】	競合校との学納金比較（2024年度入学者）	25
【資料22】	本学及び競合校との入学志願動向比較	26
【資料23】	2023年度入試における広島県内の人文科学系（文学）学科の入学定員状況	27
【資料24】	2023年度入試における広島県内の社会科学系学科の入学定員状況	27
【資料25】	2023年度入試における広島県内の人文科学系（心理）学科の入学定員状況	27
【資料26】	2023年度入試における広島県内の教育学系学科の入学定員状況	28
【資料27】	2023年度入試における広島県内の家政学系学科の入学定員状況	28

【資料28】 広島県内私立大学の初年次納付金（2024年度入学生分）	29
【資料29】 比治山大学 就職・進学等の状況（過去3年間）	30
【資料30】 過去5か年における広島県の短期大学の学科数、志願倍率、入学定員充足率	31
【資料31】 大学・短期大学・専門学校進学率	32
【資料32】 本学における直近5年の3年次編入学定員充足状況	33
【資料33】 編入学定員及び収容定員の変更	33

【資料1】 本学（現代文化学部及び健康栄養学部）の広島県出身の入学人数

	令和元年度 入学者	令和2年度 入学者	令和3年度 入学者	令和4年度 入学者	令和5年度 入学者
入学者数	409	401	370	336	361
広島県の高校出身者数	340	338	304	261	290
広島県出身率	83.1%	84.2%	82.1%	77.6%	80.3%

(本学調査)

【資料2】 本学の広島県就職者数（広島県を所在地とする就職先への卒業生の就職内定者）

令和6年4月1日現在

	令和元年度 卒業生	令和2年度 卒業生	令和3年度 卒業生	令和4年度 卒業生	令和5年度 卒業生
就職内定者数	320	280	306	305	255
広島県就職者数	259	227	236	226	179
広島県就職率	80.9%	81.1%	77.1%	74.1%	70.2%

(本学調査)

【資料3】 本学の3つのポリシー

3つのポリシー (ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー)

比治山大学

ディプロマ・ポリシー (卒業の認定に関する方針)

比治山大学では、「悠久不滅の生命の理想に向かって精進する」人間の育成という建学の精神を礎に、日々個性を磨き、広くて深い教養と高い専門性に裏打ちされた、しなやかで豊かな人間性を高められるよう精進できる力を身に付けた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 「4×3の比治山力 (汎用的能力)」を身に付け、自己実現を目指して生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生をデザインする力を身に付けている。
2. 専門分野における確かな知識・技能及び知識活用力を身に付けている。
3. 「解が一つとは限らない課題や問題」を発見し、その解を求めようと挑戦し、問題解決や新たな価値の発見に向けて努力する態度を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

【編成方針】

比治山大学では、本学のディプロマ・ポリシーに基づき学生の状況及び社会や時代の要請に応える組織的・体系的かつ効果的なカリキュラムを編成し、必要とする授業科目を開設しています。

1. 「4×3の比治山力 (汎用的能力)」に示される汎用的能力を育成するため共通教育と専門教育のバランスを考慮したカリキュラムを編成しています。
2. 専門的人材に必要な知識・技能の習得のため先端的な学問の

成果をもとに社会や時代の進歩に適応したカリキュラムを編成しています。

3. 個々の特長を伸ばすとともに社会の課題解決と発展に寄与しようとする意欲と態度を培うカリキュラムを編成しています。

【実施方針】

各学部・学科及び共通教育に対応した講義・演習・実験・実習・実技において、遠隔授業等を含む様々な形態で授業を行うことにより、ディプロマ・ポリシーの達成をめざすとともに、学生の主体的・能動的な学びを促進します。また、各授業科目の成績の評価については、到達目標に対する達成状況を、あらかじめ明示された公正な成績評価基準に照らして実施します。

アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

比治山大学では、本学のカリキュラム・ポリシーに沿ってディプロマ・ポリシーに定めた人材の育成を行う上で、次のような人を求めます。

1. 「汎用的な能力 (4×3の比治山力)」を身に付け、伸ばそうとする人
2. 大学における専門的な知識・技能を修得するための基礎的学力を有している人
3. 社会における課題や問題を見発見しようとする意欲を有している人

現代文化学部

ディプロマ・ポリシー (卒業の認定に関する方針)

現代文化学部では、所定の単位を修め、文化の継承・創造・発展という人間にとって最も普遍的な営みを積極的に担うことができるための次の思考力・判断力、知識・技能、態度を身に付けた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 人間文化の本質や現代社会における諸課題を解決しようする思考力・判断力を身に付けている。
2. 文化の流れを把握し、未来への見通しを的確に立てられる確かな専門的知識・技能を身に付けている。
3. 問題解決や新たな価値の発見に向けて努力する強い意志と、地域社会の発展に貢献しようとする態度を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

【編成方針】

現代文化学部のディプロマ・ポリシーに基づき、学生の状況及び社会や時代の要請に応える組織的・体系的かつ効果的なカリキュラムを編成しています。

1. 多面的な視点からの見方・考え方を育成するために、「比治山ベースック科目」と「教養教育科目」で構成する学部共通教育科目及び各専門教育科目によるカリキュラムを編成しています。
2. 言語、心理、コミュニケーション、教育に関する専門的知識と技能を習得し、社会における課題の本質を見抜く洞察力・判断力を育成する専門教育カリキュラムを編成しています。
3. 学生個々人の特長と専門的知識・技能を活かし、地域及び国際社会の諸課題を解決しようとする態度と実践力を培うカリキュラムを編成しています。

【実施方針】

<教育方法>

1. 汎用的能力 (4×3の比治山力) の育成
建学の精神を象徴する4つのキーコンピテンシー (自立・想像・共生・創造) と12の学修スキルを統合した汎用的能力 (4×3の比治山力) を各授業でのアクティブ・ラーニングの実践によって育成します。
2. 学修成果の可視化
学生が各自の学びの状況を把握するなかで、「自ら学ぶ」スタイルを身に付けることを目的として、本学の学生情報システム「HitWay」により学修活動のPDCAサイクルを確立

し、学修成果の可視化を進めます。

3. シラバスの明示
授業は、授業概要、関連するディプロマ・ポリシー、到達目標、授業計画、準備学習 (予習・復習)、評価の方法等について具体的に記載したシラバスに沿って実施します。また、各科目のシラバスは、学生情報システム「HitWay」で確認することができます。
4. CAP制度
学生が各年次にわたって適切で無理のない計画的な履修を行うことができるように、履修登録できる単位数を制限するキャップ (CAP) 制度を設けています。
5. チューター制度
学生一人ひとりにチューター (指導教員) を割り当てています。チューターは学生の学修を含めた学生生活全般について適切な助言を行います。
6. 授業改善
「学生による授業に関するアンケート調査」や学生モニターからの意見聴取等によって、常に授業改善に努めます。

<学修成果の評価>

1. 成績評価
授業科目の担当教員が、あらかじめシラバスに定めた評価の方法によって、成績評価 (五段階評価) を公正に行います。
2. 成績評価の数値化
GPA (Grade Point Average) 制度により成績評価を数値化することで、学修成果の可視化や授業料減免対象者の選考等に活用します。

アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

現代文化学部では、本学部のカリキュラム・ポリシーに沿ってディプロマ・ポリシーに定めた人材の育成を行う上で、次のような人を求めます。

1. 学部共通教育及び専門教育に興味・関心を持ち、そのことについて自らの言葉で表現できる人
2. 言語・心理・コミュニケーション・教育に関する専門的知識と技能を修得するための基礎的学力を有している人
3. 地域及び国際社会における課題や問題を見発見しようとする意欲を有している人

健康栄養学部

管理栄養学科

※健康栄養学部は1学科のため、学科の3つのポリシーを学部の3つのポリシーとみなしています。

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

健康栄養学部管理栄養学科では、豊かな人間力と健康の維持・増進のための栄養マネジメントの知識・技能を身に付け、地域社会の発展に貢献できる能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学士（栄養学）の学位を授与します。

1. 健康・栄養問題を解決する上で求められるコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有し、栄養マネジメントに沿って栄養の指導を実践するために必要な能力を身に付けている。
2. 栄養学の専門的な知識・技能を修得し、ライフステージすべてにわたる健康・栄養問題の解決に広く活用できる知識・技能を身に付けている。
3. 食と健康分野で社会の福祉及び教育の発展などに貢献しようとする意欲を持ち、生涯にわたって学びを継続する意欲と態度を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

【編成方針】

健康栄養学部管理栄養学科のディプロマ・ポリシーに基づき、学生の状況及び社会や時代の要請に応える組織的・体系的かつ効果的なカリキュラムを編成しています。

1. 豊かなコミュニケーション力と多面的なものの見方、幅広い識見を培うための全学共通科目と学科基礎科目を構成しています。
2. 専門の基盤となる知識・技能を習得する導入分野及び栄養に関する専門基礎分野科目、さらに高いレベルの知識・技能の習得と高度な栄養マネジメント能力を高める科目を構成しています。
3. 専門発展分野では栄養学に関する専門的な知識・技能をもとに、栄養と食を中心とした社会の課題やニーズに対応できる能力と態度を養うための科目を構成しています。

【実施方針】

<教育方法>

1. 汎用的能力（4×3の比治山力）の育成
建学の精神を象徴する4つのキーコンピテンシー（自立・想像・共生・創造）と12の学修スキルを統合した汎用的能力（4×3の比治山力）を各授業でのアクティブ・ラーニングの実践によって育成します。
2. 学修成果の可視化
学生が各自の学びの状況を把握するなかで、「自ら学ぶ」スタイルを身に付けることを目的として、本学の学生情報システム「Hilway」により学修活動のPDCAサイクルを確立し、学修成果の可視化を進めます。
3. シラバスの明示
授業は、授業概要、関連するディプロマ・ポリシー、到達目標、授業計画、準備学習（予習・復習）、評価の方法等について具体的に記載したシラバスに沿って実施します。また、各科目のシラバスは、学生情報システム「Hilway」で確認することができます。
4. CAP制度
学生が各年次にわたって適切で無理のない計画的な履修を行うことができるように、履修登録できる単位数を制限するキャップ（CAP）制度を設けています。

5. チューター制度

学生一人ひとりにチューター（指導教員）を割り当てています。チューターは学生の学修を含めた学生生活全般について適切な助言を行います。

6. 授業改善

「学生による授業に関するアンケート調査」や学生モニターからの意見聴取等によって、常に授業改善に努めます。

<学修成果の評価>

1. 成績評価

授業科目の担当教員が、あらかじめシラバスに定めた評価の方法によって、成績評価（五段階評価）を公正に行います。

2. 成績評価の数値化

GPA（Grade Point Average）制度により成績評価を数値化することで、学修成果の可視化や授業料減免対象者の選考等に活用します。

管理栄養学科

1. 管理栄養士として求められる基本的なマインド・能力やコミュニケーション力をはじめとする資質・能力を高めつつ、健康・栄養問題を解決する上で求められる幅広い視野と豊かな人間性を涵養するための共通教育科目・専門教育科目を設定します。これらの科目群では、多様なアクティブ・ラーニングの手法を採り入れた指導を行います。
2. 栄養管理の実践に必須である基礎科学に関わる専門基礎力形成のための科目群とより高度な専門的知識と技能の修得をめざす専門分野の科目群を設定します。これらの科目群では、栄養に関する諸課題に対応できるよう、実習や実験を取り入れた効果的な指導を行います。
3. 本学科での学びを活かし、一般社会での食と健康分野において活躍するための管理栄養士としての総合力と意欲・態度を身に付けるために、臨床・福祉関連、子ども関連、地域貢献・連携の各領域において、学外でのフィールドワークや各種の演習、グループ討論などの実践的活動を積極的に採り入れます。また、管理栄養士・栄養士資格取得のためには健康栄養学部管理栄養士指導センター、さらに、栄養教諭一種免許状取得希望者のために、本学教職指導センターとの緊密な連携によって指導を行います。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

健康栄養学部管理栄養学科では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに沿って、食に関わる専門家として人々の幸せに貢献できる人材の育成を行う上で、次のような人を求めています。

1. 科学的視点を持ち、食・栄養と健康について興味と関心を持ち、知識を得ようと学び続ける意欲のある人
2. 本学科における専門教育科目を学修する上で必要な高等学校卒業相当の基礎的学力および一般的な計算能力などを有している人
3. 管理栄養士の仕事に強い関心を持ち、社会でその役割を実現しようとする行動力を有する人

【資料4】 2023(令和5)年度就職先企業アンケート調査結果「企業が新入社員に求めるスキル」

問9. 貴社が新入社員に求めるスキルを、それぞれの項目について、1～6のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	非常にあてはまる (%)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	全くあてはまらない (%)
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	15.9	57.9	23.0	2.4	0.8	0.0
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	16.7	45.2	32.5	5.6	0.0	0.0
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	11.1	45.2	34.9	8.7	0.0	0.0
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	26.0	51.2	18.1	4.7	0.0	0.0
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	20.0	48.8	26.4	4.8	0.0	0.0
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	44.9	40.9	14.2	0.0	0.0	0.0
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	50.4	40.2	8.7	0.8	0.0	0.0
チームに貢献できるような行動をとることができる	49.2	39.7	10.3	0.8	0.0	0.0
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	36.2	46.5	16.5	0.8	0.0	0.0
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	11.1	46.8	31.7	8.7	0.8	0.8
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	7.9	40.9	40.2	11.0	0.0	0.0
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	14.3	50.0	25.4	9.5	0.8	0.0

(本学調査)

調査の概要

対 象:比治山大学 令和4(2022)年度卒業生(2019年度生)就職先企業 169社

比治山大学短期大学部 令和4(2022)年度卒業生(2021年度生)就職先企業 100社

調査方法:インターネット調査

調査期間:2023(令和5)年12月27日～2024(令和6)年2月5日

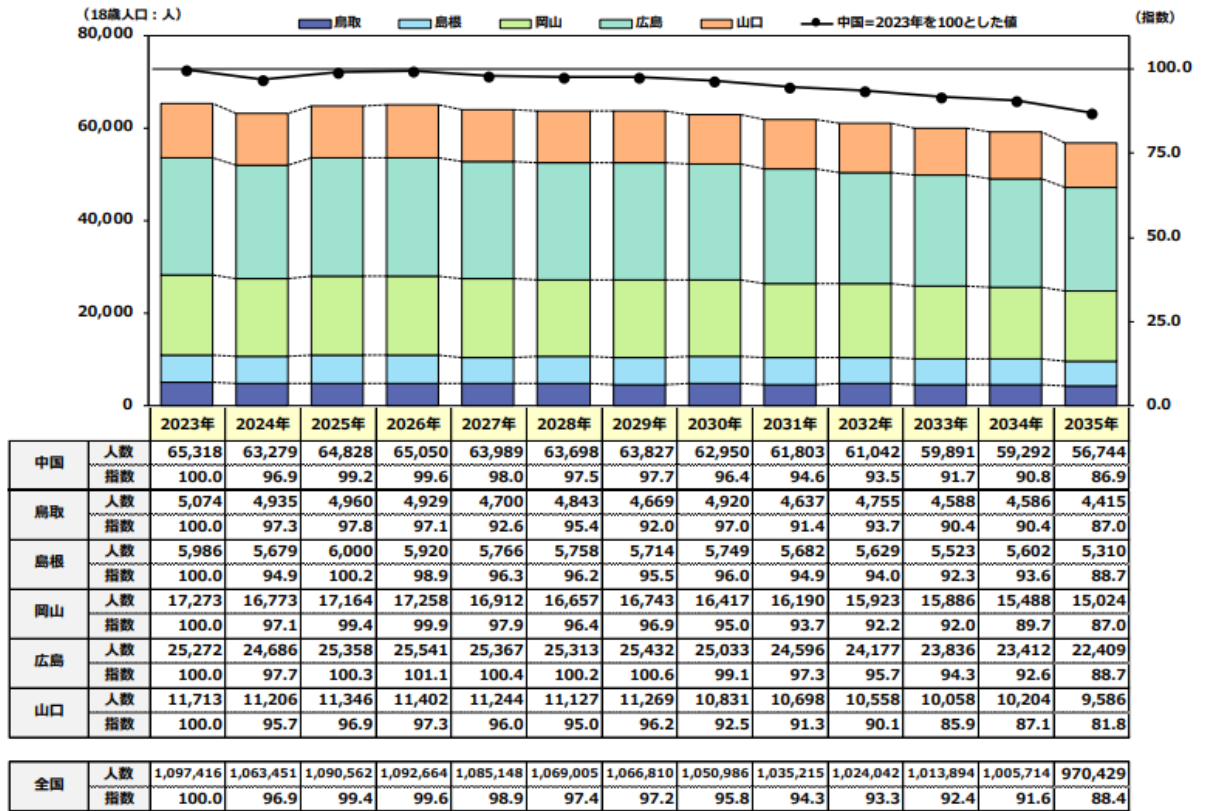
回収状況:発送269件、回収132件(49.1%)

【資料6】 中国地区の18歳人口予測（2023年～2035年）

18歳人口予測（全体：中国：2023～2035年）

■ 2023年65,318人→2035年56,744人（8,574人減少）

- ・ 中国エリアは8,574人・13.1%減少し、全国の減少率11.6%を1.5ポイント上回る。
- ・ 2024年に63,279人まで減少し、そこから2026年にかけて1,771人増加した後再び減少し、2029年に微増するが、2030年以降は減少傾向。
- ・ 減少率が高いのは、山口県（2023年比較18.2%減少）。
- ・ 減少数が多いのは、広島県（2023年25,272人→2035年22,409人、2,863人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

(出典：リクルート進学総研マーケットレポート2023 Vol.115 2024年2月号)

【資料7】中国地区の高卒者の進学者数・進学率（現役）の推移

		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
鳥取	卒業生数（人）	4,922	5,055	4,900	4,881	4,945	4,900	4,805	4,718	4,679	4,590	
	進学者数 （人）	大学	1,592	1,673	1,692	1,658	1,758	1,767	1,794	1,825	1,910	2,036
		短期大学	427	410	387	363	389	330	360	343	310	327
		専門学校	942	1,005	924	940	861	918	904	935	892	900
	進学率 （%）	大学	32.3	33.1	34.5	34.0	35.6	36.1	37.3	38.7	40.8	44.4
		短期大学	8.7	8.1	7.9	7.4	7.9	6.7	7.5	7.3	6.6	7.1
専門学校		19.1	19.9	18.9	19.3	17.4	18.7	18.8	19.8	19.1	19.6	
島根	卒業生数（人）	6,183	6,183	5,905	6,045	6,051	6,044	5,949	5,837	5,554	5,512	
	進学者数 （人）	大学	2,408	2,377	2,315	2,318	2,491	2,426	2,369	2,451	2,485	2,481
		短期大学	478	462	457	432	314	331	287	289	214	255
		専門学校	1,451	1,299	1,247	1,332	1,208	1,286	1,287	1,255	1,279	1,248
	進学率 （%）	大学	38.9	38.4	39.2	38.3	41.2	40.1	39.8	42.0	44.7	45.0
		短期大学	7.7	7.5	7.7	7.1	5.2	5.5	4.8	5.0	3.9	4.6
専門学校		23.5	21.0	21.1	22.0	20.0	21.3	21.6	21.5	23.0	22.6	
岡山	卒業生数（人）	17,094	17,666	17,723	17,936	17,356	17,695	17,451	16,969	16,453	16,004	
	進学者数 （人）	大学	7,633	7,868	7,972	8,285	8,018	8,435	8,270	8,392	8,242	8,465
		短期大学	926	891	845	739	752	699	648	659	676	550
		専門学校	2,935	3,010	2,961	3,060	2,796	2,825	3,149	3,141	3,128	2,611
	進学率 （%）	大学	44.7	44.5	45.0	46.2	46.2	47.7	47.4	49.5	50.1	52.9
		短期大学	5.4	5.0	4.8	4.1	4.3	4.0	3.7	3.9	4.1	3.4
専門学校		17.2	17.0	16.7	17.1	16.1	16.0	18.0	18.5	19.0	16.3	
広島	卒業生数（人）	23,401	23,758	23,468	23,780	23,225	23,237	23,356	22,575	22,309	21,748	
	進学者数 （人）	大学	12,766	13,076	13,031	13,413	13,195	13,285	13,443	13,189	13,529	13,401
		短期大学	1,209	1,145	985	984	840	761	818	723	663	610
		専門学校	3,288	3,329	3,055	2,807	2,576	2,761	2,939	2,783	2,887	2,653
	進学率 （%）	大学	54.6	55.0	55.5	56.4	56.8	57.2	57.6	58.4	60.6	61.6
		短期大学	5.2	4.8	4.2	4.1	3.6	3.3	3.5	3.2	3.0	2.8
専門学校		14.1	14.0	13.0	11.8	11.1	11.9	12.6	12.3	12.9	12.2	
山口	卒業生数（人）	11,366	11,488	11,396	11,431	11,399	11,095	11,172	10,615	10,350	10,066	
	進学者数 （人）	大学	4,046	4,262	4,197	4,260	4,334	4,117	4,343	4,099	4,129	4,213
		短期大学	643	619	582	590	587	560	503	489	492	413
		専門学校	2,102	1,921	1,932	1,887	1,889	1,779	1,871	1,732	1,779	1,584
	進学率 （%）	大学	35.6	37.1	36.8	37.3	38.0	37.1	38.9	38.6	39.9	41.9
		短期大学	5.7	5.4	5.1	5.2	5.1	5.0	4.5	4.6	4.8	4.1
専門学校		18.5	16.7	17.0	16.5	16.6	16.0	16.7	16.3	17.2	15.7	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した人数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した人数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

（出典：リクルート進学総研マーケットレポート2023 Vol.115 2024年2月号）

【資料8】 既設組織の都道府県の大学への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度
（現代文化学部+健康栄養学部）

	都道府県名	人 数	構成比
1	広島県	290人	80.3%
2	山口県	19人	5.3%
3	島根県	12人	3.3%
4	北海道	8人	2.2%
5	奈良県	5人	1.4%
	全 体	361人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○既設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 （都道府県）	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	広島県	97.36%	95.80%	92.79%

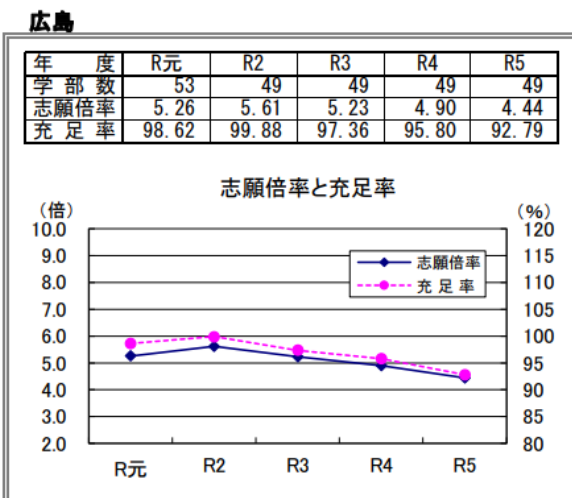
※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○既設組織が置かれる学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	人文科学系学部	99.30%	98.93%	96.28%
2	家政学系学部	94.11%	95.28%	89.01%

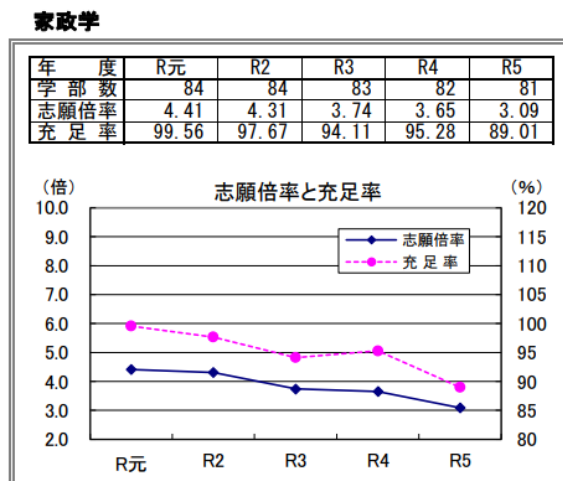
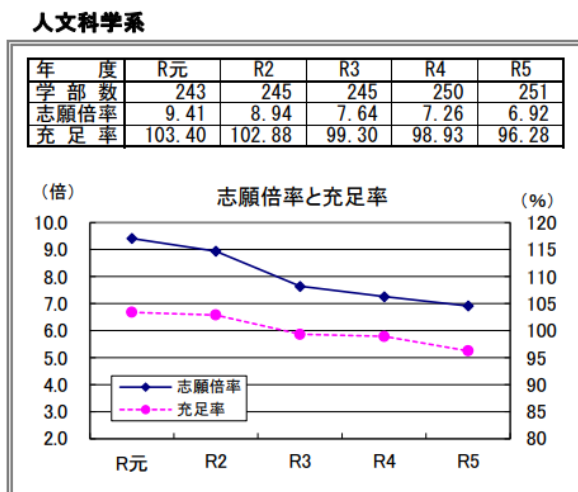
（文部科学省 大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 143 頁に基づき作成）

【資料 9】 過去 5 か年における広島県の大学の学部数、志願倍率、入学定員充足率



(出典：日本私立学校振興・共済事業団「令和 5 (2023) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向」)

【資料 10】 過去 5 か年における全国の学部系統別の学部数、志願倍率、入学定員充足率



(出典：日本私立学校振興・共済事業団「令和 5 (2023) 年度私立大学・短期大学等入学志願動向」)

【資料 11】 既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 言語文化学科

大学学部学科等名：比治山大学現代文化学部言語文化学科

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人	
	延べ人数	志願者数	46人	121人	59人	40人	54人	64人
		受験者数	46人	121人	59人	38人	54人	64人
		合格者数	43人	61人	45人	29人	45人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	46人	121人	59人	40人	54人	64人
		受験者数	46人	121人	59人	38人	54人	64人
		合格者数	43人	61人	45人	29人	45人	45人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人
	入学者数	43人	59人	45人	29人	44人	44人	
	学校推薦型選抜	募集人数	38人	38人	38人	38人	38人	38人
延べ人数		志願者数	68人	90人	77人	48人	58人	68人
		受験者数	67人	86人	77人	48人	58人	67人
		合格者数	46人	47人	66人	47人	50人	51人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	8人	9人	11人	6人
実人数		志願者数	63人	78人	72人	47人	50人	62人
		受験者数	62人	76人	72人	47人	50人	61人
		合格者数	46人	47人	66人	47人	50人	51人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	8人	9人	11人	6人
入学者数		45人	46人	58人	38人	39人	45人	
一般選抜		募集人数	47人	47人	47人	47人	47人	47人
	延べ人数	志願者数	214人	304人	224人	149人	106人	199人
		受験者数	201人	296人	214人	142人	103人	191人
		合格者数	133人	118人	88人	99人	69人	101人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	82人	80人	71人	79人	59人	74人
	実人数	志願者数	178人	260人	170人	115人	80人	161人
		受験者数	166人	256人	161人	108人	77人	154人
		合格者数	133人	118人	88人	99人	69人	101人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	82人	80人	71人	79人	59人	74人
	入学者数	51人	38人	17人	20人	10人	27人	
	共通テスト利用入試	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
延べ人数		志願者数	75人	82人	108人	75人	62人	80人
		受験者数	75人	82人	108人	75人	62人	80人
		合格者数	34人	26人	48人	47人	35人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	32人	25人	47人	42人	32人	36人
実人数		志願者数	66人	64人	82人	57人	48人	63人
		受験者数	66人	64人	82人	57人	48人	63人
		合格者数	34人	26人	48人	47人	35人	38人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	32人	25人	47人	42人	32人	36人
入学者数		2人	1人	1人	5人	3人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	6人	10人	20人	6人	9人	10人
		受験者数	6人	10人	20人	6人	9人	10人
		合格者数	2人	2人	4人	5人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	実人数	志願者数	6人	10人	20人	6人	9人	10人
		受験者数	6人	10人	20人	6人	9人	10人
		合格者数	2人	2人	4人	5人	5人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	1人	0人
	入学者数	2人	2人	4人	4人	4人	3人	
	合計	募集人数	120人	120人	120人	120人	120人	120人
延べ人数		志願者数	409人	607人	488人	318人	289人	422人
		受験者数	395人	595人	478人	309人	286人	413人
		合格者数	258人	254人	251人	227人	204人	239人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	115人	108人	126人	131人	104人	117人
実人数		志願者数	359人	533人	403人	265人	241人	360人
		受験者数	346人	527人	394人	256人	238人	352人
		合格者数	258人	254人	251人	227人	204人	239人
		うち追加合格者数	3人	0人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	115人	108人	126人	131人	104人	117人
入学者数		143人	146人	125人	96人	100人	122人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	120人	120人	120人	120人	120人	120
入学定員充足率	1.19	1.22	1.04	0.80	0.83	1.02
歩留率	0.55	0.57	0.50	0.42	0.49	0.51

(文部科学省 大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 144 頁に基づき作成)

【資料 12】既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 マスコミュニケーション学科

大学学部学科等名：比治山大学現代文化学部マスコミュニケーション学科

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人	
	延べ人数	志願者数	33人	15人	46人	41人	51人	37人
		受験者数	33人	15人	44人	41人	49人	36人
		合格者数	21人	15人	32人	35人	37人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	33人	15人	46人	41人	51人	37人
		受験者数	33人	15人	44人	41人	49人	36人
		合格者数	21人	15人	32人	35人	37人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数	21人	15人	32人	34人	37人	28人	
	学校推薦型選抜	募集人数	18人	18人	18人	18人	18人	18人
延べ人数		志願者数	21人	40人	25人	28人	26人	28人
		受験者数	20人	40人	24人	28人	26人	28人
		合格者数	14人	32人	17人	23人	19人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	3人	5人	3人	3人
実人数		志願者数	14人	22人	24人	25人	20人	21人
		受験者数	14人	22人	23人	25人	20人	21人
		合格者数	14人	32人	17人	23人	19人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	3人	5人	3人	3人
入学者数		13人	31人	14人	18人	16人	18人	
一般選抜		募集人数	21人	21人	21人	21人	21人	21人
	延べ人数	志願者数	114人	133人	102人	94人	70人	103人
		受験者数	109人	125人	97人	90人	68人	98人
		合格者数	52人	56人	46人	42人	33人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	28人	39人	35人	32人	25人	32人
	実人数	志願者数	55人	66人	57人	51人	42人	54人
		受験者数	53人	60人	56人	50人	40人	52人
		合格者数	52人	56人	46人	42人	33人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	28人	39人	35人	32人	25人	32人
	入学者数	24人	17人	11人	10人	8人	14人	
	共通テスト利用入試	募集人数	9人	9人	9人	9人	9人	9人
延べ人数		志願者数	30人	54人	42人	35人	30人	38人
		受験者数	30人	54人	42人	35人	30人	38人
		合格者数	14人	21人	22人	11人	8人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	19人	20人	11人	7人	14人
実人数		志願者数	14人	37人	25人	19人	21人	23人
		受験者数	14人	37人	25人	19人	21人	23人
		合格者数	14人	21人	22人	11人	8人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	12人	19人	20人	11人	7人	14人
入学者数		2人	2人	2人	0人	1人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	1人	0人	2人	4人	2人	2人
		受験者数	1人	0人	2人	4人	2人	2人
		合格者数	1人	0人	1人	3人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	0人	2人	4人	2人	2人
		受験者数	1人	0人	2人	4人	2人	2人
		合格者数	1人	0人	1人	3人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	1人	0人	0人
	入学者数	1人	0人	0人	2人	0人	1人	
	合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
延べ人数		志願者数	199人	242人	217人	202人	179人	208人
		受験者数	193人	234人	209人	198人	175人	202人
		合格者数	102人	124人	118人	114人	97人	111人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	41人	59人	59人	50人	35人	49人
実人数		志願者数	117人	140人	154人	140人	136人	137人
		受験者数	115人	134人	150人	139人	132人	134人
		合格者数	102人	124人	118人	114人	97人	111人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	41人	59人	59人	50人	35人	49人
入学者数		61人	65人	59人	64人	62人	62人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60
入学定員充足率	1.02	1.08	0.98	1.07	1.03	1.04
歩留率	0.60	0.52	0.50	0.56	0.64	0.56

(文部科学省 大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 144 頁に基づき作成)

【資料 13】 既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 社会臨床心理学科

大学学部学科等名：比治山大学現代文化学部社会臨床心理学科

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人	
	延べ人数	志願者数	35人	34人	37人	65人	58人	46人
		受験者数	35人	34人	37人	65人	54人	45人
		合格者数	29人	32人	34人	38人	44人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	35人	34人	37人	65人	58人	46人
		受験者数	35人	34人	37人	65人	54人	45人
		合格者数	29人	32人	34人	38人	44人	35人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	入学者数	29人	32人	33人	38人	44人	35人	
	学校推薦型選抜	募集人数	18人	18人	18人	18人	18人	18人
		延べ人数	志願者数	25人	44人	38人	28人	45人
受験者数			25人	44人	38人	28人	44人	36人
合格者数			21人	29人	29人	21人	33人	27人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			2人	1人	4人	3人	0人	2人
実人数		志願者数	22人	34人	34人	23人	39人	30人
		受験者数	21人	34人	34人	23人	39人	30人
		合格者数	21人	29人	29人	21人	33人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	4人	3人	0人	2人
入学者数		19人	28人	25人	18人	33人	25人	
一般選抜		募集人数	21人	21人	21人	21人	21人	21人
		延べ人数	志願者数	128人	143人	148人	116人	100人
	受験者数		123人	131人	141人	113人	99人	121人
	合格者数		67人	70人	61人	71人	49人	64人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		44人	45人	49人	56人	46人	48人
	実人数	志願者数	99人	99人	110人	82人	78人	94人
		受験者数	97人	93人	104人	81人	77人	90人
		合格者数	67人	70人	61人	71人	49人	64人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	44人	45人	49人	56人	46人	48人
	入学者数	23人	25人	12人	15人	3人	16人	
	共通テスト利用入試	募集人数	9人	9人	9人	9人	9人	9人
		延べ人数	志願者数	29人	41人	52人	46人	43人
受験者数			29人	41人	52人	46人	43人	42人
合格者数			14人	16人	22人	21人	14人	17人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			13人	15人	20人	21人	14人	17人
実人数		志願者数	18人	28人	41人	39人	33人	32人
		受験者数	18人	28人	41人	39人	33人	32人
		合格者数	14人	16人	22人	21人	14人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	13人	15人	20人	21人	14人	17人
入学者数		1人	1人	2人	0人	0人	1人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
		延べ人数	志願者数	218人	262人	275人	255人	246人
受験者数			213人	250人	268人	252人	240人	245人
合格者数			131人	147人	146人	151人	140人	143人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			59人	61人	74人	80人	60人	67人
実人数		志願者数	175人	195人	222人	209人	208人	202人
		受験者数	172人	189人	216人	208人	203人	198人
		合格者数	131人	147人	146人	151人	140人	143人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	59人	61人	74人	80人	60人	67人
入学者数		72人	86人	72人	71人	80人	76人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60
入学定員充足率	1.20	1.43	1.20	1.18	1.33	1.27
歩留率	0.55	0.59	0.49	0.47	0.57	0.53

(文部科学省 大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 144 頁に基づき作成)

【資料 14】 既設学科等の入学定員の充足状況 現代文化学部 子ども発達教育学科

大学学部学科等名：比治山大学現代文化学部子ども発達教育学科

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	35人	39人	44人	28人	48人	39人
		受験者数	35人	39人	44人	27人	48人	39人
		合格者数	10人	11人	13人	19人	34人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	35人	39人	44人	28人	48人	39人
		受験者数	35人	39人	44人	27人	48人	39人
		合格者数	10人	11人	13人	19人	34人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	10人	11人	13人	19人	34人	17人	
	学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
		延べ人数	志願者数	40人	54人	28人	35人	25人
受験者数			39人	50人	28人	34人	25人	35人
合格者数			30人	29人	24人	32人	22人	27人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			1人	1人	4人	7人	0人	3人
実人数		志願者数	36人	51人	28人	35人	25人	35人
		受験者数	35人	47人	28人	34人	25人	34人
		合格者数	30人	29人	24人	32人	22人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	4人	7人	0人	3人
入学者数		29人	28人	20人	25人	22人	25人	
一般選抜		募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		延べ人数	志願者数	134人	145人	123人	94人	76人
	受験者数		132人	137人	122人	90人	73人	111人
	合格者数		96人	87人	87人	74人	53人	79人
	うち追加合格者数		1人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		58人	60人	70人	61人	41人	58人
	実人数	志願者数	124人	123人	102人	80人	64人	99人
		受験者数	123人	115人	101人	78人	62人	96人
		合格者数	96人	87人	87人	74人	53人	79人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	58人	60人	70人	61人	41人	58人
	入学者数	38人	27人	17人	13人	12人	21人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	41人	51人	46人	36人	42人
受験者数			41人	51人	46人	36人	42人	43人
合格者数			15人	14人	26人	22人	27人	21人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			11人	14人	23人	20人	25人	19人
実人数		志願者数	38人	44人	37人	32人	30人	36人
		受験者数	38人	44人	37人	32人	30人	36人
		合格者数	15人	14人	26人	22人	27人	21人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	11人	14人	23人	20人	25人	19人
入学者数		4人	0人	3人	2人	2人	2人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
		延べ人数	志願者数	250人	289人	241人	193人	191人
受験者数			247人	277人	240人	187人	188人	228人
合格者数			151人	141人	150人	147人	136人	145人
うち追加合格者数			1人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			70人	75人	97人	88人	66人	79人
実人数		志願者数	233人	257人	211人	175人	167人	209人
		受験者数	231人	245人	210人	171人	165人	204人
		合格者数	151人	141人	150人	147人	136人	145人
		うち追加合格者数	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	70人	75人	97人	88人	66人	79人
入学者数		81人	66人	53人	59人	70人	66人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70
入学定員充足率	1.16	0.94	0.76	0.84	1.00	0.94
歩留率	0.53	0.47	0.35	0.40	0.51	0.45

(文部科学省 大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 144 頁に基づき作成)

【資料 15】 既設学科等の入学定員の充足状況 健康栄養学部 管理栄養学科

大学学部学科等名：比治山大学健康栄養学部管理栄養学科

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	28人	12人	24人	15人	24人	21人
		受験者数	28人	12人	24人	15人	23人	20人
		合格者数	20人	9人	18人	14人	22人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	28人	12人	24人	15人	24人	21人
		受験者数	28人	12人	24人	15人	23人	20人
		合格者数	20人	9人	18人	14人	22人	17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	20人	9人	18人	14人	22人	17人	
	学校推薦型選抜	募集人数	25人	25人	25人	25人	25人	25人
		延べ人数	志願者数	26人	31人	38人	25人	22人
受験者数			26人	27人	38人	25人	21人	27人
合格者数			26人	27人	38人	25人	21人	27人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			2人	5人	5人	3人	2人	3人
実人数		志願者数	26人	31人	38人	25人	22人	28人
		受験者数	26人	27人	38人	25人	21人	27人
		合格者数	26人	27人	38人	25人	21人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	5人	5人	3人	2人	3人
入学者数		24人	22人	33人	22人	19人	24人	
一般選抜		募集人数	25人	25人	25人	25人	25人	25人
		延べ人数	志願者数	49人	42人	48人	54人	25人
	受験者数		49人	40人	45人	53人	25人	42人
	合格者数		48人	40人	41人	42人	24人	39人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		41人	33人	31人	33人	17人	31人
	実人数	志願者数	49人	42人	48人	54人	25人	44人
		受験者数	49人	40人	45人	53人	25人	42人
		合格者数	48人	40人	41人	42人	24人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	41人	33人	31人	33人	17人	31人
	入学者数	7人	7人	10人	9人	7人	8人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	14人	15人	16人	25人	10人
受験者数			14人	15人	16人	25人	10人	16人
合格者数			10人	12人	9人	13人	9人	11人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			10人	12人	9人	12人	9人	10人
実人数		志願者数	14人	15人	16人	25人	10人	16人
		受験者数	14人	15人	16人	25人	10人	16人
		合格者数	10人	12人	9人	13人	9人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	10人	12人	9人	12人	9人	10人
入学者数		0人	0人	0人	1人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	1人	0人	1人	0人	1人
	受験者数		1人	0人	1人	0人	1人	1人
	合格者数		1人	0人	0人	0人	1人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	1人	0人	1人	0人	1人	1人
		受験者数	1人	0人	1人	0人	1人	1人
		合格者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	1人	0人	0人	0人	1人	0人	
	合計	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
		延べ人数	志願者数	118人	100人	127人	119人	82人
受験者数			118人	94人	124人	118人	80人	107人
合格者数			105人	88人	106人	94人	77人	94人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			53人	50人	45人	48人	28人	45人
実人数		志願者数	118人	100人	127人	119人	82人	109人
		受験者数	118人	94人	124人	118人	80人	107人
		合格者数	105人	88人	106人	94人	77人	94人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	53人	50人	45人	48人	28人	45人
入学者数		52人	38人	61人	46人	49人	49人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入試	R2年度入試	R3年度入試	R4年度入試	R5年度入試	平均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70
入学定員充足率	0.74	0.54	0.87	0.66	0.70	0.70
歩留率	0.50	0.43	0.58	0.49	0.64	0.53

(文部科学省 大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 144 頁に基づき作成)

【資料 16】 本学における直近 5 年の収容定員の充足状況

学科	項目	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
言語文化学科	学生数	529	542	551	491	447
	収容定員数	490	490	490	490	490
	収容定員充足率	108.0%	110.6%	112.4%	100.2%	91.2%
マスコミュニケーション学科	学生数	220	230	234	230	229
	収容定員数	246	246	246	246	246
	収容定員充足率	89.4%	93.5%	95.1%	93.5%	93.1%
社会臨床心理学科	学生数	306	317	317	298	286
	収容定員数	250	250	250	250	250
	収容定員充足率	122.4%	126.8%	126.8%	119.2%	114.4%
子ども発達教育学科	学生数	311	299	272	255	246
	収容定員数	300	300	300	300	300
	収容定員充足率	103.7%	99.7%	90.7%	85.0%	82.0%
管理栄養学科	学生数	257	219	199	182	183
	収容定員数	290	290	290	290	290
	収容定員充足率	88.6%	75.5%	68.6%	62.8%	63.1%
合計	学生数	1,623	1,607	1,573	1,456	1,391
	収容定員数	1,576	1,576	1,576	1,576	1,576
	収容定員充足率	103.0%	102.0%	99.8%	92.4%	88.3%

(本学調査)

【資料 17】 広島県内私立大学の管理栄養士養成施設校の志願者・入学者の推移

大学	学部・学科		令和3年度	令和4年度	令和5年度
広島文教大学	人間科学部 人間栄養学科	志願者数	174	139	110
		志願倍率	248.6%	198.6%	157.1%
		入学者数	45	56	36
		入学定員	70	70	70
		入学定員充足率	64.3%	80.0%	51.4%
広島女学院大学	人間生活学部 管理栄養学科	志願者数	145	159	94
		志願倍率	207.1%	227.1%	134.3%
		入学者数	51	64	46
		入学定員	70	70	70
		入学定員充足率	72.9%	91.4%	65.7%
安田女子大学	家政学部 管理栄養学科	志願者数	393	380	397
		志願倍率	327.5%	316.7%	330.8%
		入学者数	122	121	121
		入学定員	120	120	120
		入学定員充足率	101.7%	100.8%	100.8%
福山大学	生命工学部 生命栄養学科	志願者数	55	46	40
		志願倍率	110.0%	92.0%	80.0%
		入学者数	27	27	26
		入学定員	50	50	50
		入学定員充足率	54.0%	54.0%	52.0%
広島国際大学	健康科学部 医療栄養学科	志願者数	191	247	192
		志願倍率	318.3%	411.7%	320.0%
		入学者数	53	62	60
		入学定員	60	60	60
		入学定員充足率	88.3%	103.3%	100.0%
広島修道大学	健康科学部 健康栄養学科	志願者数	316	366	236
		志願倍率	395.0%	457.5%	295.0%
		入学者数	76	82	82
		入学定員	80	80	80
		入学定員充足率	95.0%	102.5%	102.5%
比治山大学	健康栄養学部・管理栄養学科	志願者数	127	119	82
		志願倍率	181.4%	170.0%	117.1%
		入学者数	61	46	49
		入学定員	70	70	70
		入学定員充足率	87.1%	65.7%	70.0%
全体		志願者数	1401	1456	1151
		志願倍率	269.4%	280.0%	221.3%
		入学者数	435	458	420
		入学定員	520	520	520
		入学定員充足率	83.7%	88.1%	80.8%

(出典：日本私立大学協会中国・四国支部「中国四国地区私立大学実態調査」)

【資料 18】カリキュラムについての学生アンケート（管理栄養学科）

実施日：2023年2月14日～2月16日

対象学生：管理栄養学科の学生1～4年生174名 回答者127名（回答率73.0%）

学年	回答者数 (人)	実施者数 (人)	回答率 (%)
1年生	34	45	75.6
2年生	39	53	73.6
3年生	20	31	64.5
4年生	34	45	75.6
合計	127	174	73.0

◆ あなたが管理栄養学科を志望した理由は何ですか？（複数回答可）

※以下のものの他に理由があれば、自由記述欄に記入してください。

理由	選択者数 (人)	選択率 (%)
管理栄養士の資格を取りたいと思ったから	81	46.6
食べることが好きだから	68	39.1
料理することが好きだから	55	31.6
栄養士の資格を取りたいと思ったから	51	29.3
食事（栄養）と運動・スポーツに興味があったから	40	23.0
食事（栄養）と健康・病気との関係に興味があったから	33	19.0
保護者や先生など周囲の人に勧められたから	30	17.2
なんとなく	9	5.2
栄養教諭の資格を取りたいと思ったから	8	4.6
これまでに会った栄養士・管理栄養士（栄養教諭）にあこがれたから	7	4.0
なんでも良いので資格が取りたかったから	6	3.4
他に希望していた進路が叶わなかったから	2	1.1

その他

病院で働きたいから	1	0.6
-----------	---	-----

◆ 「もっとあるといいな」と思う授業形態を教えてください。(複数回答可)

授業形態	選択者数 (人)	選択率 (%)
体験活動 (例>食文化体験)	67	52.8
実験・実習	48	37.8
グループ活動を含んだ授業	46	36.2
地域との連携	34	26.8
講義(座学)	26	20.5
発表やプレゼンテーションを含んだ授業	8	6.3

その他

今と変わらなくてよい	1	0.8
リモート授業	1	0.8
座学でのアクティブラーニング	1	0.8

◆ 現在、授業に関して困っていることはどんなことですか。(複数回答可)

困っていること	選択者数 (人)	選択率 (%)
課題が多い・忙しい	73	57.5
履修する授業が多い (時間割が詰まっている)	58	45.7
授業の難易度が高い (難しい)	56	44.1
予習・復習に十分な時間が取れない	50	39.4
集中力が保てない	31	24.4
内容に興味を持てない	17	13.4
勉強する意味が分からないことがある	14	11.0
授業が退屈である	12	9.4
特に困っていることはない	11	8.7
授業の難易度が低い	0	0.0

その他

先生と生徒の関係の悪循環	1	0.8
空きコマが、多すぎる	1	0.8

◆ もっと勉強したい分野があれば教えてください。(複数回答可)

※選択肢にあるもの以外に思いつくものがあればその他へ記述して下さい。

もっと勉強したい分野	選択者数 (人)	選択率 (%)
調理	56	44.1
食品	44	34.6
栄養学の基本	32	25.2
臨床栄養	31	24.4
運動・スポーツ	28	22.0
ライフステージ栄養	26	20.5
疾病 (病気や薬)	26	20.5
給食経営管理	21	16.5
栄養教育	17	13.4
分からない	15	11.8
公衆栄養	13	10.2
特に困っている分野はない	13	10.2
その他		
今で十分	1	0.8

- ◆ 次のうち、管理栄養学科であなたが実際に学んでみたい、気になると感じる授業の内容を選択してください。(複数回答可)

学んでみたい授業内容	選択者数 (人)	選択率 (%)
暮らしに活かせる食品学	44	34.6
食事のマナーを学ぶ	42	33.1
健康的なレシピ・食事プランの作成	40	31.5
商品開発・販売実習	39	30.7
食と美容 (ファイトケミカルや微生物学等)	37	29.1
日本や世界の食文化 (講義や調理実習)	33	26.0
日本や世界の食文化体験 (校外での体験学習)	33	26.0
スポーツ栄養学習	33	26.0
食と美術 (商品パッケージ, 器, ポスター等)	27	21.3
魅せるレシピ作成 (料理の撮影技術含む)	23	18.1
食と観光 (食を通じた地域おこし(校外実習含む))	22	17.3
サバイバル栄養演習(野外演習含む)	22	17.3
古代の食, 日本史の中の食	19	15.0
漁業・農業・畜産などの体験学習	19	15.0
人を動かすプレゼンテーション術	18	14.2
健康、スポーツ、栄養に関する最新の 研究の紹介	16	12.6
健康で長く生きるための運動の理論と 実践(トレーニング演習)	13	10.2
いつのまにか健康になれるまち・店舗 づくり	10	7.9
各教員の研究内容の紹介	8	6.3
特に取りたい授業はない	7	5.5

【資料 19】 既設学部等の学生募集のための PR 活動の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：比治山大学現代文化学部オープンキャンパス他

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	653人	1144人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学科説明、模擬授業、在学生との懇談、入試相談、キャンパスツアーなどを実施。また、メタバースでのオープンキャンパスも実施。 R4年度入試対象 (R3開催)：計9回開催 (6/12, 7/10, 8/7, 8/28, 9/25, 11/3, 11/23, 3/24, 3/31) R5年度入試対象 (R4開催)：計7回開催 (6/4, 8/5, 9/3, 11/3, 11/23, 11/23~30, 3/23)
うち受験対象者数 (b)	525人	553人	
うち受験者数 (c)	237人	215人	
うち入学者数 (d)	187人	187人	
(受験率 c/b)	45.1%	38.9%	
(入学率 d/b)	35.6%	33.8%	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 コロナ禍の影響が少なくなったことで、今後のオープンキャンパス参加者数は増加すると考えており、令和6年3月に実施した春のオープンキャンパスにおいて、前年比189.6%増の237人の参加実績があったことや、高校訪問、ガイダンス等の積極的な広報活動を行っていくこと等を踏まえて、令和5年度入試に繋ぐオープンキャンパスの水準を大きく超える人数を見込んでいる。 上述した取組実績や広島県における大学への進学状況等を総合的に判断して、今後のオープンキャンパス参加者からの現代文化学部の入学者数は令和5年度入試と同様に190人前後になると分析している。

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：比治山大学健康栄養学部オープンキャンパス他

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	146人	243人	①取組概要 受験希望者を対象としてキャンパスを開放し、学科説明、模擬授業、在学生との懇談、入試相談、キャンパスツアーなどを実施。また、メタバースでのオープンキャンパスも実施。 R4年度入試対象 (R3開催)：計9回開催 (6/12, 7/10, 8/7, 8/28, 9/25, 11/3, 11/23, 3/24, 3/31) R5年度入試対象 (R4開催)：計7回開催 (6/4, 8/5, 9/3, 11/3, 11/23, 11/23~30, 3/23)
うち受験対象者数 (b)	94人	96人	
うち受験者数 (c)	19人	23人	
うち入学者数 (d)	19人	23人	
(受験率 c/b)	20.2%	24.0%	
(入学率 d/b)	20.2%	24.0%	②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 コロナ禍の影響が少なくなったことで、今後のオープンキャンパス参加者数は増加すると考えており、令和6年3月に実施した春のオープンキャンパスにおいて、前年比189.6%増の237人の参加実績があったことや、高校訪問、ガイダンス等の積極的な広報活動を行っていくこと等を踏まえて、令和5年度入試に繋ぐオープンキャンパスの水準を大きく超える人数を見込んでいる。 上述した取組実績や広島県における大学への進学状況等を総合的に判断して、今後のオープンキャンパス参加者からの健康栄養学部の入学者数は令和5年度入試と同様に25人前後になると分析している。

(文部科学省 大学の設置等に係る提出書類の作成の手引 145 頁に基づき作成)

【資料 20】 競合校との編入学状況比較

比治山大学						
	編入学定員	編 入 学 者 数				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
現代文化学部	23	6	11	8	3	6
健康栄養学部	5	1	1	1	1	2
計	28	7	12	9	4	8
編入学定員充足率（大学全体）		25.0%	42.9%	32.1%	14.3%	28.6%

競合校						
	編入学定員	編 入 学 者 数				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
K学部	0	0	0	0	0	0
N学部	35	3	2	2	5	5
計	35	3	2	2	5	5
編入学定員充足率（大学全体）		8.6%	5.7%	5.7%	14.3%	14.3%

（出典：競合校ホームページ）

【資料 21】 競合校との学納金比較（2024 年度入学者）

	比治山大学		競合校	
	言語文化学科, マスコミュニケーション学科		左記の同系統学科	
	前期（入学時）	後期（10月）	前期（入学時）	後期（10月）
入学金	¥230,000	—	¥270,000	—
授業料	¥390,000	¥390,000	¥380,000	¥380,000
その他	【施設設備費】 ¥110,000 【委託徴収金】 ¥49,660	【施設設備費】 ¥110,000	【教育維持費】 ¥130,000 【諸費】 ¥47,700	【教育維持費】 ¥130,000
半期 計	¥779,660	¥500,000	¥827,700	¥510,000
合計（初年次納付金）	¥1,279,660		¥1,337,700	

	社会臨床心理学科		左記の同系統学科	
	前期（入学時）	後期（10月）	前期（入学時）	後期（10月）
	入学金	¥230,000	—	¥270,000
授業料	¥420,000	¥420,000	¥380,000	¥380,000
その他	【施設設備費】 ¥110,000 【委託徴収金】 ¥49,660	【施設設備費】 ¥110,000	【教育維持費】 ¥130,000 【諸費】 ¥47,700	【教育維持費】 ¥130,000
半期 計	¥809,660	¥530,000	¥827,700	¥510,000
合計（初年次納付金）	¥1,339,660		¥1,337,700	

	子ども発達教育学科		左記の同系統学科	
	前期（入学時）	後期（10月）	前期（入学時）	後期（10月）
	入学金	¥230,000	—	¥270,000
授業料	¥410,000	¥410,000	¥380,000	¥380,000
その他	【施設設備費】 ¥110,000 【委託徴収金】 ¥49,660	【施設設備費】 ¥110,000	【教育維持費】 ¥130,000 【諸費】 ¥47,700	【教育維持費】 ¥130,000
半期 計	¥799,660	¥520,000	¥827,700	¥510,000
合計（初年次納付金）	¥1,319,660		¥1,337,700	

	管理栄養学科		左記の同系統学科	
	前期（入学時）	後期（10月）	前期（入学時）	後期（10月）
	入学金	¥230,000	—	¥270,000
授業料	¥450,000	¥450,000	¥380,000	¥380,000
その他	【施設設備費】 ¥110,000 【委託徴収金】 ¥49,660	【施設設備費】 ¥110,000	【教育維持費】 ¥155,000 【諸費】 ¥47,700	【教育維持費】 ¥155,000
半期 計	¥839,660	¥560,000	¥852,700	¥535,000
合計（初年次納付金）	¥1,399,660		¥1,387,700	

（出典：各大学ホームページ）

【資料 22】 本学及び競合校との入学志願動向比較

比治山大学		令和3年度	令和4年度	令和5年度	競合校		令和3年度	令和4年度	令和5年度
現代文化学部 言語文化学科	志願者数	388	266	242	左記と同系統 の学科	志願者数	199	143	126
	受験者数	378	256	238		受験者数	196	141	125
	合格者数	251	227	204		合格者数	168	128	103
	入学者数	125	96	100		入学者数	41	34	35
	入学定員数	120	120	120		入学定員数	60	60	60
	入学定員充足率	104.2%	80.0%	83.3%		入学定員充足率	68.3%	56.7%	58.3%
現代文化学部 マスコミュニケーション 学科	志願者数	171	140	136	N学部N学科	志願者数	240	212	194
	受験者数	167	139	132		受験者数	236	211	191
	合格者数	118	114	97		合格者数	197	183	161
	入学者数	59	64	62		入学者数	69	55	50
	入学定員数	60	60	60		入学定員数	60	60	60
	入学定員充足率	98.3%	106.7%	103.3%		入学定員充足率	115.0%	91.7%	83.3%
現代文化学部 社会臨床心理 学科	志願者数	221	209	208	左記と同系統 の学科	志願者数	331	362	312
	受験者数	216	208	203		受験者数	324	361	306
	合格者数	146	151	140		合格者数	269	274	219
	入学者数	72	71	80		入学者数	68	93	82
	入学定員数	60	60	60		入学定員数	50	50	50
入学定員充足率	120.0%	118.3%	133.3%	入学定員充足率	136.0%	186.0%	164.0%		
現代文化学部 子ども発達教 育学科	志願者数	211	175	167	左記と同系統 の学科	志願者数	577	536	466
	受験者数	210	171	165		受験者数	574	534	462
	合格者数	150	147	136		合格者数	297	374	353
	入学者数	53	59	70		入学者数	143	135	130
	入学定員数	70	70	70		入学定員数	120	120	120
入学定員充足率	75.7%	84.3%	100.0%	入学定員充足率	119.2%	112.5%	108.3%		
健康栄養学部 管理栄養学科	志願者数	127	119	82	K学部K学科	志願者数	290	278	263
	受験者数	124	118	80		受験者数	287	276	259
	合格者数	106	94	77		合格者数	168	193	166
	入学者数	61	46	49		入学者数	26	38	32
	入学定員数	70	70	70		入学定員数	30	30	30
	入学定員充足率	87.1%	65.7%	70.0%		入学定員充足率	86.7%	126.7%	106.7%
計	志願者数	1,118	909	835	左記と同系統 の学科	志願者数	174	139	110
	受験者数	1,095	892	818		受験者数	172	138	108
	合格者数	771	733	654		合格者数	146	121	87
	入学者数	370	336	361		入学者数	45	56	36
	入学定員数	380	380	380		入学定員数	70	70	70
	入学定員充足率	97.4%	88.4%	95.0%		入学定員充足率	64.3%	80.0%	51.4%
計	志願者数	1,811	1,670	1,471	計	志願者数	1,811	1,670	1,471
	受験者数	1,789	1,661	1,451		受験者数	1,789	1,661	1,451
	合格者数	1,245	1,273	1,089		合格者数	1,245	1,273	1,089
	入学者数	392	411	365		入学者数	392	411	365
	入学定員数	390	390	390		入学定員数	390	390	390
	入学定員充足率	100.5%	105.4%	93.6%		入学定員充足率	100.5%	105.4%	93.6%

(出典：日本私立大学協会中国・四国支部 中国・四国地区私立大学実態調査)

【資料 23】 2023 年度入試における広島県内の人文科学系（文学）学科の入学定員状況

大学	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 充足率
安田女子	文	日本文	90	84	93.3%
広島修道	人文	英語英文	110	102	92.7%
福山	人間文化	人間文化	50	42	84.0%
比治山	現代文化	言語文化	120	100	83.3%
広島女学院	人文	日本文化	40	26	65.0%
安田女子	文	英語英米文	110	66	60.0%
広島文教	人間科	グローバルコミュニケーション	60	35	58.3%
広島女学院	人文	国際英語	65	19	29.2%

(出典：日本私立大学協会中国・四国支部 中国・四国地区私立大学実態調査)

【資料 24】 2023 年度入試における広島県内の社会科学系学科の入学定員状況

大学	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 充足率
広島経済	メディアビジネス	メディアビジネス	60	73	121.7%
比治山	現代文化	マスコミュニケーション	60	62	103.3%
福山	人間文化	メディア・映像	50	51	102.0%
広島文教	人間科	グローバルコミュニケーション	60	35	58.3%

(出典：日本私立大学協会中国・四国支部 中国・四国地区私立大学実態調査)

【資料 25】 2023 年度入試における広島県内の人文科学系（心理）学科の入学定員状況

大学	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 充足率
広島文教	人間科	心理	50	82	164.0%
福山	人間文化	心理	50	67	134.0%
比治山	現代文化	社会臨床心理	60	80	133.3%
広島修道	健康科	心理	80	84	105.0%
安田女子	心理	現代心理	90	72	80.0%
広島国際	健康科	心理	100	75	75.0%
安田女子	心理	ビジネス心理	60	45	75.0%

(出典：日本私立大学協会中国・四国支部 中国・四国地区私立大学実態調査)

【資料 26】 2023 年度入試における広島県内の教育学系学科の入学定員状況

大学	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 充足率
広島修道	人文	教育	100	127	127.0%
広島文教	教育	教育・初等教育	120	130	108.3%
広島文教	教育	教育・中等教育	30	32	106.7%
比治山	現代文化	子ども発達教育	70	70	100.0%
安田女子	教育	児童教育	150	147	98.0%
福山平成	福祉健康	こども	50	42	84.0%
広島文化学園	学芸	子ども	80	67	83.8%
広島都市学園	子ども教育	子ども教育	78	41	52.6%
広島女学院	人間生活	児童教育	90	36	40.0%

(出典：日本私立大学協会中国・四国支部 中国・四国地区私立大学実態調査，広島都市学園大学ホームページ)

【資料 27】 2023 年度入試における広島県内の家政学系学科の入学定員状況

大学	学部	学科	入学定員	入学者数	入学定員 充足率
広島修道	健康科	健康栄養	80	82	102.5%
安田女子	家政	管理栄養	120	121	100.8%
広島国際	健康科	医療栄養	60	60	100.0%
比治山	健康栄養	管理栄養	70	49	70.0%
広島女学院	人間生活	管理栄養	70	46	65.7%
福山	生命工	生命栄養科	50	26	52.0%
広島文教	人間科	人間栄養	70	36	51.4%

(出典：日本私立大学協会中国・四国支部 中国・四国地区私立大学実態調査)

【資料 28】 広島県内私立大学の初年度納付金（2024 年度入学生分）

人 文 科 学 系 （ 文 学 ）	大学	学部	学科	初年度納付金 (円)	左記に含まれる 入学金 (円)
	安田女子	文	英語英米文	1,349,000	100,000
広島文教	人間科	グローバルコミュニケーション	1,337,700	270,000	
広島女学院	人文	国際英語	1,321,000	250,000	
広島女学院	人文	日本文化	1,321,000	250,000	
比治山	現代文化	言語文化	1,279,660	230,000	
広島修道	人文	英語英文	1,231,000	220,000	
安田女子	文	日本文	1,229,000	100,000	
福山	人間文化	人間文化	1,065,000	200,000	
		平均額	1,266,670	202,500	
社 会 科 学 系	大学	学部	学科	初年度納付金 (円)	左記に含まれる 入学金 (円)
	広島文教	人間科	グローバルコミュニケーション	1,337,700	270,000
比治山	現代文化	マスコミュニケーション	1,279,660	230,000	
広島経済	メディアビジネス	メディアビジネス	1,146,000	150,000	
福山	人間文化	メディア・映像	1,065,000	200,000	
		平均額	1,207,090	212,500	
人 文 科 学 系 （ 心 理 ）	大学	学部	学科	初年度納付金 (円)	左記に含まれる 入学金 (円)
	比治山	現代文化	社会臨床心理	1,339,660	230,000
広島文教	人間科	心理	1,337,700	270,000	
広島国際	健康科	心理	1,330,000	250,000	
広島修道	健康科	心理	1,271,000	220,000	
安田女子	心理	現代心理	1,229,000	100,000	
安田女子	心理	ビジネス心理	1,229,000	100,000	
福山	人間文化	心理	1,065,000	200,000	
		平均額	1,257,337	195,714	
教 育 学 系	大学	学部	学科	初年度納付金 (円)	左記に含まれる 入学金 (円)
	広島文教	教育	教育・初等教育	1,337,700	270,000
広島文教	教育	教育・中等教育	1,337,700	270,000	
広島女学院	人間生活	児童教育	1,321,000	250,000	
比治山	現代文化	子ども発達教育	1,319,660	230,000	
広島修道	人文	教育	1,261,000	220,000	
広島文化学園	学芸	子ども教育	1,230,000	250,000	
安田女子	教育	児童教育	1,229,000	100,000	
広島都市学園	子ども教育	子ども教育	1,208,000	200,000	
福山平成	福祉健康	こども	1,125,000	200,000	
		平均額	1,263,229	221,111	
家 政 学 系	大学	学部	学科	初年度納付金 (円)	左記に含まれる 入学金 (円)
	広島文教	人間科	人間栄養	1,387,700	270,000
福山	生命工	生命栄養科	1,375,000	200,000	
広島国際	健康科	医療栄養	1,370,000	250,000	
安田女子	家政	管理栄養	1,369,000	100,000	
広島修道	健康科	健康栄養	1,351,000	220,000	
広島女学院	人間生活	管理栄養	1,351,000	250,000	
比治山	健康栄養	管理栄養	1,399,660	230,000	
		平均額	1,371,909	217,143	

(出典：各大学ホームページ)

備 考

※ 初年度納付金額の高い順に表示している。

※ 広島文化学園大学のデータは 2023 年入学生が対象。

※ 広島女学院大学及び広島都市学園大学のデータは対象年度が不明。

【資料 29】比治山大学 就職・進学等の状況（過去3年間）

学部	学科	令和2年度					求人社数
		卒業生数(a) (学位取得状況)	就職希望者数(b) (希望者就職率 c/b)	就職者数(c) (卒業生就職率 c/a)	進学者数(d) (進学率d/a)	その他(e) (率e/a)	
現代文 化学部	言語文化学科 学士(文学)	96	70 97.1%	68 70.8%	0 0.0%	28 29.2%	1003 (465)
	マスコミュニケーション学科 学士(文学)	40	28 100.0%	28 70.0%	0 0.0%	12 30.0%	
	社会臨床心理学科 学士(心理学)	67	52 94.2%	49 73.1%	5 7.5%	13 19.4%	
	子ども発達教育学科 学士(教育学)	75	71 100.0%	71 94.7%	0 0.0%	4 5.3%	
合 計		278	221 97.7%	216 77.7%	5 1.8%	57 20.5%	1003 (465)

学部	学科	令和2年度					求人社数
		卒業生数(a) (学位取得状況)	就職希望者数(b) (希望者就職率 c/b)	就職者数(c) (卒業生就職率 c/a)	進学者数(d) (進学率d/a)	その他(e) (率e/a)	
健康栄 養学部	管理栄養学科 学士(栄養学)	74	66 97.0%	64 86.5%	0 0.0%	10 13.5%	1003
合 計		74	66 97.0%	64 86.5%	0 0.0%	10 13.5%	1003

学部	学科	令和3年度					求人社数
		卒業生数(a) (学位取得状況)	就職希望者数(b) (希望者就職率 c/b)	就職者数(c) (卒業生就職率 c/a)	進学者数(d) (進学率d/a)	その他(e) (率e/a)	
現代文 化学部	言語文化学科 学士(文学)	129	97 97.9%	95 73.6%	1 0.8%	33 25.6%	776 (345)
	マスコミュニケーション学科 学士(文学)	52	46 97.8%	45 86.5%	0 0.0%	7 13.5%	
	社会臨床心理学科 学士(心理学)	80	57 98.2%	56 70.0%	9 11.3%	15 18.7%	
	子ども発達教育学科 学士(教育学)	72	69 100.0%	69 95.8%	0 0.0%	3 4.2%	
合 計		333	269 98.5%	265 79.6%	10 3.0%	58 17.4%	776 (345)

学部	学科	令和3年度					求人社数
		卒業生数(a) (学位取得状況)	就職希望者数(b) (希望者就職率 c/b)	就職者数(c) (卒業生就職率 c/a)	進学者数(d) (進学率d/a)	その他(e) (率e/a)	
健康栄 養学部	管理栄養学科 学士(栄養学)	48	42 97.6%	41 85.4%	0 0.0%	7 14.6%	776
合 計		48	42 97.6%	41 85.4%	0 0.0%	7 14.6%	776

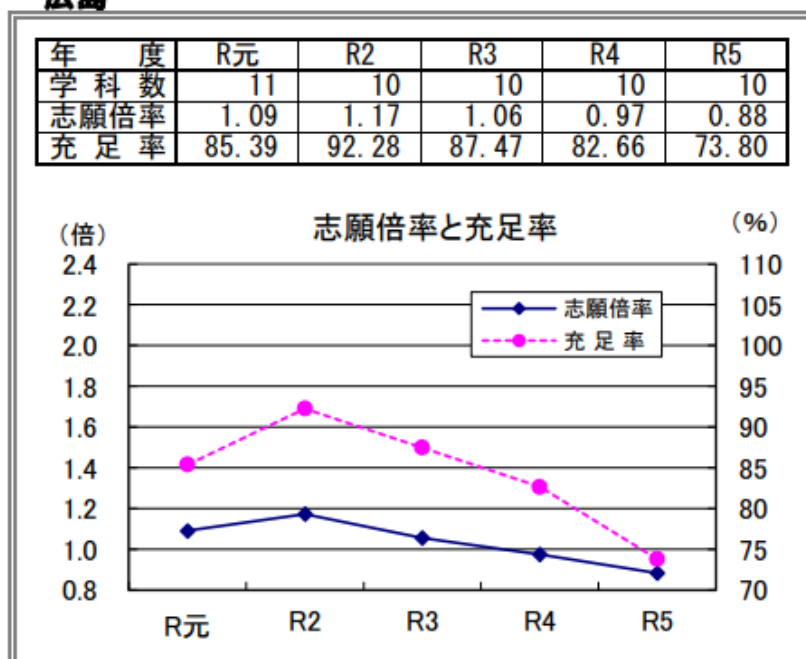
学部	学科	令和4年度					求人社数
		卒業生数(a) (学位取得状況)	就職希望者数(b) (希望者就職率 c/b)	就職者数(c) (卒業生就職率 c/a)	進学者数(d) (進学率d/a)	その他(e) (率e/a)	
現代文 化学部	言語文化学科	123 学士(文学)	96 100.0%	96 78.0%	1 0.8%	26 21.1%	917 (348)
	マスコミュニケーション学科	50 学士(文学)	41 100.0%	41 82.0%	0 0.0%	9 18.0%	
	社会臨床心理学科	74 学士(心理学)	57 100.0%	57 77.0%	7 9.5%	10 13.5%	
	子ども発達教育学科	77 学士(教育学)	75 100.0%	75 97.4%	0 0.0%	2 2.6%	
合 計		324	269 100.0%	269 83.0%	8 2.5%	47 14.5%	917 (348)

学部	学科	令和4年度					求人社数
		卒業生数(a) (学位取得状況)	就職希望者数(b) (希望者就職率 c/b)	就職者数(c) (卒業生就職率 c/a)	進学者数(d) (進学率d/a)	その他(e) (率e/a)	
健康栄 養学部	管理栄養学科	42 学士(栄養学)	36 100.0%	36 85.7%	0 0.0%	6 14.3%	917
合 計		42	36 100.0%	36 85.7%	0 0.0%	6 14.3%	917

(本学調査)

【資料 30】 過去 5 か年における広島県の短期大学の学科数、志願倍率、入学定員充足率

広島



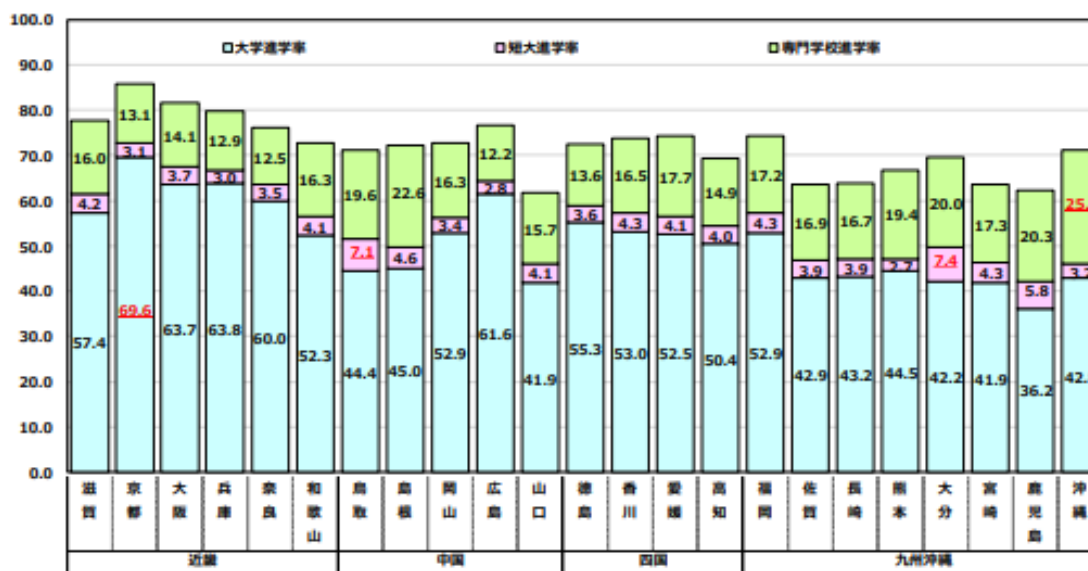
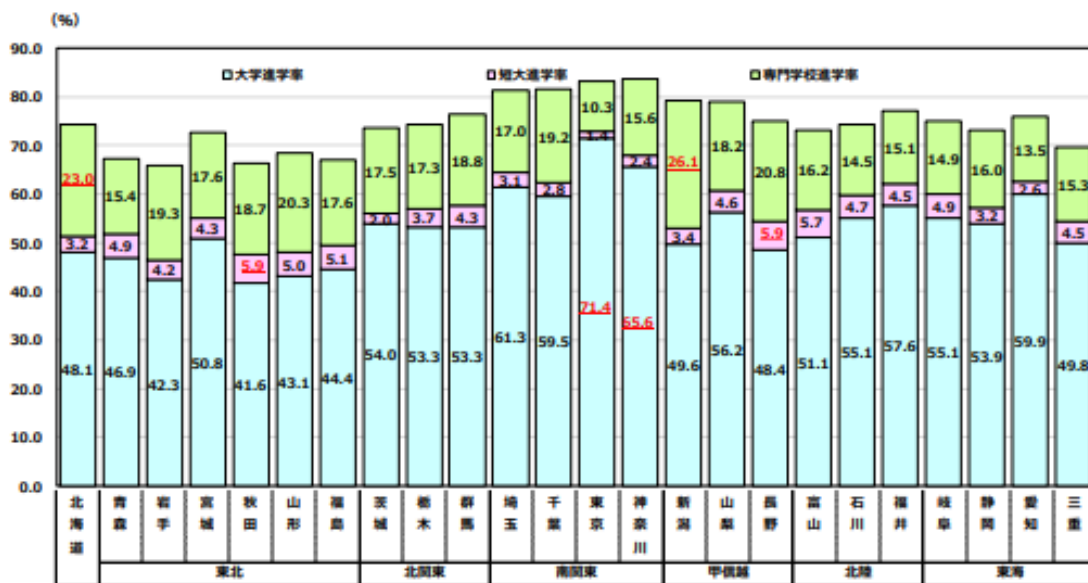
(出典：日本私立学校振興・共済事業団「令和 5 年度私立大学・短期大学等入学志願動向」)

【資料 31】 大学・短期大学・専門学校進学率

大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2023年）

■ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟

大学進学率 1位：東京（71.4%） 2位：京都（69.6%） 3位：神奈川（65.6%）
短期大学進学率 1位：大分（7.4%） 2位：鳥取（7.1%） 3位：秋田・長野（5.9%）
専門学校進学率 1位：新潟（26.1%） 2位：沖縄（25.1%） 3位：北海道（23.0%）



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

(出典：リクルート進学総研マーケットレポート 2023 Vol.118 2024年2月号)

【資料 32】 本学における直近 5 年の 3 年次編入学定員充足状況

学部・学科	項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均	
言語文化学科	編入学者数	日文	1	2	3	1	2	1.8
		国際	0	2	2	1	0	1
		計	1	4	5	2	2	2.8
	編入学定員数	5	5	5	5	5	5	
	編入学定員充足率	20.0%	80.0%	100.0%	40.0%	40.0%	56.0%	
マスコミュニケーション学科	編入学者数	1	0	0	1	2	0.8	
	編入学定員数	3	3	3	3	3	3	
	編入学定員充足率	33.3%	0%	0%	33.3%	66.7%	26.7%	
社会臨床心理学科	編入学者数	2	4	3	0	0	1.8	
	編入学定員数	5	5	5	5	5	5	
	編入学定員充足率	40.0%	80.0%	60.0%	0%	0%	36.0%	
子ども発達教育学科	編入学者数	2	3	0	0	2	1.4	
	編入学定員数	10	10	10	10	10	10	
	編入学定員充足率	20.0%	30.0%	0%	0%	20.0%	14.0%	
管理栄養学科	編入学者数	1	1	1	1	2	1.2	
	編入学定員数	5	5	5	5	5	5	
	編入学定員充足率	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	24.0%	
学部・学科合計	編入学者数	7	12	9	4	8	8	
	編入学定員数	28	28	28	28	28	28	
	編入学定員充足率	25.0%	42.9%	32.1%	14.3%	28.6%	28.6%	

(本学調査)

【資料 33】 編入学定員及び収容定員の変更

学科	入学定員	現行の編入学定員	現行の収容定員	編入学者数の実績							編入学定員の変更(案)	収容定員の変更(案)
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計	編入学の平均		
言語文化学科	120	5	490	1	2	3	1	2	9	1.8	3	486
				0	2	2	1	0	5	1.0		
マスコミュニケーション学科	60	3	246	1	0	0	1	2	4	0.8	1	242
社会臨床心理学科	60	5	250	2	4	3	0	0	9	1.8	2	244
子ども発達教育学科	70	10	300	2	3	0	0	2	7	1.4	2	284
管理栄養学科	70	5	290	1	1	1	1	2	6	1.2	2	284
合計	380	28	1576	7	12	9	4	8	40	8	10	1540

(本学調査)

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ミヤタ マコト 宮谷 真人 <令和5年4月>	66	博士 (心理学)		比治山大学学長 (令和5.4~令和9.3)



学校法人比治山学園 第4回理事会議事録

- 1 日 時 令和5年12月15日(金) 13時25分～14時45分
- 2 場 所 比治山大学3号館6階会議室2
- 3 理事現在数 9名(理事定数7～9名, 寄附行為第5条)
- 4 出席者 理事9名 木谷 健, 赤川安正, 市川昭彦, 宮谷真人, 大林秀則,
北村浩司, 丸子洋子, 若林健祐, 延本真栄子
監事2名 石崎和法, 多田 功
事務局(法人) 渡辺法人事務局長, 天野法人事務局次長, 木下監査室長,
瀬尾庶務課長, 片山人事課長, 北野経営企画課長,
和田経営企画課主監, 廣瀬経営企画課主監, 水戸経理課長,
新井図書・情報メディア課主監, 松村庶務課課長補佐
(大学) 佐々木副学長, 山崎副学長, 横山事務局長, 竹迫事務局次長
(中高) 山崎副校長, 二階堂事務局長, 石井庶務課長
(幼稚園) 羽地園長

5 議事録署名者 出席理事・監事全員

6 議 題

【審議事項】

- (1) 第1号議案 学則及び規程の一部改正案について
- ① 比治山大学学則の一部改正案について
 - ② 比治山大学栄養士及び管理栄養士養成課程に関する規程の一部改正案について
- (2) 第2号議案 年次有給休暇の年度繰り越しに係る就業規則の一部改正案について
- ① 学校法人比治山学園就業規則(大学等の部)の一部改正案について
 - ② 学校法人比治山学園就業規則(幼稚園の部)の一部改正案について
 - ③ 学校法人比治山学園臨時職員就業規則(大学等の部)の一部改正案について
 - ④ 学校法人比治山学園臨時職員就業規則(幼稚園の部)の一部改正案について
- (3) 第3号議案 令和5年度の給与改定の方針案について
- (4) 第4号議案 園長の辞職について
- (5) 第5号議案 教員の人事異動(現代文化学部長及び健康栄養学部長並びに現代文化研究科長)について

【協議事項】

- (1) 比治山大学・比治山大学短期大学部の将来構想検討会議(仮称)の設置等について……………協議

【報告事項】

- (1) 令和6（2024）年度入学試験実施状況について……………報告1
- (2) 令和5（2023）年度オープンキャンパスの実施報告について……………報告2
- (3) 令和5（2023）年度実施 教員免許取得者，保育士資格取得者及び採用試験合格者の状況について……………報告3
- (4) 令和5（2023）年度卒業予定者の内定等の状況について……………報告4
- (5) オープンスクール・学校見学会参観人数状況【比治山女子中学・高等学校】報告5
- (6) 中学推薦入試塾推薦資格審査にかかる事前相談の推移について……………報告6
- (7) 比治山女子中学 推薦入試 資格審査受験者数の推移……………報告7
- (8) 大学と付属幼稚園の連携事業（異文化交流会・ピカピカ教室・給食弁当）について……………報告8
- (9) 令和5年度教職員への寄付金募集の実施について……………報告9
- (10) 比治山学園教育施設等の整備に係る寄付金の受納状況について……………報告10
- (11) 令和5年度永年勤続者表彰式の実施について……………報告11
- (12) 大学改革推進会議の開催状況について……………報告12
- (13) LEADERS 倶楽部元旦号について（校了）……………報告13

7 議事の経過及び結果

議長から，寄附行為第16条第10項の規定の要件を充足しているので開会する旨宣言の後，議案の審議に入った。その概要及び賛否の結果は，次のとおりである。

【審議事項】

- (1) 第1号議案 学則及び規程の一部改正案について

- ① 比治山大学学則の一部改正案について

大学事務局長から，18歳人口の動向，広島県内進学状況，各学部・学科の定員確保状況等を踏まえ，編入学定員数及び収容定員数を削減し規模を適正化するために，比治山大学学則の一部を改正することについて説明があった。

審議の結果，比治山大学学則の一部改正案を原案のとおり承認した。改正日は令和5年12月15日，施行日は令和7年4月1日。

- (1) 第1号議案 ②
 - (2) 第2号議案
 - (3) 第3号議案
 - (4) 第4号議案
 - (5) 第5号議案
- 省略
- 【協議事項】**
【報告事項】
【その他】



以上で理事会を閉会し、本日の議決の結果を明確にするためにこの議事録を作成し、出席理事・監事全員署名押印する。

令和5年12月15日

議 長	木 谷	健	印
理 事	赤 川	安 正	印
理 事	市 川	昭 彦	印
理 事	宮 谷	真 人	印
理 事	大 林	秀 則	印
理 事	北 村	浩 司	印
理 事	丸 子	洋 子	印
理 事	若 林	健 祐	印
理 事	延 本	真栄子	印
監 事	石 崎	和 法	印
監 事	茅 田	功	印

この写しは原本と相違ありません。

令和6年2月19日

学校法人 比治山学園

理事長 木 谷

健

